


號一十二第 料資查調政市

覽總制擔負者益受

會查調政市京東附法

市政調查資料 第二十一號

受

 益者負擔
 制總覽

財團法人 東京市政調查會

序

受益者負擔の制度が都市計畫法と道路法のうちに採擇され、わが國地方自治體の財政收入方法の一をなしてから既に十年を經過した。英米の土壤に發芽し、わが國に移植されたこの新制度が、わが國独自の社會・經濟的生活環境に順應して、果して好く發育成長し得たであらうか。實施後十年と云へば決して短日月ではない。而もこの期間はわが國社會・文化・經濟等諸事情の激變を齎らした期間である。そしてこの社會的狀勢の變化は中央政府とともに、地方自治體のなすべき事業施設の山積となつたのである。而もまた事業費の膨脹と貧弱なる財源とを擁して、その矛盾の解決に苦惱しつゝあつた地方自治體に探つて、受益者負擔制度の採用は、都市計畫事業並びに道路工事費財源として、其處に地方財源の確實性を發見してきたのである。しかしまた一方に於て、負擔適度を熟慮し、負擔義務者の完全なる了解に於てなされたであらうか疑問とするところであつた。偶々第二回全國都市問題會議は、以上の觀點より受益者負擔の制度をその組上へのせ、全國實際家、研究者の解剖に委せしめた。

本書はその際、同會議に、本會が參考資料の一部として提出せしものに更に補正を加へたものである。内容結構は、内務省、各府縣市の協力を得て蒐集せし現行受益者負擔規程並びにこれが要綱比較一覽であるが、從

來、この種の資料は部分的には公示されしことありしも、殆んど系統的、組織的視野の下に整理蒐集されたるを見なかつたものである。従つて吾々は本書によつて、大體、受益者負擔制度の發達を概観し、併せてその地方性を比較詳覽することを得るであらうとともに、尙ほまた過去に於ける受益者負擔制度の缺陷を是正し、將來に於てこの制度を實施せんとする地方自治體の好き參考資料たるを失はぬことを確信するものである。

これ茲に本書を割闕に附する所以のものであるが、吾々の企圖が十分に利用されるを得ば望外の幸甚である。

昭和六年二月

財團法人 東京市政調査會

凡 例

- 一 第一篇は都市計畫法に依る現行受益者負擔規程を、第二篇は道路法に依る同受益者負擔規程を蒐めたものである。
- 二 第三篇は都市計畫法に依る受益者負擔規程の、第四篇は道路法に依る受益者負擔規程の要綱比較に便せんとするものである。
- 三 都市計畫事業受益者負擔規程は昭和五年十月一日現在、道路法に依る受益者負擔規程は、市の分は同五年二月一日現在、府縣の分は同年十月一日現在のものに據る。
- 四 第一篇、第二篇の省令、市告示等の配列順、第三篇、第四篇の事業若くは工事執行者の配列順は、都市計畫事業受益者負擔規程の部にありては、大體、省令發布の年月日順に據り、道路法に依る受益者負擔規程の部にありては、便宜上市の分を前にし、府縣の部を後に一括し、且つ別府市(資料不明のため)を除いては、大體市告示及び府縣令の發布年月日順に據る。
- 五 第四篇道路法に依る受益者負擔規程比較に於ては、道路法第四十條に依る所謂道路損傷負擔の例も參考として掲ぐ。

受益者負擔制總覽

目次

第一篇 都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

- 一 都市計畫法拔萃……………一
- 二 大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………二
- 三 大阪都市計畫事業路面改良受益者負擔ニ關スル件……………四
- 四 東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………四
- 五 大阪都市計畫事業下水道受益者負擔ニ關スル件……………五
- 六 神戸都市計畫事業路面改良受益者負擔ニ關スル件……………六
- 七 神戸都市計畫事業道路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………七
- 八 京都都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………一〇
- 九 名古屋都市計畫事業道路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………一〇
- 一〇 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル件……………一四
- 一一 名古屋都市計畫事業運河新設受益者負擔ニ關スル件……………一七
- 一二 東京都市計畫事業道路(環狀線放射線)受益者負擔ニ關スル件……………二一

- 一三 濱松都市計畫事業道路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………三
- 一四 金澤都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………四
- 一五 堺都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………六
- 一六 岡山市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………三
- 一七 大阪府知事執行都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………三
- 一八 清水都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………三
- 一九 静岡都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………七
- 二〇 東京都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件……………四〇
- 二一 東京都市計畫事業目黒川改修受益者負擔ニ關スル件……………四
- 二二 仙臺都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………四二
- 二三 東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件……………四四
- 二四 東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件……………四七
- 二五 京都都市計畫事業道路(京阪國道)新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………四九
- 二六 横濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件……………五〇
- 二七 大阪都市計畫事業高速度軌道建設受益者負擔ニ關スル件……………五二
- 二八 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件……………五三
- 二九 岐阜都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………五四
- 三〇 廣島都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………五五

第二篇 道路法ニ依ル受益者負擔規程

- 三一 京都市計畫事業下水道受益者負擔ニ關スル件……………五七
- 三二 名古屋都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件……………五八

- 一 大阪市道路費用一部負擔ニ關スル規程……………六一
- 二 大阪市道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程……………六一
- 三 四日市市港道開鑿工事負擔金徵收規程……………六二
- 四 前橋市道路工事費受益者負擔規程……………六五
- 五 東京市道路鋪裝工事費受益者負擔規程……………六七
- 六 東京市側溝工事費受益者負擔規程……………七一
- 七 高崎市道路工事費受益者負擔規程……………七二
- 八 岡山市道路工事費負擔金徵收規程……………七三
- 九 門司市道路工事費特別負擔金徵收規程……………七四
- 一〇 岐阜市道路費用一部負擔ニ關スル規程……………七六
- 一一 函館市道路工事費受益者負擔規程……………七七
- 一二 京都市道路工事費特別負擔金徵收規程……………八一
- 一三 豊橋市道路費用一部負擔ニ關スル規程……………八二
- 一四 岡崎市道路工事費負擔金徵收規程……………八三

一五	一宮市道路費負擔規程……………	八四
一六	大垣市道路費一部負擔ニ關スル件……………	八五
一七	宇治山田市道路工事費受益者負擔規程……………	八六
一八	八王子市道路工事費負擔規程……………	九〇
一九	札幌市道路工事費受益者負擔規程……………	九一
二〇	尼崎市道路費特別負擔規程……………	九三
二一	小樽市道路工事費受益者負擔規程……………	九四
二二	名古屋市道路工事費受益者負擔規程……………	九七
二三	神戸市道路工事費負擔規程……………	九八
二四	新潟市道路工事費受益者負擔規程……………	一〇一
二五	和歌山市道路工事費特別負擔金徵收規程……………	一〇五
二六	丸龜市道路工事費負擔規程……………	一〇八
二七	高知市道路工事費受益者負擔規程……………	一〇九
二八	甲府市道路工事費受益者負擔ニ關スル規程……………	一一一
二九	長崎市道路工事費受益者負擔規程……………	一一四
三〇	若松市(福岡縣)道路工事費負擔規程……………	一一七
三一	倉敷市道路側溝工事負擔區分規程……………	一二〇
三二	今治市市道大正通線道路新設工事費受益者負擔規程……………	一二三
三三	別府市道路工事費負擔規程……………	一二四
三四	大邱府特別稅土地坪數割條例……………	一二三
三五	馬山府特別稅土地增價稅條例……………	一二四
三六	宮崎縣道路工事費負擔金徵收規則……………	一二五
三七	京都府道路工事費受益者負擔金徵收規則……………	一二六
三八	兵庫縣道路工事費特別負擔規程……………	一二〇
三九	神奈川縣道路法第三十九條及第四十條ニ依ル道路費負擔規程……………	一二三
四〇	大阪府道路工事費受益者負擔規程……………	一二六
四一	福井縣道路工事費受益者負擔金徵收規程……………	一二四
四二	愛媛縣道路新設改築受益者負擔規程……………	一二四
四三	山梨縣道路工事費受益者負擔金徵收規程……………	一二六
第三篇	都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程比較……………	一二五
第四篇	道路法ニ依ル受益者負擔規程比較……………	一二五

第一篇 都市計畫法ニ依ル受益者 負擔規程

一 都市計畫法拔萃

都市計畫法

六正八年四月四日
法律第二十號
六正十二年三月二十六日
法律第二十七號改正
六正十九年三月二十九日
法律第三十八號改正
(抄)

第六條 都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場
合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在
リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテ
ハ其ノ者ノ負擔トス

主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ
因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項
ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處
分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納
處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時効ニ
付テハ行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

都市計畫法施行令

六正六年十一月二十七日
勅令第四百八十二號
六正十年四月十四日
勅令第四百十六號改正
(抄)

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ
著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシム
ルコトヲ得ス

一 行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クル
トキ

二 事業地ノ公共團體以外ノ公共團體ヲ又ハ上級公共團體ヲ統轄ス
ル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公共團體カ著シク利
益ヲ受クルトキ

三 事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ
著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ
著シク利益ヲ受クル者アルトキ

四 前各號ノ外都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クルモノニシテ
内務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ

都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ受益者

指定ノ件

六正九年九月六日
內務省令第二十八號
內務省令第三號改正

都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ但
シ第一號ノ期間ニ付テハ事業着手ノ時ヨリ之ヲ起算ス

一 都市計畫事業トシテ道路、廣場ノ新設、擴築若ハ路面ノ改良又ハ
軌道建設、若クハ河川、運河ノ新設、改修ヲ爲シタル場合ニ於テ其
ノ道路、廣場、軌道、河川若ハ運河ノ附近ニ於テ内務大臣ノ定ムル
區劃内ニ在ル有租地ノ所有者但シ賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權
者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權、及賃借權ノ目的
タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

一 前號ノ區劃内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

(大正十一年八月七日 內務省令第十七號)

第一條 市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ兩側ニ於テ道路ノ幅員ノ五倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス內務大臣ニ於テ別ニ區劃ヲ定ムルコトヲ得

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者ノ負擔金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

増價額ヲ決定スヘキ土地ニ付利害關係アル委員ハ其ノ決定ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス

第九條 第七條ノ増價額ノ五分ノ三ヲ基本負擔額トス

第十條 市長ハ基本負擔額ニ比例シ其ノ範圍内ニ於テ工事費ノ三分ノ二ニ至ル迄受益者ノ負擔金額ヲ決定シ第四條ノ規定ニ依リ各受益者ノ負擔金額ヲ超過シタルトキハ之ヲ返還シ不足セルトキハ之ヲ追徴スヘシ

追徴ニ付テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第十一條 受益者第七條ノ規定ニ依リ評價委員ノ爲シタル決定ニ異議アルトキハ決定通知後一月以内內務大臣ノ裁決ヲ請求スルコトヲ得

內務大臣前項ノ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決ヲ以テ第八條ノ決定ト看做ス

第十二條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依リ負擔ヲ減免スルコトヲ得市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十三條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程

(大阪市告示第百零四號 大正十二年八月二十七日)

第一條 道路ノ新設又ハ擴築工事ニ因リ利益ヲ受クル者ハ本規定ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ負擔スヘシ

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

二

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯トシ各該地帯ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 各路線ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ土地ノ其ノ路線ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

前項第一號ノ負擔區及第二號ノ地帯及率ハ之ヲ告示ス

第五條 二線以上ノ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第六條 負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後五年ヨリ長カラサル期間ニ於テ分納セシムルコトヲ得

第七條 市長ハ負擔區ノ工事竣成後一年內ニ評價委員ヲシテ工事竣成ノ時期ニ於ケル事業ニ因ル土地ノ増價額ヲ決定セシムヘシ

前項ノ土地増價額ハ土地ノ狀況ニ依リ負擔區ヲ區分シ各區分ノ増價率ヲ定メ之ニ依ラシムルコトヲ得

工事竣成後ニ於ケル各負擔區ノ土地増價額ニ依ル基本負擔額カ第三條及第四條ノ規定ニ依リ負擔金額ニ比シ大差ナシト認ムルトキハ市長ハ第二項ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

第八條 評價委員ハ都市計畫委員會委員、名譽職、市參事會員、市吏員及學識經驗アル者ヨリ各二名ヲ內務大臣ニ於テ之ヲ任命ス

評價委員會長ハ市長又ハ其ノ代理者ヲ以テ之ニ充ツ

第七條ノ決定ハ委員半數以上ノ同意アルヲ要ス其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ內務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ此ノ場合ニ於テハ內務大臣增加額ヲ決定ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ費用ヲ負擔スル者ハ新設又ハ擴築スヘキ道路ノ兩側ニ於テ各與行二十間ノ地域内ニアル土地ノ所有者トス但シ

工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人又ハ賃借人ノ費用負擔トス

同一土地ニ付前項但書ノ權利二個以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ費用負擔者トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ區劃ヲ定ムルコトアルヘシ

第三條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ其ノ工事費ノ二分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リテ之ヲ定ム

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號負擔額ノ内其ノ半額ハ其ノ路線ニ接スル土地ノ長ニ比例シ他ノ半額ハ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ路線ニ接スル土地ニシテ其ノ間口ニ比シ與行若シク狭小ナルモノハ其ノ程度ニヨリ間口負擔額ヲ減少スルコトヲ得

第五條 二線以上ノ道路又ハ擴築ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第六條 國、府縣、市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニヨル費用ヲ徵收セザルコトアルヘシ

神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ構内地學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムル

- モノハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 第一項但書ノ規定ハ前項但書ニ規定スル他ノ目的ノ爲ニ使用セシムル場合ニ之ヲ準用ス
- 第七條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若ハ徵收セサルコトアルモ他ノ受益者ニ對スル負擔額ハ之ヲ增加セス
- 第八條 大正十年八月大阪府告示第百十九號道路費用負擔ニ關スル規程並ニ大正十一年內務省令第十七號大阪府告示第百九號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程ノ適用地域ニ對シテハ本規程ヲ適用セス
- 第九條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ場合ニ依リ三箇年以内ニ分納セシムルコトヲ得
- 第十條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ
- 第十一條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 大阪都市計畫事業路面改良受益者負擔ニ關スル件

(大正十一年八月七日 內務省令第十八號)

- 第一條 市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ路面ノ改良ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ
- 第二條 路面ノ改良ニ依リ受益者カ工事費ヲ負擔スヘキ區劃ハ當該道路ノ兩側ニ於テ道路ノ境界線ヨリ 兩側與行 十間

第一條 東京市ハ大正十年五月二日內閣認可東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ四谷區ニ於ケル道路ノ新設及擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

- 第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ左記各號ニ依リ
- 一 幅員三間以下ノ道路ニ面スル場合
- 二 道路境界線ヨリ 兩側與行 十間
- 三 幅員三間ヲ超ニル道路ニ面スル場合
- 三條 內務大臣ハ土地ノ狀況ニ依リ前條ノ區劃ヲ數箇ノ負擔區ニ細分シ東京市長ヲシテ之ヲ告示セシム
- 第四條 前條ノ負擔區内ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ幅員三間以下ノ道路ノ兩側ニ在リテハ事業費ノ三分ノ二、三間ヲ超ニル道路ノ兩側ニ在リテハ事業費ノ二分ノ一トス
- 第五條 各受益者ノ負擔スヘキ金額ハ前條ノ負擔金額ニ付其ノ半額ヲ土地ノ道路ニ面スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム
- 第六條 二線以上ノ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得
- 第七條 負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム但負擔金告示ノ日ヨリ七年以内ニ分納セシムルコトヲ得
- 第八條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ東京市長之ヲ定ム

五 大阪都市計畫事業下水道受益者負擔ニ關スル件

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

- 路ノ兩側ニ於テ道路ノ境界線ヨリ與行二十間ノ地域トス
- 第三條 路面ノ改良ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル者ノ負擔スヘキ金額ハ工事費ノ四分ノ一トス但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間ノ道路ノ負擔金額ト同額ニ止ム
- 第四條 前條ニ依ル負擔金額ノ内其ノ半額ハ路面ノ改良ヲ爲スヘキ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長ニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ區劃内ノ土地ノ面積ニ比例シ負擔金額ヲ定ム
- 第五條 河川、溝渠及並行道路等土地ノ實況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣前三條ノ規定ニ拘ハラズ別ニ負擔區劃及金額ヲ定ムルコトヲ得
- 第六條 二線以上ノ路面ノ改良ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得
- 第七條 負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ徵收ス但シ場合ニ依リ其ノ分納ヲ許可スルコトヲ得
- 第八條 路面改良工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負擔ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ
- 第九條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

(大正十三年七月內務省令第十八號改正 昭和二年七月內務省令第二十五號改正)

第一條 大阪市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ下水道事業ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

- 第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ第一號ノ期間ニ付テハ事業着手ノ時ヨリ起算ス
- 一 排水區域内又ハ第六條ニ規定スル地域内ニ在ル有租地ノ所有者但シ賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人
- 二 前號ノ區域内又ハ地域内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人
- 第三條 排水區域内ニ於ケル受益者ノ總負擔金額ハ工事費ノ四分ノ一以內ニ於テ內務大臣之ヲ定ム(昭和三年三月內務省令第十號)
- 第四條 各受益者ノ負擔金額ハ前條ノ總負擔金額ニ付土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム
- 第五條 下水道事業ニ付數箇ノ排水區域アル場合ニ於テハ各排水區域内ノ工事費ニ付前二條ノ規定ヲ適用ス
- 二個以上ノ排水區域ニ共通ノ工事ニ在リテハ其ノ工事費ヲ各關係排水區域内ニ其ノ面積ニ比例シテ配分シ前項ノ工事費ニ算入ス
- 第六條 下水道ノ全部又ハ一部カ道路ト兼ナルトキハ前三條ノ規定ニ依ルノ外其部分ノ兩側ニ於テ下水道ノ境界線ヨリ與行二十間ノ地域内ニ於ケル受益者ヲシテ其部分ノ工事費ノ五分ノ一ニ付其ノ半額ハ當該下水道ニ面スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ地

域内ノ土地ノ面積ニ比例シ工事費ヲ負擔セシム但シ既設道路ニ下水
道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

奥行、地番界、河川、溝渠又ハ並行道路等土地ノ實況ニ依リ必要ア
リト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ地域及負擔金
額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 前條ノ費用ヲ重複シテ負擔スル關係ニ該當スル土地ニ付テハ
負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第八條 負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシ
ム但シ工事着手後五年ヨリ長カラサル期間ニ於テ分納セシムルコト
ヲ得

第九條 下水道事業ニ要スル費用ヲ補充スル爲土地物件勞力又ハ金錢
ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負
擔ヲ減免スルコトヲ得市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ
テ之ヲ寄附シタル者ニ付亦同シ

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

六 神戸都市計畫事業路面改良受益者負擔
ニ關スル件

(大正十三年三月四日)
(内務省令第百四號)

第一條 神戸市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ路面ノ改良ニ
要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負
擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區別ハ當該道路ノ兩側ニ於

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七 神戸都市計畫事業道路廣場新設擴築受
益者負擔ニ關スル件

(大正十三年三月四日)
(内務省令第百四號)

第一條 神戸市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路若ハ廣場
ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益
者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區別ハ道路ノ兩側ニ於テ
其ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ五倍廣場ノ兩側ニ於テ其ノ境界線ヨリ
奥行六十間ノ地域トス

第三條 前條ノ區別内ノ受益者ノ總負擔額ハ工事費ノ四分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一 各路線及廣場ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其區分ニ依リ第
二條ノ區別ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付
其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト
シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 各路線若ハ廣場ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラ
レタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其路線若ハ廣場ニ接スル部分ノ
長ニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ
在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シ
テ各受益者ニ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 同一ノ土地ニシテ重複シテ道路若ハ廣場ノ新設又ハ擴築ノ費
用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

テ道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ地域トス

第三條 路面ノ改良ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル者ノ負擔スヘキ金
額ハ工事費ノ四分ノ一トス但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員
六間ノ道路ノ負擔金額ト同額ニ止ム

第四條 前條ニ依ル負擔金額ノ内其半額ハ路面ノ改良ヲ爲スヘキ道路
ニ接スル土地ノ間口ノ長ニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ區別内ノ土地
ノ面積ニ比例シ負擔額ヲ定ム

第五條 河川、溝渠、並行道路其他土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ム
ルトキハ内務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃及負擔金額
ヲ定ムルコトヲ得

第六條 二線以上ノ路面ノ改良ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當
スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益
者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後一年ヲ超ユサル期間ニ於テ之
ヲ分納セシムルコトヲ得

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額
ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市
長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限りニ在ラス

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第八條 路面ノ改良ニ要スル費用ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附
額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負擔ヲ減免スルコトヲ得

市長カ適當ト認メタル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ
對シテ亦同シ

第九條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

スルコトヲ得

第六條 河川、溝渠、並行道路其他土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ム
ルトキハ内務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃及負擔金額
ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ノ現
在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後二年ヲ超ユサル
期間ニ於テ分納セシムルコトヲ得

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額
ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市
長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限りニ在ラス

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第八條 道路若ハ廣場ノ新設擴築ニ要スル費用又ハ土地ヲ寄附シタル
者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負擔ヲ減免スル
コトヲ得市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シ
タルモノニ對シテ亦同シ

第九條 本令施行ノ際既ニ着手セル工事ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ
工事着手ノ日ト看做ス

第十條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年三月内務省令第五號神戸都市計畫事業路
面改良受益者負擔ニ關スル件第五號ニ依ル負擔區劃
及負擔金額

第一條 大正十三年三月内務省令第五號第二條ノ負擔區劃内ニ河川、

(大正十三年七月十一日)
(内務省令第百十七號)

- 運河、溝渠、下水道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
- 第二條 效用同等以上ト認メラルヘキ並行道路力道路ノ境界線ヨリ與行四十間以内ノ地域ニアリタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
- 前條ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキ場合ニ在リテハ其ノ負擔區劃内ニ限リ前項ノ規定ヲ適用ス
- 第三條 街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヲ以テ道路境界線ト看做ス
- 第四條 前三條ノ場合ニ於ケル一坪當リ負擔金ハ大正十三年三月内務省令第五號第二條乃至第四條ニ依ル一坪當リ負擔金ト同額トス
- 第五條 土地ノ形狀著シク不整ニシテ宅地トシテ利用シ難シト認メラルモノニ付テハ其ノ利用シ難シト認メタル部分ニ付負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年三月内務省令第六號神戸都市計畫事業街
路廣場新設擴築受益者負擔二關スル件第六條ニ依ル
區劃及金額
(大正十三年七月十一日
内務省令第五十八號)

- 第一條 大正十三年三月内務省令第六號第二條ノ負擔區劃内ニ河川、運河、溝渠、下水道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
- 第二條 效用同等以上ト認メラルヘキ並行道路力道路ノ幅員ノ十倍以内ノ地域ニアリタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

- 廣場ニ在リテハ廣場境界線(接續道路存在ノ場合ハ道路境界線)ヨリ十二間ニ達スル迄ノ地域
- 第二地帶 前記外側線ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域廣場ニ在リテハ同第一地帶外側線ヨリ二十四間ニ達スル迄ノ地域
- 第三地帶 第二地帶外側線ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域廣場ニ在リテハ同第二地帶外側線ヨリ二十四間ニ達スル迄ノ地域
- 二、二地帶ノ時
- 第一地帶 道路ノ境界線ヨリ道路幅員ニ相當スル地域廣場ニ在リテハ廣場境界線(接續道路存在ノ場合ハ道路境界線)ヨリ十二間ニ達スル迄ノ地域
- 第二地帶 前記外側線ヨリ道路幅員ノ四倍ニ相當スル地域廣場ニ在リテハ同第一地帶外側線ヨリ四十八間ニ達スル迄ノ地域

- 三、三地帶ノ時ニ於ケル負擔率
- 第一地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ六十
- 第二地帶 同 百分ノ二十五
- 第三地帶 同 百分ノ十五
- 四、二地帶ノ時ニ於ケル負擔率
- 第一地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ六十
- 第二地帶 同 百分ノ四十
- 第四條 土地ノ面積ハ公簿面ニ依ル但シ土地ノ一部ニ負擔ヲ課スルトキハ實測ニ依ル

- 第五條 大正十三年七月内務省令第十七號及同第十八號第一條ニ依ル負擔區劃ノ限界トスヘキ土地ノ利用ヲ區分スル地物ヲ左ノ通り定ム

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

- 前條ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキ場合ニ在リテハ其ノ負擔區劃内ニ限リ前項ノ規定ヲ適用ス
- 第三條 街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヲ以テ道路境界線ト看做ス
- 第四條 前三條ノ場合ニ於ケル一坪當リ負擔金ハ大正十三年三月内務省令第六號第二條乃至第四條ニ依ル一坪當リ負擔金ト同額トス
- 第五條 土地ノ形狀著シク不整ニシテ宅地トシテ利用シ難シト認メラルモノニ付テハ其ノ利用シ難シト認メタル部分ニ付負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

街路廣場新設
擴築路面改良 受益者負擔施行規程
(神戸市告示第百三三號
大正十三年七月二十七日ヨリ施行)

- 第一條 工事費トハ工事及之ニ伴フ事務ノ費用ヲ謂フ但シ橋梁費(橋梁ニ伴フ地上ケ費ヲ含ム)隧道費ヲ除ク
- 第二條 負擔區ハ工事費ノ稍均シキ部分ヲ以テ同一區トス
- 第三條 負擔區内ノ地帯ハ路面改良ノ場合ニ於テハ一箇トシ道路廣場ノ新設又ハ擴築ノ場合ニ於テ國道ニ在リテハ之ヲ三箇縣道及市道ハ二箇トス
- 前項ニ箇又ハ三箇ニ分ツ場合ニ於テハ各地帯及負擔率ハ左ノ區分ニ依ル
- 但シ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ別ニ定ムル所ニ依ル(昭和四年六月本條改正)
- 一、三地帶ノ時
- 第一地帶 道路ノ境界線ヨリ道路幅員ニ相當スル地域

- 但シ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ別ニ定ム
- 一、幅員平均十間以上ノ運河、河川
- 第六條 大正十三年七月内務省令第十七號及同第十八號第五條ニ依リ負擔ノ一部ヲ免除スヘキ土地及率ヲ左ノ通り定ム
- 一、路面ニ對シ地盤ノ高低著シクシテ宅地ニ利用シ得サル部分ハ其ノ間口負擔ノ全額ヲ免除ス
- 二、路面ニ對シ一間以上地盤ノ高低アリテ宅地ニ利用シ得ヘキ部分ハ其ノ間口負擔ノ半額ヲ免除ス
- 三、後方接續地ト所有者又ハ大正九年九月内務省令第二十八號ニ謂フ權利者ヲ異ニスル土地ニシテ奥行一間未滿ノ部分ハ其ノ間口負擔ノ全額ヲ奥行二間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ三ヲ奥行三間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ二ヲ奥行四間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ一ヲ免除ス但シ本號ノ土地ニシテ前號ニ該當スルモノニ付テハ前號ニ依ル負擔額ヲ基本トシテ之ヲ定ム
- 四、山林又ハ原野ニシテ地盤ノ高低著シク邸宅ニ利用シ得サル部分ハ其面積負擔ノ半額ヲ免除ス

- 第七條 路面改良受益者負擔ノ件第六條及道路廣場新設擴築受益者負擔ノ件第五條ニ規定セル重複負擔ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ輕キ負擔ヲ免除ス
- 第八條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ毎年一月末日及八月末日ノ二回ニ分チ之ヲ徵收ス但シ初回ニ限リ臨時之ヲ徵收スルコトヲ得

- (大正十四年五月本項改正)
- 前項分納ニハ指定納期ノ翌日ヨリ完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニヨリ計算シタル利子ニ相當スル増負擔金ヲ百圓ニツキ一日金貳錢ノ割ヲ以テ納付セシム(昭和四年六月本項追加)

第九條 前條分納ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ本市住民タル能力者ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認ムル連帶保證人二名ト共ニ連署申請スヘシ但國庫證券、地方債券、勸業銀行債券、興業銀行債券農工銀行債券其他市長ニ於テ適當ト認ムル證券ヲ擔保トシテ提供スルトキハ保證人ヲ免除スルトアルヘシ（昭和二年三月本條追加）

第十條 分納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ徵收スルトアルヘシ

一、破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ

二、指定ノ分納期限内ニ納付セザルトキ

三、擔保物件ノ滅損其他ノ事由ニヨリ更ニ増擔保ヲ供スヘキ場合又ハ市長ニ於テ保證人ノ變更ヲ要スト認メタル場合ニ之レカ増額又ハ變更セザルトキ（昭和二年三月本條追加）

八 京都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

（大正十三年五月十二日
內務省令第七二號）

第一條 京都市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ兩側ニ於テ其ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ十倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者ノ負擔金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

又ハ金銭ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負擔ヲ減免スルコトヲ得市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテモ亦同シ

第九條 本令施行ノ際既ニ着手セル工事ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

第十條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

京都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

（大正十三年三月九日
內務省令第九號）

第六條 依ル負擔區劃及負擔金額

大正十三年三月內務省令第七號京都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件第六條ニ依リ負擔區劃及負擔金額左ノ通り定ム

第一條 大正七年三月以前ノ京都市ノ區域内ニ在リテハ大正八年十二月二十七日內閣認可京都市區改正設計第四號線ノ鴨川以東ニ於ケル部分、第八號線及第十三號線ヲ除クノ外大正十三年三月內務省令第七號第二條ニ依ル負擔區域ヲ道路ノ兩側ニ於テ其ノ境界線ヨリ道路幅員ノ五倍ノ地域トス

第二條 負擔區劃内ニ河川溝渠堤塘下水道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

第三條 並行道路ニシテ其ノ效用同等以上ト認メラルヘキモノトノ間隔カ第一條ノ場合ニ於テハ道路ノ幅員ノ十倍其ノ他ノ場合ニ於テハ二十倍ニ滿タサルトキハ其ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ前條ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條 街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分ノ道路

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシテ當該區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 各路線ニ接スル地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其ノ路線ニ接スル部分ノ長サニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シ各受益者ニ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帶及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 同一ノ土地ニシテ重複シテ道路ノ新設又ハ擴築ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル者ニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルトヲ得

第六條 河川、溝渠、並行道路其他ノ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前四條ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃及負擔金額ヲ定ムルトヲ得

第七條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後二年ヲ超ヘサル期間ニ於テ之ヲ分納セシムルトヲ得

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ課付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

工 着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

八條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補助スル爲土地物件勞力

境界線ヲ延長シタル線ヲ以テ道路境界線ト看做ス

第五條 前三條ノ場合ニ於ケル一坪當リ負擔金ハ大正十三年三月內務省令第七號第二條乃至第四條ニ依ル坪當リ負擔金ト同一トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

九 名古屋都市計畫事業道路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件

（大正十三年七月九日
內務省令第二十九號）

第一條 名古屋市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路若ハ廣場ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ兩側ニ於テ各其ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ七倍、廣場ノ兩側ニ於テ各其ノ境界線ヨリ之ニ接續スル道路幅員ノ七倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者ノ負擔額ハ道路若ハ廣場ノ新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ十分ノ四、擴築ノ場合ハ工事費ノ十分ノ三トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線及廣場ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ

二、各路線ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ當該區分内ノ工事費ニ

付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム但シ橋梁費ニ付テハ別ニ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受タル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、各路線若ハ廣場ニ接スル地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其ノ路線若ハ廣場ニ接スル部分ノ長ニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

前項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帶及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 同一ノ土地ニシテ重複シテ道路若ハ廣場ノ新設又ハ擴張ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第六條 河川、溝渠、並行道路其ノ他土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前四條ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃及負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後二年ヲ超ニサル期間ニ於テ之ヲ分納セシムルコトヲ得

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第八條 道路若ハ廣場ノ新設擴張ニ要スル費用又ハ土地ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依リ負擔ヲ減免スル

ルルモノニ付テハ其ノ利用シ難シト認メタル部分ニ付負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年十二月九日官報第三、六九〇號公告ニ係ル事業ニ對シ大正十三年十一月內務省令第二十五號第九條ノ規定ニ依リ必要ナル事項

第一條 土地ノ位置面積及形狀ハ公簿及公簿附屬圖ニ依ル

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號第一號但書及第二號ニ該當スル土地ニ付テハ其ノ契約面積ニ依リ但未登記ニ屬スルモノナルトキハ所有者及權利者連署申告ニ依リ之ヲ定ム

第三條 前二條ノ土地ニシテ負擔區及地帶ノ境界線ニ跨ルモノ並新設擴張ノ道路ニ接スル間口、間數ハ實測シテ之ヲ定ム

第四條 工事費トハ土地代物件移轉料築造費及之ニ伴フ諸係費ヲ謂フ

第五條 負擔義務者ヨリ分納ヲ申請シタルトキハ特別ノ事情アリト認ムルモノニ限リ左ノ條件ヲ附シ許可スルコトアルヘシ

一、年七末五厘ノ割ヲ以テ利子ヲ附スルコト

二、本市ニ住所ヲ有スル能力者ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認ムル連帯保證人二名以上ヲ附スルコト

前項保證人ニ代ルニ國庫證券地方債證券勸業銀行債券興業銀行債券發行銀行債券ヲ以テ擔保ト爲スコトヲ得其ノ價格ハ許可ノ際之ヲ指定ス

第六條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ毎年二、五、八、十一月ノ四回ニ分チ各月末日之ヲ徵收ス但シ初回若クハ終回ニ限り隨時之ヲ徵收スルコトヲ得

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

コトヲ得市長カ適當ト認メタル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテハ亦同シ

第九條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

大正八年八月名古屋告示第六十四號ノ工事ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年十一月內務省令第二十五號名古屋都市計畫事業街路廣場新設擴張受益者負擔ニ關スル件第六條ニ依リ負擔區劃及負擔金額

第一條 大正十三年十一月內務省令第二十五號第二條ノ負擔區劃内ニ河川、運河、溝渠、鐵道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

第二條 效用同等以上ト認メラルヘキ並行道路カ道路ノ幅員ノ十四倍以上ノ地域ニ在リタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

前條ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキ場合ニ在リテハ其負擔區劃内ニ限リ前項ノ規定ヲ適用ス

第三條 街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヲ以テ道路境界線ト看做ス

第四條 前三條ノ場合ニ於ケル一坪當リ負擔金ハ大正十三年十一月內務省令第二十五號第二條乃至第四條ニ依リ一坪當リ負擔金ト同額トス

第五條 土地ノ形狀若クハ不整ニシテ宅地トシテ利用シ難シト認メラ

大正十三年十一月內務省令第二十五號名古屋都市計畫事業道路廣場新設擴張受益負擔者ニ關スル件第四條ニ依リ大正十三年十二月九日官報第三、六九〇號公告ニ依リ一等大路第三類第六號路線ノ一部(墨王山線)ニ係ル負擔區、地帶及負擔率

附 則

一、負擔區

一等大路第三類第六號路線ノ一部(墨王山線)ノ負擔區ヲ左ノ通り分ツ

第一負擔 自東區田代町字坂上(工事終點) 兩側

第二負擔 自東區田代町地内第百五十四號線(地下電車停留所) 兩側

第三負擔 自東區千種町字今池(今池線) 兩側

第四負擔 自東區千種町字今池(今池線終點) 兩側

第五負擔 自鐵道中央線 兩側

二、地帶ハ前項負擔區ニ於ケル負擔區劃ヲ擴張道路ノ境界線ヨリ順次左ノ方法ニ依リ三個ニ分ツ

第一地帶 擴張道路ノ境界線ヨリ各道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域

第二地帶 第一地帶ノ外側線ヨリ各道路幅員ノ二倍半ニ相當スル地域

第三地帶 第二地帶ノ外側線ヨリ各道路幅員ノ二倍半ニ相當スル地域

三、前項各地帶ノ負擔率左ノ如シ

第一地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ六十

第二地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ二十五

第三地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ二十五

一一

第三地帯 負擔區負擔額ノ百分ノ十五

大正十三年十一月内務省令第二十五號名古屋都市計畫專業道
路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件第四條第一項第一號但書
ノ規定ニ依リ大正十三年十二月九日官報第三六九〇號公告ニ係
ル一等大路第三類第六號路線(覺王山線)ニ架設スル千種橋橋梁
負擔區

(大正十五年六月二十六日)
(名古屋告示第七十二號)

橋梁(千種橋)負擔區 一等大路第三類第六號路線ノ一部(覺王山線)自
第一負擔區至第四負擔區間

大正十四年五月四日名古屋告示第五十八號

名古屋都市計畫事業トシテ執行スヘキ一等大路第三類第六號路線(覺
王山線)ノ内東區千種町字今池(今池線)以東東區田代町字坂上六十八
番地ノ一ニ至ル區間ノ工事着手ノ日ハ大正十四年四月二十八日トス

大正十五年七月六日名古屋告示第七十六號

名古屋都市計畫事業街路ノ新設擴築並其ノ位置及幅員左ノ通定ム
一等大路第三類第六號路線 幅員拾三間半
中區新榮町九丁目十二番地先ヨリ鐵道中央線路ヲ跨キ市電覺王山電
車通テ鐵道東區田代町字坂上六十八番地ノ一ニ至ル區間

(參照) 大正十三年十二月九日官報第三六九〇號抄錄
左記名古屋都市計畫事業並執行年度制ノ件認可ス

記

一、名古屋都市計畫事業街路ノ新設擴築並其ノ位置及幅員左ノ通定ム
一等大路第三類第六號路線 幅員拾三間半

中區新榮町九丁目十二番地先ヨリ鐵道中央線路ヲ跨キ市電覺王山電
車通テ鐵道東區田代町字坂上六十八番地ノ一ニ至ル區間

二、二以上ノ負擔區ニ共通スル工事ノ事業費ハ各負擔區ノ土地(河
川運河及濠ヲ除ク)ノ面積ニ比例シテ各負擔區ニ配分ス

三、各受益者ノ負擔金額ハ各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額ヲ當該區
内ニ於ケル受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ル負擔
金額ノ外負擔金ヲ増課スルコトヲ得工事業竣工ノ日ヨリ十年以内ニ第
二號ニ該當スル事業ヲ經營シ又ハ第三號ニ該當スル建物ヲ建築シタ
ルトキ亦同シ

一、下水道事業ニ因リ土地力著シク其ノ利用ヲ増進スルトキ
二、下水道ニ排除スル汚水量著シク多量ナル事業ヲ經營スルトキ
三、階數三ヲ超エル建物ヲ有スルトキ
前項ノ規定ニ依リ増課スヘキ金額ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ在
リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ五割ヲ同三號ノ場合ニ在リテハ
前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ二十割ヲ超エルコトヲ得ス

第六條 下水道ニ關スル設備ニシテ道路トシテノ效用ヲ兼ヌルモノア
ルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外其ノ部分ノ兩側境界線ヨリ奥行二十
間ノ地域内ニ於ケル受益者ヲシテ道路トシテノ效用ヲ兼ヌルモノ爲
ニ要スル事業費ノ五分ノ一ニ付其ノ半額ハ當該部分ニ面スル土地ノ
間口ノ長ニ他ノ半額ハ當該區域内ノ土地ノ面積ニ比例シ之ヲ負擔セ
シム但シ既設道路ニ下水道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
土地ノ狀況又ハ工事施行年度等ニ依リ必要アルトキハ別ニ地域負擔
金額及負擔方法ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事竣工ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セ
シム但シ第八條ノ納付期間内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受
益者トナリタル者ヨリ殘額ヲ納付セシム

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

10 東京都計畫東京市下水道事業受益者負
擔ニ關スル件

(大正十四年十二月五日)
(内務省令第二十八號)

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ東京市長ノ執行スヘキ下水道事
業ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用
ヲ負擔セシムヘシ

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂
フ

一、排水區域内又ハ第六條ノ規定ニ依ル地域内ニ在ル有租地(新開
免租年期中ノモノヲ含ム)ノ所有者但シ賃權ノ目的タル土地ニ付
テハ賃權者、工事竣工ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル
地上權、永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永
小作人及賃借人

二、前號ノ區域内又ハ地域内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用
ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

三、第一號但書又ハ前號ノ權利二以上存スルトキハ最後ニ設定シタ
ル權利ヲ有スル者

第三條 受益者負擔區ハ東京市計畫下水道三大排水區ノ區分ニ依ル
但シ土地ノ狀況工事業施行年度等ニ依リ必要アルトキハ大排水區ヲ細
分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

第四條 受益者ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額ハ當該區ニ關スル事業費ノ三分
ノ一ヲ當該區内ニ於テ受益者ナキ土地(河川運河及濠ヲ除ク)ノ
面積ト受益者ノ土地ノ面積トニ按分シタル後者ノ額トス

工事業竣工ノ日ヨリ十年以内ニ第五條第二號ニ該當スル事業ヲ經營シ
又ハ同條第三號ニ該當スル建物ヲ建築シタルトキハ其ノ日ノ現在ニ
於ケル受益者ヨリ増課額ヲ納付セシム前項但書ノ規定ハ此ノ場合ニ
之ヲ準用ス

本令施行前ニ竣工シタル工事ニ付テハ第二條第一號第五條及前二項
ノ規定ノ適用ニ關シ本令施行ノ日ニ竣工シタルモノト看做ス
二、年度以上ニ亘ル工事ニ付テハ一年度又ハ數年度ニ屬スル工事ノ竣
功シタル日ヲ以テ第二條第一號第五條及第一項ノ工事業竣工ノ日ト看
做スコトヲ得

第八條 負擔金ハ十年間ニ均分シテ納付セシム

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコト
ヲ得

一、下水道又ハ第六條第一項ノ設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必
要アルトキ

二、下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力若ハ金錢ヲ
寄附シ又ハ東京市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之
ヲ寄附シタルトキ

前項第二號ノ規定ニ依リ減免スル金額ハ其ノ寄附額ヲ超エルコトヲ
得ス

第十條 左ニ掲ケル事項ハ東京市長之ヲ告示ス

一、第三條但書ニ依リ定メタル負擔區ノ區域

二、各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額

三、第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ増課スル地區事業及增課額又ハ增
課割合

四、第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル地域負擔金額及負擔方法

五 工事竣功ノ日

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ東京市長之ヲ定ム

附 則

第十二條 本令ハ下水道復舊工事ニ付テハ之ヲ適用セス

第十三條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東京市下水道受益者負擔規程施行細則

(大正十四年十二月二十六日 東京市令第三百五十九號)

第一條 本細則ニ於テ省令ト稱スルハ大正十四年內務省令第二十八號ヲ謂フ

第二條 永小作權、建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及賃借權ニシテ存續期間ノ定ナキモノ又ハ法律ノ規定ニ反スル期間ノ定アルモノニ付テハ法定期間ヲ以テ其ノ存續期間ト看做ス

第三條 省令第五條ノ規定ニ依ル増課額ハ省令第十條第三號ニ依リ告示スル地區、事業及増課額又ハ増課割合ヲ以テ左ノ方法ニ依リ之ヲ算定ス但シ事業ノ性質又ハ建物ノ用途ニ依リ之ヲ減免スルコトアルヘシ

一 第一號ノ場合

増課地區内ニ於ケル受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

二 第二號ノ場合

汚水量一年三千立方メートル以上ノモノニ付其ノ汚水量ニ比例シテ之ヲ定ム

前項ノ汚水量ハ最近一年間ノ上水使用量又ハ其ノ他ノ用水量ニ依ル

其ノ廢棄ノ月迄増課負擔金ヲ徵收ス同第三號ニ支當スル建物滅失シタルトキ亦同シ

第十條 負擔金ハ負擔區毎ニ毎年度一定ノ納期ニ於テ之ヲ徵收ス

第十一條 負擔金納付義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ負擔金納付ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲本市内ニ住所又ハ居所ヲ有スル納付管理人ヲ定メ市長ニ申告スヘシ其ノ管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十二條 負擔金納付義務者住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相繼人ヨリ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告スヘシ前條ノ納付管理人其ノ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキ亦同シ

附 則

第十三條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 名古屋都市計畫事業運河新設受益者負擔ニ關スル件

(大正十五年一月十八日 内務省令第二號)

第一條 名古屋市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ運河ノ新設ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ運河ノ周圍ニ於テ

運河用地ノ境界線ヨリ運河一等第一及二等第一ニ付テハ奥行四百間三等第二三等第三及舟溜ニ付テハ奥行百六十間ノ地域(内都市計畫造成スル建築敷地堀川以東及築地電車線路以南ノ部分ヲ除ク)トス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者ノ負擔金額ハ其ノ運河新設工事費ノ十分ノ四トス

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

三 第三號ノ場合

階數三ヲ超ユル部分ニ於ケル延建坪ニ比例シテ之ヲ定ム

階數及屋階ハ階數ニ算入ス

第四條 受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ニ對シ直後ノ納期ヨリ均分額ヲ賦課ス賦課ノ基本ニ異動アリタルトキ其ノ更正均分額ニ付亦同シ

第五條 省令第七條第二項ニ該當スル増課負擔義務者ハ毎年一定時ニ之ヲ調査シ其ノ増課額ハ直後ノ納期ヨリ之ヲ納付セシム

第六條 省令第二條第一號ニ規定スル有租地ノ所有者ハ工事竣功告示ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ具備シタル申告書ヲ市長ニ提出スヘシ但シ同一負擔區ニ對シ二回以上工事竣功ノ告示ヲ爲シタル場合ニ於テ既ニ申告ヲ了シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 土地ノ所在地、坪數及住所氏名捺印

二 省令第二條第一號但書又ハ同三號ニ該當スルトキハ其ノ權利ノ種類、設定ノ年月日、存續期間、坪數及權利者ノ住所氏名捺印前項ノ申告事項ハ一筆毎ニ認ムルヲ要ス

省令第二條第二號ニ規定スル地上權者、永小作人及賃借人ハ前二項ニ準シテ申告書ヲ提出スヘシ

第七條 受益者ニ異動ヲ生シタルトキハ新舊受益者連署ヲ以テ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告スヘシ

賦課ノ基本ニ異動ヲ生シタルトキハ受益者ニ於テ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告スヘシ

第八條 前二條ノ申告ヲナササルトキ又ハ申告事項適當ナラズト認ムルトキハ市長之ヲ充定ス

第九條 省令第五條第一項第二號ニ該當スル事業ヲ廢止シタルトキハ

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、第二條ノ區劃ヲ運河ノ等級又ハ土地ノ狀況ニ依リ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ各負擔區ニ前條ノ負擔金額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

二、前條ノ負擔區ヲ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ一個又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、運河用地ニ接スル地帯ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ二分シ其ノ一ヲ土地ノ運河用地ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ分配ス

前項ノ負擔區地帯及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 同一ノ土地ニシテ重複シテ運河新設ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ、土地ノ狀況ニ依リ宅地トシテ利用スルコトヲ得スト認メタルモノニ付テハ其ノ利用スルコトヲ得サル部分ニ付負擔ヲ免除スルコトヲ得

第六條 土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前四條ノ規程ニ拘ラス第二條ノ地域内ニ於テ別ニ負擔區劃及負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ工事着手後八年ヲ超エサル期間ニ於テ之ヲ分納セシムルコトヲ得

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第八條 運河新設ニ要スル費用又ハ土地ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本令ニ依ル負擔ヲ減免スルコトヲ得

第九條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年內務省令第二號名古屋都市計畫專業運河新設受益者負擔ニ關スル件第四條ニ依リ大正十三年十一月官報第三六七一號公告ニ依ル運河一、二等第一、二等第二、二等第三及舟溜新設(中川運河)ニ係ル負擔區、地帶及負擔率

(昭和二年十一月二日) (名古屋市令第三百二十一號)

一、負擔區

大正十五年一月內務省令第二號第二條ノ地域ヲ左ノ通分ツ

第一負擔區 運河ノ東西兩部ニ於テ築地電車線ヨリ岡門北端ヲ東西ニ延長シタル線(南區熱田前新田字中川東二八七番ノ三ヨリ)ニ至ル間

第二負擔區 運河ノ東西兩部ニ於テ第一負擔區北部境界線ヨリ園道一號線(東海)ニ至ル間

第三負擔區 運河ノ東西兩部ニ於テ第二負擔區北部境界線ヨリ市道御器所下一色線(百曲)ニ至ル間

第四負擔區 運河ノ東西兩部ニ於テ第三負擔區北部境界線ヨリ運河ノ西部ニ在リテハ都市計畫事業トシテ造成スル建築敷地北端ヲ西ニ延長シタル線(中區長良町字南新田二〇番ノ一ヨ)同東部ニ在リテハ縣道秋竹熱田線(下一色)ニ至ル間

第五負擔區 運河ノ東部ニ於テ第四負擔區北部境界線ヨリ第八負擔

負擔區北部境界線ノ一部(中區米野町字長戸井七八番ノ二ヨリ鐵道五六番ノ)以北

二、地帶 前項各負擔區ニ於ケル區劃ヲ運河用地ノ境界線ヨリ順次左ノ方法ニ依リ三個ノ地帶ニ分ツ

甲地帶 第一負擔區乃至第九負擔區ニ在リテハ運河用地ノ境界線ヨリ運河一等第一、同二等第一ニ付テハ百間(内都市計畫事業トシテ造成スル建築敷地ヲ除)運河三等第二、同三等第三ニ付テハ長行四十間ノ地域但シ第一第二負擔區中運河ノ東部ニ於テ鐵道線路敷以東ニ跨リタル部分ハ之ヲ除外ス第十負擔區ニ在リテハ舟溜ノ周圍ニ於テ南ハ負擔區境界線、東ハ鐵道用地、北ハ運河用地境界線ヨリ長行四十間西ハ米野町字八反地九九番ヨリ同所一二二番ヲ經テ延長シタル線以東ノ地域

乙地帶 第一負擔區乃至第九負擔區ニ在リテハ甲地帶ノ外側線ヨリ運河一等第一、同二等第一ニ付テハ長行百三十間、運河三等第二、同三等第三ニ付テハ長行五十間ノ地域及甲地帶但書ニ依リ除外セラレタル地域但シ第八負擔區運河三等第三ノ東部ニ於ケル地帶線ニ付テハ鐵道用地西側ヲ以テ乙、丙地帶ノ境界線トシ第六及第七負擔區運河二等第一及同三等第三ノ西部ニ於ケル地帶線ニ付テハ中區米野町字鹽田七番ノ八ヨリ同町字向野三三番ニ接續スル線ヲ以テ乙丙地帶ノ境界線トス第十負擔區ニ在リテハ東ハ甲地帶外側線ヲ北ニ延長シタル線以東、西ハ甲地帶外側線以西ニシテ鐵道用地以南ノ地域

丙地帶 大正十五年一月內務省令第二號第二條ノ地域ノ内甲、乙地

帯 都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

區南部境界線(中區米野町字南西宮神四七番ノ一ヨリ建築敷地外折シ同町字村内一〇五番、同町字東出一三〇番ノ二地先ヲ經テ同番ノ一)ニ至リ鐵道用地西側ニ沿ヒ同區西古渡町字小扒三二

第六負擔區 運河ノ西部ニ於テ第四負擔區北部境界線ヨリ第七負擔區南部境界線(中區露橋町字中田五五番ヨリ同區米野町字)及第十負擔區南部境界線ノ一部(中區米野町字長戸井七八番ノ二ヨリ鐵道

五六番ノ)ニ至ル間

第七負擔區 運河(舟溜)ノ西部ニ於テ第六負擔區北部境界線ノ一

部(中區露橋町字中田五五番ヨリ同區米野町字)ヨリ第十負擔區南部境界線ノ一部(中區西日置町字溝端一七番ノ二ヨリ都市計畫街路一等大路第二類第十號路線南側ニ沿ヒ同區米野町字向野三三番ニ至リ折シテ同町字六ノ内七一番ニ至リ鐵道用地南側ニ沿ヒ同町字長戸井七八番ノ二ニ於テ第六負擔區北部境界線ニ)ニ至ル間

第八負擔區 運河(舟溜)ノ東部及同(堀川)南北兩部ニ於テ第五

負擔區北部境界線ヨリ北ハ第十負擔區南部境界線ノ一部(中區西字下鶴垂二〇番ノ一ヨリ)都市計畫街路一等大路第二類第十號路線南側ニ沿ヒ同町字長島八番ニ至リ鐵道用地西側ニ沿ヒ同町字石橋七番ノ一ニ於テ鐵道用地ヲ橫ル東ハ第九負擔區西部境界線(堀川ニ切リ同町字中田五五番ノ二至ル)南北ニ延長シタル線)ニ至ル間

第九負擔區 運河(堀川)ノ南北兩部ニ於テ第八負擔區東部境界線ヨリ堀川西岸ニ至ル間

第十負擔區 舟溜ノ周圍ニ於テ第七、第八負擔區北部境界線及第六

帶以外ノ地域

三、負擔區負擔率

第一項各負擔區ニ於ケル負擔率ハ左ノ通トス

- 第一負擔區 負擔金總額ノ千分ノ三十八
第二負擔區 負擔金總額ノ千分ノ百五十五
第三負擔區 負擔金總額ノ千分ノ百六十
第四負擔區 負擔金總額ノ千分ノ三百四十五
第五負擔區 負擔金總額ノ千分ノ六十四
第六負擔區 負擔金總額ノ千分ノ百十五
第七負擔區 負擔金總額ノ千分ノ三十四
第八負擔區 負擔金總額ノ千分ノ六十
第九負擔區 負擔金總額ノ千分ノ十三
第十負擔區 負擔金總額ノ千分ノ十六

四、地帶負擔率

第二項各地帶ニ於ケル負擔率ハ左ノ通トス

第一負擔區

- 甲地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ二百二十七
乙地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ四百六十九
丙地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ三百三十三

第二負擔區

- 甲地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十九
乙地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ三百九十九
丙地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ三百一十一

第三負擔區

- 甲地帶 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十八

- 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百九十二
- 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百十
- 第四負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百一
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百九十三
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百六
- 第五負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百四
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ四百四
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十二
- 第六負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ四百四十五
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十三
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百六十二
- 第七負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百八十二
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ五百十八
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ百
- 第八負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ六百
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十七
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ百三
- 第九負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ四百八十八
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百八十一

- 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百三十九
- 第十負擔區
 - 甲地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百八十七
 - 乙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ三百十五
 - 丙地帯 負擔區負擔額ノ千分ノ二百九十八
- 五、分割負擔率
 - 前項甲地帯ニ於ケル分割負擔率ハ左ノ通トス
- 第六負擔區
 - 運河用地ニ接スル部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ百二十七
 - 面積ノ部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ八百七十三
- 第七負擔區
 - 運河用地ニ接スル部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ二百四十二
 - 面積ノ部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ七百五十八
- 第八負擔區
 - 運河用地ニ接スル部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ二百八十九
 - 面積ノ部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ七百十一
- 第九負擔區
 - 運河用地ニ接スル部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ七十七
 - 面積ノ部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ九百二十三
- 第十負擔區
 - 運河用地ニ接スル部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ九十二
 - 面積ノ部分 甲地帯負擔額ノ千分ノ九百八

大正十五年一月十八日內務省令第二號名古屋都市計畫事業運河新設受益者負擔ニ關スル件第九條ニ依リ必要ナル事項

(昭和二年三月八日內務省令第十一號)
(昭和九年三月二十二日內務省令第五號改正)
(名古屋府令第百三十三號)

三 東京都市計畫事業道路(環狀線放射線) 受益者負擔ニ關スル件

(昭和二年三月八日內務省令第十一號)
(昭和九年三月二十二日內務省令第五號改正)

- 第一條 土地ノ位置面積及形狀ハ公簿及公簿附屬圖ニ依ル
 - 第二條 大正九年九月內務省令第二十八號第一號但書及同第二號ニ該當スル土地ニ付テハ其ノ契約面積ニ依ル但未登記ニ屬スルモノナルトキハ所有者及權利者連署申告ニ依リ之ヲ定ム
 - 第三條 前二條ノ土地ニシテ負擔區及地帯ノ境界線ニ跨ルモノ並運河用地ニ接スル間口間數ハ實測シテ之ヲ定ム
 - 第四條 工事費トハ土地代、物件移轉料、築造費及之ニ伴フ諸係費ヲ謂フ
 - 第五條 負擔義務者ヨリ分納ヲ申請シタルトキハ特別ノ事情アリト認ムルモノニ限リ左ノ條件ヲ附シ許可スルコトアルヘシ
 - 一、年七朱五厘ノ割ヲ以テ利子ヲ附スルコト
 - 二、本市ニ住所ヲ有スル能力者ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認ムル連帯保證人二名以上ヲ附スルコト
 - 三、前項保證人ニ代ルニ國庫證券、地方債證券、勸業銀行債券、興行銀行債券農業銀行債券ヲ以テ擔保ト爲スコトヲ得其ノ價格ハ許可ノ際之ヲ指定ス
 - 第六條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ毎年二、五、八、十一月ノ四回ニ分チ各月末日之ヲ徵收ス但シ初回若クハ終回ニ限リ隨時之ヲ徵收スルコトヲ得
- 大正十五年九月二十七日名古屋市告示第一一八號
- 大正十三年十一月官報第三六七一號ヲ以テ内閣ノ認可ニ係ル名古屋都市計畫事業トシテ執行スヘキ運河一等第一、二等第一、三等第二、三等第三及舟溜新設工事着手ノ日ハ大正十五年十月一日トス

- 第一條 東京府ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中府知事ノ執行スヘキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ
- 第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得新設又ハ擴張スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘鐵道軌道其ノ他地物ノ狀況ニ於テ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得
- 第三條 府知事ハ道路ノ幅員事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得
- 第四條 府知事ハ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔割合ヲ合ム
- 前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ地帯及負擔割合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム
- 第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一、道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ、道路擴築ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ四分ノ一ニ、前條ノ負擔割合ヲ乘シテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス

二、新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル面積割一間當負擔金額トス

三、前號以外ノ地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル面積割一間當負擔金額トス

四、新設又ハ擴築スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ニ接スル部分ノ間數ヲ乘シテ得タル面積割一間當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘シテ得タル金額トノ和ヲ以テ、其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一間當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘シテ得タル面積割一間當負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地域ヲ縮小シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一間當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮小セサルモノトシテ之ヲ算出ス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノ

アルトキハ其費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ十四分シ事業着手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシムル但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業着手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月內務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ認定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額カ事業費豫算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足アルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超スルコトヲ得ス

一、同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

二、同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金ト同一年度内ニ重複シテ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

三、地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

四、道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ

施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

五、道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國若ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ供用シタルトキ

第九條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條ノ地帯及負擔割合第五條第一項ノ間口割一間當負擔金額及面積割一間當負擔金額同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル間口割ノ割合、事業着手ノ日第六條第一項ノ期日並事業費豫算額及精算額ハ府知事之ヲ告示スヘシ

第十條 昭和二年八月內務省告示第四百十號ヲ以テ告示シタル都市計畫事業中本例施行ノ際既ニ著手セサルモノニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業着手ノ月ト看做ス

附則

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六條第二項ノ規定ハ本令施行前ニ設定セラレタル權利ニ關シテハ之ヲ適用セズ

本令施行前ニ賦課シタル負擔金ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ受益者ニ關シテハ第六條第二項及第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

負擔金ノ繰上納付及減免ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラス本令ノ規定ニ依ル

濱松都市計畫事業道路廣場新設擴築受

益者負擔ニ關スル件

(昭和二年七月二十日 內務省令第三十六號)

第一條 濱松市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路又ハ廣場

ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル者本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路又ハ廣場ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ道路ニ在リテハ道路幅員ノ三倍、廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員ノ三倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃ノ負擔額ハ道路又ハ廣場ノ新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ二分ノ一道路又ハ廣場ノ擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其擴築スヘキ部分ニ於ケル道路ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ二倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線及廣場ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ當該區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前號ノ前負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、道路又ハ廣場ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路又ハ廣場ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 河川、溝渠、鐵道、專用軌道、崖地等土帶ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ道路幅員ノ六倍以内ノ地域ニ在リタルトキハ其道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前二項ノ場合ニ於ケル坪當リ負擔金額ハ第二條乃至第四條ニ依ル坪當リ負擔金額ト同一トス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ通知スヘシ受益者ハ相當ノ擔保ヲ供シ利子ヲ納付シテ前項ノ決定ノ通知ノ日ヨリ三年ヲ超ニサル期間内ノ分納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金額ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工事費精算額ニ依リ算出シタルモノニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路又ハ廣場ノ新設、擴築若ハ路面ノ改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路又ハ廣場ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 本令ノ公布ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一四 金澤都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔二關スル件

(昭和二年十月五日
內務省令第四一號)

第一條 金澤市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ、費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路幅員ノ五倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃ノ負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一、道路擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ニ於ケル道路ノ平均幅員舊道路平均幅員ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條

此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ延納期間ノ末日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第七條 負擔金額ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工事費精算額ニ依リ算出シタルモノニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴築若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地區劃整理ノ施行ニ依リ土地シ又ハ無償ニテ國有地ニ編入シタルトキハ其ノ整理施行ヲ又ハ土地區劃整理組合ノ組合員ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長之ヲ通知スヘシ受益者ハ相當ノ擔保ヲ供シ利子ヲ納付シテ前項決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超ニサル期間内ノ分納ヲ求ムルコトヲ得

罹災後一年以内ニ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ受益者ハ相當ノ擔保ヲ供シ第三項決定通知ノ日ヨリ二年ヲ超ニサル期間ノ延納ヲ求ムルコトヲ得

金澤都市計畫事業受益者負擔施行規程

(昭和二十二年二月二十二日 金澤市規程第八十五號)

- 第一條 土地ノ位置、面積及形狀ハ公簿面ニ依ル但シ土地ノ一部ニ負擔ヲ課スルトキハ實測シテ之ヲ定ム
- 第二條 大正九年九月内務省令第二十八號第一號但書及第二號ニ該當スル土地ニ付テハ其ノ契約面積ニ依ル但シ未登記ニ屬スルモノナルトキハ所有者及權利者連署ノ申告ニ依リ之ヲ定ム
- 第三條 前二條ノ土地ニシテ負擔區及地帯ノ境界線ニ跨ルモノ並新設、擴張ノ道路ニ接スル間口間數ハ實測シテ之ヲ定ム
- 第四條 受益者ニ負擔セシムル費用ハ土地代、物件移轉費、道路築造費及之ニ伴フ諸係費トス
- 第五條 昭和二十年十月内務省令第四十一號(以下單ニ省令ト稱ス)第八條ニ規定セル重複負擔ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ輕キ負擔ヲ免除ス
- 第六條 省令第十條ニ該當シ負擔金ノ一部ヲ免除スヘキ土地及其ノ率ハ左ニ定ムル處ニ依ル
 - 一、路面ニ對シ地盤ノ高低著シクシテ宅地ニ利用シ得サル部分ハ其ノ間口負擔ノ全額ヲ免除ス
 - 二、路面ニ對シ一間以上地盤ノ高低アリテ宅地ニ利用シ得ヘキ部分ハ其ノ間口負擔ノ半額ヲ免除ス
 - 三、後方接續地ト所有者又ハ大正九年九月内務省令第二十八號ノ權利者ヲ異ニスル土地ニシテ奥行一間未滿ノ部分ハ其ノ間口負擔ノ全部ヲ奥行二間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ三ヲ奥行三間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ二ヲ奥行四間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ一ヲ免除ス但シ本號ノ土地ニシテ前號ニ該當スルモノニ付テハ前號ニ依ル負擔

額ヲ基本トシテ之ヲ定ム

- 第七條 省令第六條第四項ニ依リ負擔金分納ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ別記書式ニ依リ本市住民ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認ムル連帯保證人二名以上連署シ申請スヘシ但シ國庫證券、地方債券、勸業銀行債券、興業銀行債券、農工銀行債券、其ノ他市長ノ適當ト認ムル證券ヲ擔保ニ提供シ保證人ニ代フルコトヲ得其ノ價格ハ許可ノ際之ヲ指定ス
- 第八條 前條分納ヲ許シタル負擔金ノ利率ハ年七分ノ割合トス
- 第九條 分納ヲ許シタル負擔金及利率ハ毎年三月、九月ノ二回ニ分テ各月末日迄ニ之ヲ徵收ス但シ初會者ハ終回ニ限り隨時之ヲ徵收スルコトアルヘシ
- 第十條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ之ヲ徵收スルコトアルヘシ
 - 一、破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ
 - 二、指定ノ分納期限内ニ納付セザルトキ
 - 三、擔保物件ノ減損其ノ他ノ事由ニ依リ增擔保ヲ供スヘキ場合又ハ市長ニ於テ保證人ノ變更ヲ要スト認メタル場合ニ之カ増額又ハ變更セザルトキ

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

金澤市告示第八十八號

昭和二十年十月内務省令第四十一號第四條ニ依リ同年同月七日官報第二三四號公告ニ係ル事業ノ負擔區、地帯及負擔率

一、負擔區
イ、一路線中負擔區ヲ設ケルモノ左ノ通

第一號線

本號道路境界線ト袋町四十六番地ノ一前現在道路境界線トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ下堤町ノ方ニ至ル 區間

本號道路境界線ト桶町三十三番地ノ三同三十三番地ノ六トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ第一負擔區境界線ニ至ル 區間

第二負擔區境界線ヨリ岩根町ノ方ニ至ル 區間

本號道路境界線ト彦三八番丁四十八番地第八號道路線ノ東側トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷延長シ南ハ第八號道路東側境界線ニ依リ之ヨリ象眼町ノ方ニ至ル 區間

第一負擔區境界線ヨリ彦三一番丁ノ方ニ至ル 區間

本號道路線ヲ彦三六番丁二十三番地ノ二前ニ於テ現在道路線ニ依リ遮斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ第一負擔區境界線ニ至ル 區間

第一負擔區境界線ヨリ瓢箪町ノ方ニ至ル 區間

本號道路境界線ト彦三五番丁六十九番地ノ四第一號道路境界線トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ桶町ノ方ニ至ル 區間

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第一負擔區境界線ヨリ龜尾町ノ方ニ至ル 區間

本號道路境界線ト彦三五番丁七十九番地ノ一第一號道路境界線トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ橫安江町ノ方ニ至ル 區間

第一負擔區境界線ヨリ彦三一番丁ノ方ニ至ル 區間

本號道路北側境界線ト岩根町七番地ノ彦三一番丁四十二番地トノ交點ニ於テ本號道路線ヲ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ第一負擔區境界線ニ至ル 區間

第一負擔區境界線ヨリ小橋町ノ方ニ至ル 區間

本號道路線ヲ彦三八番丁十七番地ニ於テ第六號道路境界北側線ニ依リ橫斷シタル線ヲ双方ニ延長シ之ヨリ彦三八番丁ノ方ニ至ル 區間

第一負擔區境界線ヨリ第二號線ノ方ニ至ル 區間

一路線中負擔區ヲ設ケサルモノ左ノ通

第五號線

第九號線

第十一號線

前項各負擔區ノ地帯ヲ分ツコト左ノ通

- 第一號線 各負擔區
- 第一地帯 本號道路ノ周圍境界線ヨリ外ノ方ヘ二十間ノ地域
- 第二地帯 第一地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ二十間ノ地域
- 第三地帯 第二地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ二十間ノ地域
- 第二號線 各負擔區
- 第一地帯 本號道路ノ周圍境界線ヨリ外ノ方ヘ十七間五分ノ地域
- 第二地帯 第一地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ十七間五分ノ地域
- 第三地帯 第二地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ十七間五分ノ地域
- 第三號線 各負擔區
- 第四號線 第一負擔區
- 第五號線 負擔區
- 第六號線 各負擔區
- 第一地帯 本號道路ノ周圍境界線ヨリ外ノ方ヘ十間ノ地域
- 第二地帯 第一地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ十間ノ地域
- 第四號線 第二負擔區
- 第八號線 各負擔區
- 第九號線 負擔區
- 第十號線 負擔區
- 第十一號線 負擔區
- 第一地帯 本號道路ノ周圍境界線ヨリ外ノ方ヘ七間五分ノ地域
- 第二地帯 第一地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ七間五分ノ地域
- 第七號線 各負擔區
- 第一地帯 本號道路ノ周圍境界線ヨリ外ノ方ヘ十四間ノ地域
- 第二地帯 第一地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ十三間ノ地域

第三地帯 第二地帯ノ外側線ヨリ外ノ方ヘ十三間ノ地域

三、負擔率

前項各地帯ノ負擔率左ノ通

- 第一號線
- 第二號線
- 第七號線
- 第一地帯 其ノ負擔區負擔額ノ百分ノ六十
- 第二地帯 其ノ負擔區負擔額ノ百分ノ二十五
- 第三地帯 其ノ負擔區負擔額ノ百分ノ十五
- 第三號線
- 第四號線
- 第五號線
- 第六號線
- 第八號線
- 第九號線
- 第十號線
- 第十一號線
- 第一地帯 其ノ負擔區負擔額ノ百分ノ七十
- 第二地帯 其ノ負擔區負擔額ノ百分ノ三十

三 堺都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔二關スル件

(昭和三年一月廿一日)

第一條 堺市ノ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費

用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ

其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路幅員ノ七倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃ノ負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ

一ノ道路擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其擴築スヘキ部分ニ於ケル道路ノ平均幅員カ

舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之

ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條

ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ

區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯ト

シテ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

トス但其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ場合ニ於ケル坪當リ負擔金額ハ第二條乃至第四條ニ依ル坪

當負擔金額ト同一トス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ

之ヲ納付セシム

前項ノ工事著手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ通知スヘシ

受益者ハ相當ノ擔保ヲ供シ利子ヲ納付シテ前項決定通知ノ日ヨリ三

年ヲ越エサル期間内ノ分納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金額ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工事費

精算額ニ依リ算出シタルモノニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足

スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ

限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴築者ハ

路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係

ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該

當スルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、

勞力、又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於

テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル公法ニ依リ工事ヲ

施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ上地

シ又ハ無償ニテ國有地ニ編入シタルトキハ其ノ整理施行者又ハ土地

區劃整理組合ノ組合員ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト

認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得
第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年一月內務省令第三號現市長執行現都市計畫專業道路
新設擴築受益者負擔ニ關スル件施行細則

(昭和四年四月二十五日)
現市告示第四十九號

第一條 工事費トハ用地買収費用移轉費築造費等並之ニ伴フ諸經費
ヲ謂フ

第二條 負擔區ハ之ヲ左ノ三箇地帯ニ區分ス

但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第一地帯 道路ノ境界線ヨリ道路幅員ノ一倍ニ相當スル地域

第二地帯 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域

第三地帯 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ四倍ニ相當スル地域

第三條 各負擔區ノ負擔額ハ之ヲ左ノ率ニ依リ各地帯ニ配分ス

第一地帯 百分ノ六十

第二地帯 百分ノ二十五

第三地帯 百分ノ十五

第四條 負擔義務者ハ土地登記簿又ハ土地臺帳ニ依ル但シ未登記又ハ
未登錄ノモノニシテ義務者タルコトヲ證スルニ足ル場合ハ此ノ限リ
ニ在ラス

一六 岡山市計畫專業道路廣場新設擴築受

益者負擔ニ關スル件

(昭和三年二月六日)
內務省令第四號

第一條 岡山市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路又ハ廣場
ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ル所ニ依リ受益者
ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路又ハ廣場ノ周
圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪
除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路ニ在リテハ道
路幅員ノ五倍、廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路ノ
幅員ノ五倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃ノ負擔額ハ道路又ハ廣場ノ新設ノ場合ハ其ノ工事
費ノ三分ノ一、道路又ハ廣場ノ擴築ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一
トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ニ於ケル道路ノ平均幅員
ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ
之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線及廣場ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ

第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ

付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚簿ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト

シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、道路又ハ廣場ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分

セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路又ハ廣場ニ接スル部分ノ

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第五條 同一ノ土地ニ付所有權以外ノ權利者數人アル場合ニ於テハ現
ニ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ヲ以テ受益者ト看做ス

第六條 土地ノ面積ハ土地臺帳登錄面積ニ依ル但シ土地臺帳ニ據リ難
キ土地ニ付テハ實測ニ依ル

第七條 負擔金ノ分納ヲ求ムル者ハ負擔金額決定通知ヲ受ケタ
ル日ヨリ二十日以内ニ擔保物件ヲ添ヘ市長ニ出願スヘシ

第八條 負擔金ノ分納ヲ許可スル場合ニ於テハ八年八分ノ利子ヲ徵シ毎
年左ノ納期ニ於テ元利共之ヲ徵收ス

但シ特別ノ事情アルモノハ別ニ納期ヲ指定スルコトアルヘシ

第一期 五月一日ヨリ三十一日限

第二期 十一月一日ヨリ三十日限

第九條 負擔金ノ分納ヲ許可スル場合ニ於ケル擔保ハ國債證券府縣又
ハ各市ノ發行スル公債、勸業銀行、興行銀行、並農工銀行債券其他

市長ニ於テ適當ト認ムル有價證券トス

前項有價證券ノ見積價格ハ時價ノ九割トス

第十條 負擔ノ分納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルトキ
ハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ヲ一時ニ徵收スルコトアルヘシ

一、指定ノ分納期間内ニ納付セザルトキ

二、擔保物件ノ増徴ニ應セザルトキ

三、破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

長ニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土
地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例
シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示ス

第五條 河川、溝渠、鐵道、專用軌道、崖地等土地ノ利用ヲ區分スヘ
キ地物カ第二條ノ地域ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ境界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路ガ道路幅員ノ十倍以内ノ地域
ニ在リタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ境界
トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ此ノ限ニ在ラス前二項
ノ場合ニ於ケル坪當リ負擔金額ハ第二條乃至第四條ニ依ル坪當リ負
擔金ト同一トス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ
之ヲ納付セシム

前項ノ工事著手ノ日ハ市長之ヲ告示ス但シ本令施行ノ際既ニ著手セ
ル工事ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ工事著手ノ日ト看做ス

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長之ヲ通知スヘシ受益者
ハ相當ノ擔保ヲ供シ利子ヲ納付シテ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ
超セサル期間内ノ分納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金額ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工事費
精算額ニ依リ算出シタルモノニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足
スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ
限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路又ハ廣場ノ新設擴築
若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ
關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ費用ヲ負擔スヘキ關係

ニ該當スルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路又ハ廣場ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長ガ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ道路又ハ廣場ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ノ地區劃整理ノ施行ニ依リ土地シ又ハ無償ニテ國有地ニ編入シタルトキハ其ノ整理施行者又ハ土地地區劃整理組合員ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年二月六日內務省令第四號岡山市計畫事業道路廣場新設擴張受益者負擔ニ關スル件第十一條ニ依リ必要ナル事項

(昭和三年三月三日 市發第百九號)

第一條 工事費トハ土地代、物件移轉其ノ他補償費、築造費及之ニ伴フ諸費ヲ謂フ

第二條 土地ノ位置、面積及形狀ハ公簿及公簿附屬圖ニ依ル但シ負擔區及地帯ノ境界線ニ跨リタル土地ニ負擔ヲ課スル場合其ノ他ノ事故ニ依リ公簿及公簿附屬圖ニ依ルコトヲ得サルトキハ實地調査其ノ他適當ト認ムル方法ニ依リ其間口及面積ヲ査定スルモノトス

第三條 昭和三年二月六日內務省令第四號第五條ニ依ル負擔區劃ノ限界トスヘキ地物ヲ左ノ通定ム但シ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於

第六條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケタルモノ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ徵收スルコトアルヘシ

一 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ

二 指定ノ分納期限内ニ納付セザルトキ

三 擔保物ノ減損其ノ他ノ事由ニ依リ更ニ増擔保ヲ供スヘキ場合又ハ市長ニ於テ保證人ノ變更ヲ要スト認メタル場合ニ之カ増額又ハ變更ヲ爲サザルトキ

附 則

第七條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 大阪府知事執行都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件

(昭和三年二月十日 府發第百九號)

第一條 大阪府ハ都市計畫事業トシテ府知事ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路幅員ノ七倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃ノ負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一トス
道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ擴張スヘキ部分ニ於ケル道路ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス
前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

テハ別ニ之ヲ定ム

一 旭川

二 山陽線、宇野線及中國鐵道用地

第四條 負擔金ノ減免ハ左ノ標準ニ依ル

一 昭和三年二月六日內務省令第四號第八條ニ規定セル重複負擔ニ該當スル土地ニ對シテハ其ノ輕キ負擔ノ十分ノ七ヲ免除ス

二 路面ニ對シ地盤ノ高低著シクシテ宅地ニ利用シ得サル部分ハ其ノ間口負擔ヲ免除ス

三 路面ニ對シ一階以上地盤ノ高低アリテ宅地ニ利用シ得ヘキ部分ハ其ノ間口負擔ノ半額ヲ免除ス

四 後方接續地ト所有者又ハ大正九年九月內務省令第二十八號ニ謂フ權利者ヲ異ニスル土地ニシテ奥行一間未滿ノ部分ハ其ノ間口負擔ノ全額ヲ奥行二間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ三ヲ奥行三間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ二ヲ奥行四間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ一ヲ免除ス但シ本號ノ土地ニシテ前號ニ該當スルモノニ付テハ前號ニ依ル負擔額ヲ基本トシテ之ヲ定ム

五 山林又ハ原野等ニシテ地盤ノ高低著シク邸宅ニ利用シ得サル部分ハ其ノ面積負擔ノ半額ヲ免除ス

第五條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ハ左ノ方法ニ依ル

一 毎年五月十一月ノ二回ニ分チ各月末日之ヲ徵收ス但シ初回ニ限り隨時之ヲ徵收ス

二 年七末五厘ノ割ヲ以テ利子ヲ徵收ス

三 市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券土地建物ヲ擔保トシテ提供セシム但シ市長ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認ムル連帶保證人二名以上ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ府知事之ヲ告示ス

第五條 河川、溝渠、鐵道、專用軌道、崖地等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ道路幅員ノ十四倍以内ノ地域ニ在リタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ此ノ限ニアラス

前二項ノ場合ニ於ケル坪當リ負擔金額ハ第二條乃至第四條ニ依ル坪當リ負擔金額ト同一トス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ工事著手ノ日ハ府知事之ヲ告示ス
各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ府知事ハ之ヲ通知スヘシ受益者ハ相當ノ擔保ヲ供シ利子ヲ納付シテ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超ニサル期間内ノ分納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金額ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工事費

精算額ニ依リ算出シタルモノニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同ジ

道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地區劃整理ノ施行ニ依リ土地シ又ハ無償ニテ國有地ニ編入シタルトキハ其ノ整理施行者又ハ土地區劃整理組合ノ組合員ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示スヘシ

第五條 河川、渠溝、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域内ニ在リタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ市長之ヲ告示スヘシ

各受益者ノ負擔金多額ノトキハ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供シ利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超ユエサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

八 清水都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件

(昭和三年十一月二十八日內務省令第四十二號)

第一條 清水市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設若クハ擴張ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路(道路ノ一部ヲ爲ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スルノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ內務大臣之ヲ決定ス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路ノ新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一道路ノ擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トス

道路擴張ノ場合ニ於テ擴張道路ノ面積ガ其ノ敷地内ニアル舊道路ノ面積ノ二倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若クハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ本令ニ依ル受益者負擔金ヲ課スヘキ事業ニ着手シタルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長カ適當ト認ムル工法ニ依ル工事ニ依ル工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區内ノ土地所有者ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

清水都市計畫受益者負擔金徵收規程

(昭和四年三月五日) 第五號

第一條 負擔金ハ負擔區劃内ニアル土地ノ所有者、質權者又ハ地上權者トシテ土地裏帳ニ登録セラレタルモノヨリ徵收ス

但シ事業着手ノ時ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權、永小作權、質權、又ハ賃借權ノ目的タル事ヲ土地所有者及質權者、地上權者、永小作權者、賃借權者連署ヲ以テ申出ルル時ハ其ノ申出ニ依ル

第二條 受益者ニ負擔セシムヘキ費用ノ概目左ノ如シ

- 一、土地買収費
- 二、地上物件移轉及之ニ伴フ補償費
- 三、工事材料費
- 四、作業費

五、雜費(前各號ノ合計金額ノ百分ノ三ニ相當スル金額トス)

第三條 占用物件ノ撤去又ハ移轉ノ遅延ニ因リ同時ニ工事ヲ施行スルコト能ハサル場合ニ於テモ之ニ要スル費用ハ之レヲ事業費總額ニ算入ス

第四條 負擔金ハ土地台帳及附屬圖面ニ記載シアル土地ノ間口及ヒ面積ニ據リ之ヲ算出ス

但シ土地ノ一部ヲ負擔金賦課ノ目的トスル場合其ノ他ノ事故ニ因リ土地台帳等ニ據ルコトヲ得サルトキハ實地調査其他適當ト認ムル方法ニヨリ其ノ間口及面積ヲ査定スルモノトス

第五條 街路新設又ハ擴張ノ場合ニ於ケル負擔區分ハ左ノ標準ニ據ル

- 一、新設ノ區間ト擴張ノ區間アルトキ
- 二、河川、溝渠、鐵道、新設軌道等ガ道路ヲ横斷スルトキ
- 三、土地ノ價格ニ著シキ等差アルトキ
- 四、前各號ノ外著シク土地ノ狀況ヲ異ニスルトキ

第六條 地帯ノ設定ハ左ノ標準ニ據ル

- 一、負擔區劃ヲ二個以上ノ地帯ト爲ス場合ニ於テ路線ニ接スル地帯ノ奥行ハ通常六間ヲ下ラサルモノトス
- 二、土地ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ前號ニ拘ハラズ別ニ地帯ノ區域ヲ定ムルモノトス

第七條 負擔區劃内ニ在ル第一條但書該當者ハ事業着手ノ告示アリタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ申告書ヲ市長ニ提出スヘシ

第十三條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケタルモノ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ之ヲ徵收ス

- 一、破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ
- 二、分納ノ期限後督促狀指定ノ納期迄ニ納付セザルトキ
- 三、擔保物件ノ滅損其ノ他ノ事由ニ依リ更ニ増擔保又ハ保證人ノ變更ヲ必要トスヘキ場合ニ之レカ増額又ハ變更ニ應ゼザルトキ

第十四條 負擔金ノ減免ハ左ノ標準ニ據ル

- 一、重複ノ負擔金ヘキ關係ニ該當スル土地ニ對シテハ各街路毎ニ坪當リノ負擔金額ヲ計算シ其ノ少ナキモノニ相當スル金額ヲ減額ス
- 二、路面ニ對シ地盤ノ高低著シキ土地ニシテ高低二十尺以上ノ部分ハ其ノ間口及面積負擔ノ十分ノ七ヲ高低十五尺以上ノ部分ハ十分ノ五ヲ高低十尺以上ノ部分ハ十分ノ三・五ヲ高低五尺以上ノ部分ハ十分ノ二ヲ免除ス

三、土地ノ一部ヲ道路用地トシテ買収又ハ使用スルニ因リ殘地ガ鐵道、軌道、河川、溝渠等ニヨリ宅地トシテ利用シ難キ場合ハ其ノ間口負擔ノ金額ヲ免除シ本號ノ土地ニシテ尙前號ニ該當スルモノニ付テハ前號ニ依リ面積負擔額ヲ免除ス

第十五條 昭和三年十一月二十八日內務省令第四十二號第五條ニ依ル

河川、溝渠、巴川、大橋川、大澤川ヲ之ニ適用ス

第十六條 受益者ニ異動ヲ生シタルトキハ新舊受益者連署ヲ以テ連帶

ナク其ノ旨ヲ市長ニ申告スヘシ

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之レヲ施行ス

第八條 受益者ハ負擔金ヲ指定ノ期限内ニ納額告知書ニヨリ納付スヘシ

第九條 負擔金納付義務者ニ對シ其ノ關係路線工事ニ依リ土地代金及地上物件移轉料其他金員ヲ市ヨリ交付スヘキ場合ハ負擔金ト相殺ス但シ過不足アルトキハ還付又ハ徵收ス其徵收金ニ對シテハ第十條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十條 負擔金ノ分納ハ特別ノ事情アリト認ムルモノニ限り左ノ方法ニヨリ許可ス

- 一、負擔金參百圓未満ナルトキハ 分納期限一ケ年以内
- 二、負擔金參百圓以上壹千圓未満ナルトキハ 分納期限二ケ年以内
- 三、負擔金壹千圓以上ナルトキハ 分納期限三ケ年以内
- 四、分納金ハ増負擔金ト共ニ毎年二月、五月、八月、十一月ノ四回ニ分チ各月末日之日ヲ徵收ス

但シ初回ニ限り臨時徵收スルコトアルヘシ

五、分納金ニ對シテハ決定通知ノ日ヨリ起算シ壹百圓ニ付日歩貳錢ノ割合ヲ以テ増負擔金ヲ附スルコト

第十一條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケントスル者ハ負擔金通知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ負擔金ニ相當スル擔保ヲ添ヘ分納申請書ヲ提出スヘシ

擔保ノ種類ハ市長ニ於テ確實ト認メタル有價證券及土地建物トス、但シ市長ニ於テ負擔金完納ノ資方アリト認メタル二名以上ノ保證人アルモノハ此ノ限りニアラス

第十二條 負擔金納付ヲ督促シタル場合ニ於テ指定ノ期限内ニ納付セザルトキハ負擔金壹百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ負擔金完納ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル増負擔金ヲ收徵ス

一九 静岡都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件

(昭和三年一月二十八日內務省令第四十三號)

第一條 静岡市ハ都市計畫事業トシテ静岡市長ノ執行スヘキ道路ノ新設若ハ擴張ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路(道路ノ一部ヲ爲ス廣場ニ在リテハ之ニ接続スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スルノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ內務大臣之日決定ス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路ノ新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ二分ノ一道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一トス

道路擴張ノ場合ニ於テ擴張道路ノ面積カ其ノ敷地内ニアル舊道路ノ面積ノ二倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
- 二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト

シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
 三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ三分ノ二ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス
 第五條 河川、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物ガ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
 同等以上ノ効用アリト認ムル並行道路ガ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域内ニ在リタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル
 前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔額ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム
 前項ノ事業着手ノ日ハ靜岡市長之ヲ告示スヘシ
 各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ靜岡市長之ヲ各受益者ニ通知スヘシ
 各受益者ハ負擔金多額ノトキハ靜岡市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供シ利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得
 第七條 負擔金ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ靜岡市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

大正九年內務省令第二十八號第一號但書及第二號ニ該當スル土地ニ付テハ其ノ契約ノ間口及面積ニ依ル
 第三條 前條第二項ノ土地ニシテ未登記ニ屬スルモノナルトキハ所有者及權利者連署ノ申告ニ依リ之ヲ定ム
 前項申告書ハ事業着手ノ告示アリタル日ヨリ起算シ二十日以内ニ市長ニ提出スヘシ
 第四條 負擔金ハ納額告知書ニヨリ期限ヲ指定シ各受益者ヨリ之ヲ徵收ス
 第五條 負擔金納付義務者ニ對シ其ノ關係路線工事ニ因リ土地代金及地上物件移轉補償費其ノ他金員ヲ市ヨリ交付スベキ場合ハ受益者負擔金ト相殺ス但シ市ヨリ交付スル金額カ受益者負擔金額ヨリ超過スルトキハ其ノ差額ヲ交付シ不足ヲ生スルトキハ其ノ不足額ヲ徵收ス
 前項但書ノ場合ニ於ケル納付金ハ第六條ノ規定ヲ適用ス
 第六條 負擔義務者ヨリ分納ヲ申請シタルトキハ特別ノ事情アリト認ムルモノニ限り左ノ各號ニ依リ許可スルコトアルヘシ
 一 負擔金參百圓未満ナルトキ 分納期間一年以内
 二 負擔金參百圓以上壹千圓未満ナルトキ 分納期間二年以内
 三 負擔金壹千圓以上ナルトキ 分納期間三年以内
 第七條 前條ニ依リ分納ヲ許可シタルトキハ分納金壹百圓ニ付一日金貳錢ノ割合ヲ以テ増負擔金ヲ徵收ス
 第八條 分納金ハ増負擔金ト共ニ毎年二月、五月、八月、十一月ノ四回ニ分チ各月末限リ之ヲ徵收ス、但シ初回ニ限り臨時徵收ス
 第九條 負擔金ヲ分納セムトスル者ハ負擔金決定通知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ負擔金ニ相當スル擔保ヲ提供シ分納申請書ヲ市長ニ提出スヘシ

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ本令ニ依ル受益者負擔金ヲ課スヘキ事業ニ着手シタルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得
 第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得靜岡市長ガ適當ト認ムル工法ニ依ル工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同ジ道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區内ノ土地所有者ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得
 第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得
 第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ靜岡市長之ヲ定ム
 附 則
 本令ハ靜岡市及安倍郡大里村ニ之ヲ適用ス
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 靜岡都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔規程施行細則
 (昭和四年一月十八日)
 (法律第三號)

第一條 受益者ニ負擔セシムル費用ハ土地買收費、地上物件移轉補償費、道路築造費其ノ他事業執行ニ伴フ諸係費トス
 第二條 各受益者ノ負擔金額ハ公簿及公簿附屬圖ニ記載アル土地ノ間口及面積ニ依リ之ヲ算出ス但シ土地ノ一部ヲ負擔金賦課ノ目的トスル場合又ハ一筆ノ土地ニシテ二以上ノ負擔區若ハ地帯ニ跨ルモノ等公簿面ニ依ルコトヲ得サル場合ハ實測其ノ他適當ナル方法ニ依リ其ノ間口及面積ヲ査定スルモノトス

擔保ハ有價證券(國庫證券、地方債證券、勸業銀行債券、興業銀行債券ノ類トス)ニシテ其ノ種類及價格ハ市長ノ認ムル所ニ依ル
 擔保ヲ提供スルコト能ハサル者ニ限り本市ニ住所ヲ有スル能力者ニシテ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認ムル連帶保證人二名以上ヲ附シ之ニ代フルコトヲ得
 第十條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケタルモノノ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ之ヲ徵收ス
 一 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ
 二 分納期限後指定ノ期間内ニ納付セザルトキ
 三 擔保物件ノ減損其ノ他ノ事由ニ依リ更ニ増擔保ヲ提供スヘキ場合ニ之カ増額ヲ爲サザルトキ
 第十一條 省令第八條及第十條ニ依リ負擔金ノ減免ヲ要スルモノト認ムルトキハ左記各號ノ標準ニ依ル
 一 同一土地ニシテ重複負擔ニ該當スル場合ニアリテハ其ノ輕キ負擔ヲ免除ス
 二 路面ニ對スル地盤ノ高低著シキ土地ニシテ高低二十尺以上ノ部分ハ其ノ間口及面積負擔ノ十分ノ八ヲ、高低十五尺以上ノ部分ハ十分ノ六ヲ、高低十尺以上ノ部分ハ十分ノ四ヲ、高低五尺以上ノ部分ハ十分ノ二ヲ免除ス
 三 道路ニ接スル土地カ後方接續地ト所有者又ハ大正九年內務省令第二十八號ニ謂フ權利ヲ異ニスル土地ニシテ奥行一間未満ノ場合ハ其ノ間口負擔ノ十分ノ九ヲ、奥行二間未満ノ場合ハ其ノ十分ノ六ヲ、奥行三間未満ノ場合ハ其ノ十分ノ三ヲ免除ス、但シ本號ノ土地ニシテ前號ニ該當スルモノニ付テハ前號ニ依ル負擔額ヲ基本トシテ之ヲ定ム

第十二條 省令第五條ニ依リ負擔區劃ノ境界トスヘキ土地ノ利用ヲ區分スル地物ヲ左ノ通定ム

一 東海道線鐵道用地

一 城壕

附 則

本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年十一月内務省令第四十三號靜岡都計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件第四條ニ依リ昭和二年十二月十三日官報第二八八號公告ニ依ル一 等大路第三類第一號路線(靜岡驛江川町線) 及一 等大路第三類第三號路線(靜岡驛若松町線) 一部ノ負擔區、地帶及負擔率

(昭和四年一月十八日告示第一號)

一、負擔區

一 等大路第三類第一號路線
本號路線ノ周圍ヲ一負擔區トス

一 等大路第三類第三號路線

自榮町一番ノ一地方(靜岡驛前)路線起點至下魚町五十八番ノ一地方(市道平屋町通)新設道路ノ周圍ヲ一負擔區トス但シ市道平屋町線以西側ヲ除ク

二、地帶

前項負擔區ニ於ケル負擔區劃ヲ新設道路ノ境界線ヨリ順次左ノ方ニ依リ三個ノ地帶ニ分ツ

一 等大路第三類第一號路線(靜岡驛江川町線)

第一地帶 道路境界線ヨリ十一間ニ相當スル地域

第二地帶 第一地帶ノ外側線ヨリ十四間ニ相當スル地域

テ地上權永小作權及賃借權ノ設定シアルモノノ地上權者永小作人及賃借人

第三條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ三分ノ一ヲ受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ外負擔金ヲ増加スルコトヲ得

一 下水道事業ニ因リ土地カ著シク其利用ヲ増進スルトキ

二 下水道ニ排除スル汚物量著シク多量ナル事業ヲ經營スル者アルトキ

三 階數三ヲ超ユル建物存スルトキ

前項ノ規定ニ依リ増課スヘキ金額ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ五割ヲ第三號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔額ノ二十割ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額ニ依リ毎年一回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額ヲ起ユルコトヲ得ス

一 下水道利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

二 下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件努力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ王子町長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルトキ

第七條 左ニ掲グル事項ハ王子町長之ヲ告示ス

- 一 事業着手ノ日
- 二 毎年度ノ事業費精算額

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第三地帶 第二地帶ノ外側線ヨリ十五間半ニ相當スル地域

一 等大路第三類第三號路線(靜岡驛若松町線)

第一地帶 道路境界線ヨリ十間ニ相當スル地域

第二地帶 第一地帶ノ外側線ヨリ十二間ニ相當スル地域

第三地帶 第二地帶ノ外側線ヨリ十四間ニ相當スル地域

三 負擔率

前項各地帶ノ負擔率左ノ如シ

第一地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ六十三

第二地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ二十七

第三地帶 負擔區負擔額ノ百分ノ十

二〇 東京都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件

(昭和四年六月十五日)

第一條 王子町ハ都市計畫事業トシテ王子町長ノ執行スヘキ下水道事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ但シ同一ノ土地ニ付第一號但書又ハ第二號ノ權利二以上存スルトキハ最後ニ設定シタルモノ、權利者ヲ謂フ

一 排水區域内ニ在ル有租地ノ所有者但シ賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者地上權永小作權及賃借權ノ設定シアル土地ニシテ事業着手前設定ノモノハ事業着手ノ日ヨリ其ノ他ノモノハ設定ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ存スルモノニ付テ地上權者永小作人及賃借人

二 排水區域内ニ在リ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサル無租地ニシ

三 第四條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ増加スル土地、事業及金額又ハ割合

四 第五條ノ期日

第八條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ王子町長之ヲ定ム

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二一 東京都市計畫事業目黒川改修受益者負擔ニ關スル件

(昭和四年六月十五日)

第一條 東京府ハ大正十一年十二月内務省告示第三百四十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業目黒川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線(沈澱池ノ附近ニ於テハ其ノ境界線)ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ五倍ノ地域トス但シ船溜又ハ公共物揚場ノ附近ニ於テハ其ノ境界線ヨリ河川ノ幅員ト船溜又ハ公共物揚場ノ幅員トノ和ノ五倍ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ノ境界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 河川ノ幅員、事業執行年度又ハ土地ノ狀況等ニ依リ府知事ハ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項ニ依リ負擔區劃ノ境界ヲ定ムタル場合ニ於テハ第二條第一項ノ地域内ニ在ル境界外ノ土地ニ付負擔區ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金

ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金額ニ付亦同シ

第五條 府知事ハ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ一定ノ率ニ依リ各地帶ノ負擔額ヲ定ム

第六條 船溜ヨリ下流ニ於ケル河川船溜又ハ公共物揚揚ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ河川、船溜又ハ公共物揚揚ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シ事業着手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業着手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 第二條第二項ノ負擔區ノ限界、負擔區劃、第五條ノ地帶及率事業費豫算額及精算額並事業着手ノ日ハ府知事之ヲ告示スヘシ

境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路(道路ノ一部ヲ爲ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スルノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ内務大臣之ヲ決定ス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ五分ノ二、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一トス

道路擴張ノ場合ニ於テ擴張道路ノ面積カ其ノ敷地内ニ在ル舊道路ノ面積ノ二倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年内務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
- 二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帶ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
- 三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帶及率ハ仙臺市長ニ之ヲ告示スヘシ

第九條 同一ノ土地ニシテ重複シテ負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スル者ニ付テハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

同一ノ土地ニシテ事業着手ノ日ヨリ七年内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複スル關係ニ該當スル者ニ付テハ本令ニ依ル負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ對稱的スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 河川ノ改修ニ依ル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十二條 本令施行ノ際既ニ事業ニ著手セル部分ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業着手ノ日ト看做ス

第十三條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ヲ府知事之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 仙臺都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件

(昭和四年七月十七日)

第一條 仙臺市ハ都市計畫事業トシテ仙臺市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ

第五條 河川、溝渠、鐵道、新設軌道、涯地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域内ニ在ルトキハ其ノ路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

第二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ仙臺市長之ヲ告示スヘシ

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ仙臺市長ハ之ヲ各受益者ニ通知スヘシ

各受益者ハ負擔金多額ノトキハ仙臺市長相當ト認ムル擔保ヲ提供シ利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ五ヶ年ヲ超ニサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ仙臺市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限リニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ本令ニ依ル受益者負擔金ヲ課スヘキ事業ニ着手シタルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、

努力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔額ヲ減免スルコトヲ得、仙臺市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區内ノ土地所有者ニ對シテハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ仙臺市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ仙臺市及宮城郡七北田村ニ之ヲ適用ス
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 東京都計畫事業道路受益者負擔二關スル件

(昭和四年八月一日
內務省令第三十四號)

第一條 東京市ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中市長ノ執行スヘキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハソノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路ノ幅員ノ五倍ノ地域トス
東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得

第七條 負擔額ハ之ヲ均等ニ四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

負擔額ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス
前項ノ負擔額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 土地ノ利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ増課スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於テハ寄附額ヲ超過スルコトヲ得ス
一 同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔額ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二 地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
三 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタルモノアルトキ

第十條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、第六條第二項ノ規定ニ依リ間口負擔ノ割合事業費豫算額及精算額、事業著手ノ日、第七條第一項ノ期日並負擔金額

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第一項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得

第三條 市長ハ路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔額ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔額毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第三項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔額ヲ負擔セシムルモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除シ負擔區内ニ負擔額ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同シ

道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

陸道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得

第五條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔額ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシテ一定ノ率ニ依リ各地帶ノ負擔額ヲ定ム

第六條 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ道路ニ接スル土地ノ部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

増課スル事項及増課割合ハ市長之ヲ告示スヘシ
第十一條 本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十二條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東京都計畫事業道路受益者負擔規程施行細則

(昭和四年九月七日
內務省令第三十七號)

第一條 本細則ニ於テ省令ト稱スルハ昭和四年内務省令第三十四號ヲ謂フ

第二條 永小作權建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及賃借權ニシテ存續期間ノ定ナキモノ又ハ法律ノ規定ニ反スル期間ノ定アルモノニ付テハ法定期間ヲ以テ其ノ存續期間ト看做ス

建物ノ所有ヲ目的トセサル地上權及賃借權ニシテ存續期間ノ定ナキモノニ付テハ其ノ存續期間ヲ十年未滿ト推定ス

第三條 負擔區ニ於ケル地帶ハ之ヲ左ノ三箇ニ區分ス
第一地帶 道路ノ境界線ヨリ道路幅員ノ一倍ニ相當スル地域
第二地帶 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域
第三地帶 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域

第四條 負擔區ニ於ケル負擔金額ハ之ヲ左ノ率ニ依リ各地帶ニ配分ス
第一地帶 負擔金額ノ百分ノ五十
第二地帶 負擔金額ノ百分ノ三十五
第三地帶 負擔金額ノ百分ノ十五

第五條 道路幅員ノ五倍ヲ越ニタル負擔區ノ場合又ハ負擔區内ニ於

ル土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス
地階及率ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 省令第四條第二項ノ平均幅員ハ舊道路ノ總面積ヲ其ノ延長ニ
テ除シタルモノトス

第七條 省令第七條第一項ノ期日ハ毎年四月一日及十月一日トス
負擔金ハ毎年左ノ二期ニ之ヲ徵收ス但シ第一回分ニ限り臨時徵收ス
ルコトアルヘシ

第一期 四月一日ヨリ四月三十日限
第二期 十月一日ヨリ十月三十一日限

第八條 受益者ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ新ニ受益者トナリタルトキ
ハ新ニ受益者トナリタルモノニ對シ直後ノ納期ヨリ均分額ヲ賦課ス
賦課ノ基本ニ異動アリタルトキハ其ノ更正均分額ニ付亦同シ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ各號ノ割合ニ依リ負擔
金ヲ増課ス但シ事業ノ性質又ハ建物ノ用途ニ依リ之ヲ減免スルコト
アルヘシ

一 線建坪百坪以上ノ倉庫ヲ使用スル倉庫業、常時五十人以上ノ職
工ヲ使用スル製造業、石材、木材、鐵材業及常時三臺以上ノ自動
車ヲ使用スル營業ニ付テハ其ノ營業用敷地ノ負擔金ニ相當スル金
額ノ三割

二 前號以外ノ自動車車庫ヲ有スルトキハ其ノ建築面積ノ負擔金ニ
相當スル金額ノ三割但シ營業用自動車車庫ニシテ七坪未満ノモノ
ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三 階數三ヲ超ユル建物ヲ有スルトキハ其ノ超ユル部分ニ於ケル延
建坪ニ比例シテ増課額ヲ定ム此ノ場合ニ於ケル一坪當増課率ハ建
築面積ノ負擔金ニ相當スル金額ヲ建築面積ニテ除シタル金額ノ一

ナク其ノ旨市長ニ申告スヘシ新ニ受益者トナリタルトキ又ハ賦課ノ
基本ニ異動ヲ生シタルトキニハ受益者ニ於テ遲滞ナク其ノ旨市長ニ
申告ストシ

第十三條 前二條ノ申告ヲ爲ササルトキ又ハ申告事項適當ナラスト認
ムルトキハ市長之ヲ査定ス

第十四條 負擔金納付義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ
負擔金納付ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲本市内ニ住所又ハ居所ヲ
有スル納付管理人ヲ定メ市長ニ申告スヘシ其ノ管理人ヲ變更シタル
トキ亦同シ

第十五條 負擔金納付義務者住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ其ノ者
ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告ス
ヘシ前條ノ納付管理人其ノ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキ亦同シ

附 則
本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 東京都市計畫事業古川改修受益者負擔

二 關スル件

(昭和四年八月十五號)
(內務省令第三十五號)

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ古川改修ニ要
スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ
其ノ兩側ニ於テ三十間ノ地域トス
改修前ノ洪水ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內
務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數
箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ定ム
第四條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ百分ノ十三ヲ負擔區劃内ニ在
ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ前條ノ負擔歩合及各

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

割五分トス
地階及屋階ハ階數ニ算入ス

第十條 省令第九條ノ規定ニ依ル減免ハ左ノ例ニ依ル

第一號ノ場合

市長ノ執行スル道路工事ノ負擔金ヲ重複シテ負擔スル關係ニ該當
スル土地ニ付テハ其ノ重複スル部分ニ對シ面積當負擔金ヲ各街路
毎ニ計算シ其ノ少ナキモノニ相當スル金額ヲ減額ス

第二號ノ場合

街路ニ直接スル崖岸及隣接土地ノ路端トノ高低其ノ他街路工事ニ
依リ土地ノ利用ヲ著シク阻害セラレタリト認ムル土地等ニ付テハ
負擔金ヲ減免ス

前項ノ例ニ適合セサルモ特ニ斟酌スルノ必要アリト認ムルモノニ對
シテハ相當金額ヲ減免ス

第十一條 省令第二條ニ規定スル負擔區劃内ニ在ル有租地ノ所有者ハ
事業着手告示ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ具備シタル申告書ヲ
市長ニ提出スヘシ

一 土地ノ所在地、間口ノ長、坪數及住所氏名捺印

二 工事着手ノ日ヨリ起算十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永
小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ權利ノ種類、設定ノ年月
日、存續期間、間口ノ長、坪數土地見取圖、權利者ノ住所氏名捺
印

省令第二條ニ規定スル負擔區劃内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共
ノ用ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者永小作人及賃借人ハ前項
ニ準シテ申告書ヲ提出スヘシ

第十二條 受益者ニ異動ヲ生シタルトキハ新舊受益者連署ヲ以テ遲滞

受益者ノ土地ノ面積ヲ乘シタルモノトス
第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ
區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十七ヲ當該區域
内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ各所有者ノ土
地ノ面積ヲ乘シタル金額ヲ負擔セシム

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケ
ル現在ノ受益者ヨリ納付セシム
事業着手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ
設定セラレタル有租地ニ付テハ其地上權者、永小作人及賃借人ヲ以
テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月內務省令第二十八號及前項ノ權利(所
有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利
者ヲ以テ受益者トス
前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之
ヲ適用セス

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付
テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコト
ヲ得但シ第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附金又ハ工費額ヲ超
ユルコトヲ得ス

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依リ負擔金ト他ノ規定ニ
依ル受益者負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負
擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

三 古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ

寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ
第九條 左ニ掲タル事項ハ市長之ヲ告示ス

一 第三條ノ地帯及負擔歩合

二 第四條及第五條ノ一坪當金額

三 事業着手ノ日

四 第六條第一項ノ期日

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔規程施行細則

(昭和四年九月七日 東京市告示第三百七十二號)

第一條 本細則ニ於テ省令ト稱スルハ昭和四年內務省令第三十五號ヲ
謂フ

第二條 永小作權、建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及賃借權ニシテ存
續期間ノ定ナキモノ又ハ法律ノ規定ニ反スル期間ノ定アルモノニ付
テハ法定期間ヲ以テ其ノ存續期間ト看做ス

建物ノ所有ヲ目的トセサル地上權及賃借權ニシテ存續期間ノ定ナキ
モノニ付テハ其ノ存續期間ヲ十年未滿ト推定ス

第三條 負擔區ニ於ケル地帯ハ之ヲ左ノ三箇ニ區分ス

第一地帯 右岸新廣尾町一丁目百三十四番地ノ三先ヨリ新廣尾町三

丁目百六十二番地ノ一先ニ至ル街路ヲ境界トシ河川境界線ニ至ル

地域左岸新廣尾町一丁目百二十四番地先ヨリ新廣尾町三丁目八十

一番地ノ一先ニ至ル街路ヲ境界トシ河川境界線ニ至ル地域

第二地帯 河川境界線ヨリ真行三十間ノ地域ノ内第一地帯ヲ除キタ

タ其ノ旨市長ニ申告スヘシ賦課ノ基本ニ異動ヲ生シタルトキハ受益
者ニ於テ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告スヘシ

第九條 前二條ノ申告ヲナササルトキ又ハ申告事項適當ナラスト認ム
ルトキハ市長之ヲ査定ス

第十條 負擔金納付義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セザルトキハ負
擔金納付ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲本市内ニ住所又ハ居所ヲ有
スル納付管理人ヲ定メ市長ニ申告スヘシ其ノ管理人ヲ變更シタルト
キ亦同シ

第十一條 負擔金納付義務者住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ其ノ者
ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ遲滞ナク其ノ旨市長ニ申告ス
ヘシ前條ノ納付管理人其ノ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキ亦同シ

附 則

本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 京都市計畫事業道路(京阪國道)新設
擴築受益者負擔二關スル件

(昭和四年十月二十二日 內務省告示第四百號)

第一條 京都府ハ昭和三年內務省告示第七十八號ニ依リ都市計畫事
業トシテ京都府知事ノ執行スベキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用
ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムベ
シ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ
境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分
ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路ノ幅員ノ十倍ノ地域トス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

ル地域
第三地帯 河川境界線ヨリ真行三十間ヲ超ユル地域
第四條 省令第三條ニ規定スル負擔歩合ハ左ノ率ニ依ル

第一地帯 千分ノ千二百二十九

第二地帯 千分ノ九百八十四

第三地帯 千分ノ七百八十七

第五條 省令第六條第一項ノ期日ハ毎年四月一日及十月一日トス

負擔金ハ毎年左ノ二期ニ之ヲ徵收ス但シ第一回分ニ限り臨時徵收ス
ルコトアルヘシ

第一期 四月一日ヨリ四月三十日限

第二期 十月一日ヨリ十月三十一日限

第六條 受益者ニ異動アリタルトキ新ニ受益者トナリタル者ニ對シ直
後ノ納期ヨリ均分額ヲ賦課ス賦課ノ基本ニ異動アリタルトキハ其ノ
更正均分額ニ付亦同シ

第七條 省令第二條ニ規定スル負擔區劃内ニ在ル有租地ノ所有者ハ事
業着手告示ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ具備シタル申告書ヲ市
長ニ提出スヘシ

一 土地ノ所在地坪數及住所氏名捺印

二 工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永
小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ權利ノ種類、設定ノ年月
日、存續期間、坪數、土地見取圖、權利者ノ住所氏名捺印

省令第二條ニ規定スル負擔區劃内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共
ノ用ニ供セラレザルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人ハ前
項ニ準シテ申告書ヲ提出スヘシ

第八條 受益者ニ異動ヲ生シタルトキハ新舊受益者連署ヲ以テ遲滞ナ

ク四分ノ一、道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ五分ノ一トス
道路擴築ノ場合ニ於テ擴築道路ノ面積カ其ノ敷地内ニ在ル舊道路ノ
面積ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト
看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號
ニ依リ之ヲ定ム

一 各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條
ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ
區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト
シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地内帯ニ配分セラレ
タル負擔額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ其ノ
三分ノ二ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其
ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帯及率ハ府知事之ヲ告示スヘシ

第五條 河川、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區
分スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限
界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域
内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト
ス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ
限界ナキモノト看做ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ府知事之ヲ告示スヘシ
各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ府知事ハ之ヲ各受益者ニ通知スヘシ

各受益者ハ負擔金多額ノトキハ府知事ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供シ及利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔金カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ本令ニ依ル受益者負擔金ヲ課スヘキ事業ニ着手シタルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル爲費用ヲ補足スル土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區内ノ土地所有者ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

一、道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ道路改修ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ四分ノ一ニ前條ノ負擔歩合ヲ乘シテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス

二、新設又ハ改修スル道路ニ接スル地帯ニアリテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニアル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一間當負擔金額トス

三、前號以外ノ地帯ニアリテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニアアル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一間當負擔金額トス

四、新設又ハ改修スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ニ接スル部分ノ間數ヲ乘シテ得タル金額ト面積割一間當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘シテ得タル金額トノ和ヲ以テ其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一間當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘シテ得タル金額ヲ以テ右當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地帯ヲ縮少シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一間當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮少セサルモノトシテ之ヲ算出ス

道路改修ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁共ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノ

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三六 横濱都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

(昭和五年一月二十二日)
(内務省令第二四號)

第一條 横濱市ハ昭和三年五月内務省告示第百八號横濱都市計畫道路ノ新設改修中横濱市長ノ執行スル事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令家二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得

新設又ハ改修スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘、鐵道軌道共ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

負擔區劃ハ各路線毎ニ之ヲ定ム

第三條 市長ハ道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ定ム

前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ地帯及負擔歩合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

ノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ十四分シ事業著手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ線上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ在スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)二以上在スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費精算額ニ依リ之ヲ算出ス
前項ノ負擔金額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ス
一、同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ
二、同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ同一年度内ニ重複シテ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ
三、地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
四、道路ノ新設又ハ改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施



行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ
 五、道路ノ新設又ハ改修ニ要スル土地ヲ區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ
 第九條 第二條及第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區第四條ノ地帯及負擔歩合、第五條第一項ノ間口割一箇當負擔金額及面積割一坪當負擔金額、同條第二項ノ規定ニ定メタル間口割ノ割合事業着手ノ日、第六條第一項ノ期日放事業費豫算額及特算額ハ市長之ヲ告示スヘシ

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ事業中本令施行前ニ着手シタル部分ニ付テハ本令ヲ適用セス

三 大阪都市計畫事業高速度軌道建設受益者負擔ニ關スル件

(昭和五年四月九日
 內務省令第十三號)

第一條 大阪市ハ都市計畫事業トシテ其ノ執行スヘキ高速度軌道建設ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ梅田、淀屋橋、本町、心齋橋、難波、大國町、霞町、天王寺ノ各停車場ニ在リテハ停車場各出入口ノ中心ヨリ二百間以内、南方、阿部野、西田邊、長居、我孫子ノ各停車場ニ在リテハ停車場出入口ノ中心ヨリ四百間以内ノ地域トス但シ負擔區劃重複スルトキハ負擔區劃境界線ノ交叉點ヲ結フ直線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

第三條 前條ノ區劃ハ之ヲ左ノ種別ニ分ツ

甲負擔區劃 梅田、淀屋橋、本町、心齋橋、難波ノ各停車場出入口ヲ中心トスル區劃

乙負擔區劃 大國町、霞町、天王寺ノ各停車場出入口ヲ中心トスル區劃

丙負擔區劃 南方、阿部野、西田邊ノ各停車場出入口ヲ中心トスル區劃

丁負擔區劃 長居、我孫子ノ各停車場出入口ヲ中心トスル區劃

第四條 受益者負擔總額ハ事業費ノ四分ノ一トス

第五條 各負擔區劃内ノ受益者負擔額ハ前條ノ受益者負擔總額ヲ其ノ區劃内ノ面積ト左ノ率トノ乘積ニ按分シテ之ヲ定ム

甲負擔區劃 十

乙負擔區劃 六

丙負擔區劃 五

丁負擔區劃 三

第六條 各受益者ノ負擔額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各負擔區劃ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

二、各地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ主要道路及停車場出入口附近ノ道路ニ接スル土地ニ對シテハ道路ノ效用ノ程度及道路ニ接スル部分ノ長ニ應ジ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ一部ヲ配分シ殘額ヲ地帯内ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ地帯、率及同第二號但書ノ土地ノ區域、配分ノ比率ハ大阪市長之ヲ告示スヘシ

第七條 負擔金ハ其ノ負擔區劃ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ大阪市長之ヲ告示スヘシ各受益者負擔金額ヲ決定シタルトキハ大阪市長之ヲ各受益者ニ通知スヘシ

各受益者ハ負擔金多大ノトキハ大阪市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供シ利息ニ相當スル増負擔金ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第八條 負擔金カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足セルトキハ之ヲ追徴ス但シ大阪市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 高速度軌道ノ建設ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ大阪市長之ヲ定ム

附 則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三六 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件

(昭和五年三月二十二日
 內務省令第六號)

第一條 東京府ハ昭和二年三月內務省告示第二百七十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業澁谷川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

第三條 府知事ハ河川ノ幅員、事業執行年度又ハ土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ分チテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム
 一、負擔區劃内ニアル土地(受益者ナキ土地ヲ含ム)ニ付利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一坪當負擔指數ヲ定メ之ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘シテ得タル數ヲ各當該土地ノ負擔指數トス

二、事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ前項ノ總指數ニテ除シテ得タル金額ヲ指數一箇當負擔金額トス

三、指數一箇當負擔金額ニ各土地ノ負擔指數ヲ乘シテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區劃内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル一坪當負擔金額ニ各所有者ノ土地ノ坪數ヲ乘シテ得タル金額ヲ負擔セシム

第六條 橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ前二條ノ事業費トスルコトヲ得

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ヲ
設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ
以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所
有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノ、權利
者ヲ以テ受益者トス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之
ヲ適用セス

第八條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付
テハ前年度以前ノ事業費精算額)ニ依リ之ヲ算出ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコト
ヲ得但シ第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超
エルコトヲ得ス

一、同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ
依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二、土地ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

三、濠谷川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金
錢ヲ寄附シ又ハ府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依ル工事ヲ施行シタ
ルトキ

第十條 第二條第二項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四
條第二號ノ指數一箇當負擔金額第五條ノ一坪當負擔金額、第七條第
一項ノ期日及事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示ス

第十一號 本令ノ施行ニ關シ必要アル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタ
ル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額
ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ

配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帯及率ハ岐阜市長之ヲ告示スヘシ

第五條 河川、溝渠、鐵道專用軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分
スヘキ地物カ第二條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界
トス

同等以上ノ効用アリト認ムル並行道路カ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域
内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト
ス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ
限界ナキモノト看做ス

第六條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ
之ヲ納付セシム

三 岐阜都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

第一條 岐阜市ハ都市計畫事業トシテ岐阜市長ノ執行スヘキ道路ノ新
設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲ
シテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ
境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分
ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路ノ一部ヲナス廣場ニアリテ
ハ之ニ接スル幅員最モ大ナル道路幅員ノ三倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムルトキハ前
項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ内務大臣之ヲ決定ス

第三條 前條ノ區劃内ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費
ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築道路ノ面積カソノ敷地内ニアル舊道
路ノ面積ノ二倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設
ト看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年内務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號
ニ依リ之ヲ定ム

一、各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條
ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ
區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ト
擴築若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔ス
ヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ本令ニ依ル受益者
負擔金ヲ課セラルヘキ關係ニ該當スルトキハ其ノ負擔金ノ一部ヲ減
免スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設若ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、
勞力又ハ金錢ヲ寄附シタルモノニ對シテハ其寄附額ノ範圍内ニ於テ
負擔金ヲ減免スルコトヲ得岐阜市長ノ適當ト認ムル工法ニ依ル工事
ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償
ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地域内ニ在ル負擔義務者ニ對シテ
ハ負擔金ヲ減免スル事ヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテ利用上斟酌スヘキ必要アリト認
ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ岐阜市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三〇 廣島都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件
(昭和五年八月十一日 内務省令第二十六號)
第一條 廣島市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築
ニ要スル費用ニ充ツル爲メ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ
負擔セシムヘシ
第二條 大正九年内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ
境界線ヨリ(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其剪除セサル部分ノ

道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ)道路(道路ノ一部ヲ爲ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ五倍ノ地域トス土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムル時ハ前項ノ道路幅員ノ十倍以內ニ於テ内務大臣之ヲ決定ス

第三條 前條ノ區劃內ノ受益者負擔額ハ道路ノ新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一道路ノ擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トス

道路擴張ノ場合ニ於テ擴張道路ノ面積カ其ノ敷地内ニアル舊道路ノ面積ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一、各線路ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分內ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯トシ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三、道路ニ接スル地帯內ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ三分ノ二ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯內ノ土地ニ對シテハ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ廣島市長之ヲ告示スヘシ

第五條 河川、溝渠、鐵道、新設軌道、岸地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第二條ノ地域內ニ在ルトキハ之ヲ負擔區劃ノ境界トス同等以上ノ効用アリト認ムル並行道路カ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域內ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ境界ト

シ但シ其ノ間隔內ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔額ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ境界ナキモノト看做ス

第六條 負擔額ハ其ノ負擔區ノ事業着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ市長之ヲ告示スヘシ

各受益者ノ負擔額ヲ決定シタルトキハ市長之ヲ各受益者ニ通知スヘシ各受益者ハ負擔額多額ノトキハ市長ノ相當額認ムル擔保ヲ提供シ利子ニ相當スル増負擔額ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第七條 負擔額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴張若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以內ニ重複シテ本令ニ依ル受益者負擔額ヲ課セラルヘキ關係ニ該當スルトキハ其負擔額ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其寄附額ノ範圍內ニ於テ負擔額ヲ減免スルコトヲ得市長適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理地區內ノ負擔義務者ニ對シテハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ宅地トシテノ利用上斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 別
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 京都市計畫事業下水道受益者負擔ニ關スル件

(昭和五年八月二十二日
內務省令第七號)

第一條 京都市長ハ都市計畫事業トシテ其執行スヘキ下水道事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一、排水區域內又ハ第六條ノ規定ニ依ル地域內ニ在ル有租地ノ所有者但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

二、前號ノ區域內又ハ地域內ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

第三條 各排水區域內ニ於ケル受益者負擔金額ハ其ノ區域ノ事業費ノ四分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ各排水區域ノ總面積ニ對スル受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第五條 二以上ノ排水區域ニ共通ノ工事ニ在リテハ其ノ事業費ヲ關係各排水區域ノ面積ニ比例シテ配分ス

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程

當該排水區域以外ノ區域ノ排水ニ備フル爲必要ヲ生シタルモノノ事業費ハ第三條ノ事業費ヨリ之ヲ控除ス

前項ノ控除額ハ前項ノ工事ヲ必要ナラシメタル區域ノ事業費ト看做ス第一項、第二項ノ工事及事業費ハ市長ノ認定スル所ニ依ル

第六條 下水道ニ關スル設備ニシテ道路トシテノ効用ヲ兼ヌルモノアルトキハ前三條ノ規定ニ依ルノ外其ノ道路トシテ利用スル土地ノ境界線ヨリ與行二十間ノ地域內ニ於ケル受益者ヲシテ道路トシテノ効用ヲ兼ネシムル爲ニ用スル事業費ノ五分ノ一ニ付其ノ半額ヲ當該部分ニ面スル土地ノ間口ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ地域內ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ負擔セシム

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市長ハ別ニ地域、負擔額及負擔方法ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔額ハ其排水區ノ事業費著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業着手ノ日ハ市長之ヲ告示スヘシ

各受益者ノ負擔額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ各受益者ニ通知スヘシ各受益者ハ負擔額多額ノトキハ市長ノ相當額認ムル擔保ヲ提供シ利子ニ相當スル増負擔額ヲ納付シ前項ノ決定通知ノ日ヨリ五年ヲ超エサル期間ニ於テ分割延納ヲ求ムルコトヲ得

第八條 負擔額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

一、重複シテ第六條ノ費用ヲ課セラルヘキトキ

二、下水道又ハ第六條第一項ノ設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

三、下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金銭ヲ寄附シ又ハ市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ寄附シタルトキ

前項第三號ノ規定ニ依リ減免スル金額ハ其ノ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ス第一項第三號ノ寄附額ハ市長之ヲ評定シ第三條ノ事業費ニ算入ス

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 名古屋都市計畫事業道路新設擴築

受益者負擔ニ關スル件

(昭和五年九月五日)
內務省令第二十八號

第一條 名古屋市長ハ都市計畫事業トシテ其ノ執行スヘキ道路ノ新設若ハ擴築ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路(道路ノ一部ヲ成ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ七倍ノ地域トス土地ノ狀況ニ依リ前項ノ區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以內ニ於テ內務大臣之ヲ決定ス

第三條 前條ノ區劃內ノ受益者負擔額ハ道路ノ新設ノ場合ハ其ノ事業

費ノ十分ノ四道路ノ擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ三トス但シ前條第二項ノ場合ニ於テ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ五道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ四以內ニ於テ內務大臣之ヲ決定ス道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築道路ノ面積ガ其ノ敷地內ニ在ル舊道路ノ面積ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ面積ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス

第四條 大正九年內務省令第二十八號ノ受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分內ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム但シ橋梁費ニ付テハ別ニ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス

三 道路ニ接スル地帯內ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分又ハ間口ノ利用ノ下同等ト認ムル部分ノ長ニ比例シ他ノ三分ノ二ヲ其ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯內ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

前項第一號ノ負擔區第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示スベシ

第五條 河川、運河、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物ガ第二條ノ地域內ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ境界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路ガ第二條ノ區劃ノ二倍ノ地域

ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件勞力又ハ金銭ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍內ニ於テ負擔額ヲ減免スルコトヲ得市長ガ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ地區整理施行者カ無償ニテ供用スルトキハ其ノ整理施行地區內又ハ整理施行地區タリシ區域內ノ受益者ニ對シテハ前項ノ例ニ依リ負擔額ヲ減免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ道路ノ新設、擴築ニ要スル土地ヲ耕地整理施行者カ無償ニテ供用シタル場合之ヲ準用スルコトヲ得

前三項ノ寄附額又ハ提供額ハ市長之ヲ評定シ第三條ノ事業費ニ算入ス

第十二條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年十一月 內務省令第二十五號及大正十四年四月 內務省令第六號ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リ爲シタル處分其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

(參照)

大正十三年十一月 內務省令第二十五號ハ名古屋都市計畫事業道路廣

內ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ境界トス但シ其ノ間隔內ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔額ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ境界ナキモノト看做ス

第六條 負擔額ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業著手ノ日ハ市長之ヲ告示スヘシ

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ受益者ニ通知ス

第七條 市長ハ各受益者ヲシテ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシメ且利子ニ相當スル増負擔額ヲ納付セシメ前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ負擔額ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條 負擔額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ擴築若ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以內ニ重複シテ本令ニ依リ負擔額ヲ課セラ

ルヘキ關係ニ該當スルトキハ其ノ負擔額ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十條 土地ノ狀況ニ依リ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ負擔額

場新設擴築受益者負擔ニ關スル件、同十四年四月同第六號ハ大正十三年內務省令第二十五號第六條ニ依ル負擔區劃及負擔金額ノ件ナ

第二篇 道路法ニ依ル受益者負擔規程

一 大阪市道路費用一部

負擔ニ關スル規程

(大正十年八月二十二日)
(市公告第六十九號)

- 第一條 道路ノ鋪裝工事ニ因リ利益ヲ受クル土地所有者ニ對シ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム但シ小修繕ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 前條ニ依リ鋪裝工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事費ノ四分ノ一以內トス但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間ノ道路ノ負擔額ト同額ニ止ム
- 第三條 土地所有者負擔額ノ內其ノ半額ハ鋪裝道路ニ面接スル間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ當該道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ地域ノ面積ニ比例シ負擔額ヲ定ム
- 但シ奥行地帯界河川溝渠又ハ並行道路等ノ實況ヲ斟酌シ負擔額並其ノ地域ヲ變更スルコトアルヘシ
- 同ノ土地ニシテ前項ノ規定ニ依リ重複シテ鋪裝工事費ヲ負擔スヘキ地域ニ該當スル場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第四條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ前二條ノ規定ニ拘ハラズ當該ノ認ムル所ニ依リ費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ
- 第五條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他特ニ鋪裝路面ヲ損傷セシムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ當該ニ於テ其ノ事業ノ爲必要ナリト認ムル區域內ノ修繕費ノ三分ノ二以內ヲ負擔セシム
- 前項ノ費用ヲ負擔スヘキモノ二人以上アルトキハ之ヲ分擔セシム

道路法ニ依ル受益者負擔規程

前項ノ分擔額ハ當該ニ於テ其ノ損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ種類ヲ考量シテ之ヲ定ム

第六條 國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セサルコトアルヘシ、神社寺院祠宇佛堂ノ境内地教會所説教

所ノ構内地學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地所有者ニ對シテハ本規程ニヨル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料借地又ハ他ノ目的ノ爲使用スル者ハ此ノ限リニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅ニ兼用スルモノニシテ當該ニ於テ主トシテ住宅ニ使用スルモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲使用スル者ト看做ス

第七條 前條ノ規定ニ依リ負擔額ヲ免除シ若ハ徵收セサルコトアルモ他ノ土地所有者ノ負擔額ハ之ヲ増加セス

第八條 負擔額ハ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徵收ス但シ場合ニヨリ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條 道路ノ鋪裝工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ノ範圍內ニ於テ本規程ニ依ル工事費ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ當該ニ於テ適當ト認メタル工法ニヨリ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十條 本規程ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔額ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者ヨリ徵收ス

第十一條 本規定ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

二 大阪市道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程

(大正十二年八月二十七日)
(市公告第六號)

第一條 道路ノ新設又ハ擴築工事ニ因リ利益ヲ受クル者ハ本規程ノ定

ムル所ニ依リ費用ノ一部ヲ負擔スヘシ

第二條 前條ノ規定ニ依リ費用ヲ負擔スル者ハ新設又ハ擴張スヘキ道路ノ兩側ニ於テ各與行二十間ノ地域内ニアル土地ノ所有者トシ但シ工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ費用負擔者トス

同一土地ニ付前項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ費用負擔者トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ區劃ヲ定ムルコトアルヘシ

第三條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ其ノ工事費ノ二分ノ一トス

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リテ之ヲ定ム

一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 前號負擔額ノ内其ノ半額ハ其ノ路線ニ接スル土地ノ長ニ比例シ他ノ半額ハ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ路線ニ接スル土地ニシテ其ノ間口ニ比シ與行著シク狭小ナルモノハ其ノ程度ニ依リ間口負擔額ヲ減少スルコトヲ得

第五條 二線以上ノ道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第六條 國、府縣、市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規定ニ依リ費用ヲ徵收セサルコトアルヘシ

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規定ニ依ル

地ニ付テハ賃借者工事竣工ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ其ノ權利者ヲ以テ費用負擔者トス

期間ノ定メナキ地上權又ハ賃借權ニ付テノ期間ハ法令ノ定ムル所ニ依ル

同一土地ニ付第一項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ最後ニ其ノ權利ヲ得タル者ヲ以テ費用負擔者トス

第十條 但書ニ該當スル土地ニ付テハ有料ニテ使用セシムル者ヲ以テ費用ノ負擔者トス

第二條 本規則ニ於テ工事費用ト稱スルハ前條道路開鑿ニ要スル敷地買收費、家屋移轉費、補償費、橋梁其他ノ作工費監督費等ヲ總稱ス

第三條 工事費負擔金ハ工事費ノ千分ノ三百トシ道路隣接地域三十間以內ニ於ケル土地ノ面積ニ對シ之ヲ課ス

第四條 前條隣接地域ヲ分チテ三等トス
道路ノ境界ヨリ十間以內ヲ一等地トシ其ノ境界ヨリ十間以內ヲ二等
地トシ更ニ十間以內ヲ以テ三等地トス

第五條 負擔ニ關スル各等ノ歩合ヲ定ムルコト左ノ如シ
一等地 工事費ノ千分ノ百九十七
二等地 工事費ノ千分ノ七十四
三等地 工事費ノ千分ノ二十九

第六條 第四條ニ規定セル同一地帯ノ土地ニシテ他ノ道路ノ爲遮斷セラレ又ハ其ノ形狀著シク不整ニシテ利用ノ狀況特ニ斟酌スヘキ必要アルモノ及第三條ノ地域内ニ將來河川、運河、溝渠、鐵道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物ヲ生シタルトキハ前三條ノ規定ニ拘ラス負擔

金ヲ減免スルコトアルヘシ

費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 第一項但書ノ規定ハ前項但書ニ規定スル他ノ目的ノ爲ニ使用セシムル場合ニ之ヲ準用ス

第七條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若ハ徵收セサルコトアルモ他ノ受益者ニ對スル負擔額ハ之ヲ增加セス

第八條 大正十年八月大阪府告示第百十九號道路費用負擔ニ關スル規程並ニ大正十一年內務省令第十七號大阪府市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル規程ノ適用地域ニ對シテハ本規程ヲ適用セス

第九條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ場合ニ依リ三箇年以內ニ分納セシムルコトヲ得

第十條 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規定ニ依リ負擔ヲ減免スルコトヲ得市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十一條 本規定ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則
本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 四日市市港道開鑿工事負擔金徵收規則

(大正十五年一月十七日市告示第六號
大正十五年一月二十三日市告示第六十四號改正)

第一條 四日市驛ヨリ縣道四日市港線(高砂町地内)ニ達スル道路工事費用ハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル本規則施行ノ日ニ於ケル土地所有者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム但シ賃借ノ目的タル土

第七條 工事費用ハ決算額ニ依リ市長之ヲ告示ス

第八條 毎年度ノ一坪當リ賦課率ハ本規則施行ノ際現ニ有スル各等ニ賦課スヘキ總坪數ニ依リ第五條ニ定マレル負擔金ヲ除シタル額ノ十分ノ一トス但シ次年度以降ニ於テ免除地ヲ生スルモ之カ爲ニ増徴セス又負擔スヘキ土地ヲ生スルモ之カ爲ニ減額スルコトナシ

第九條 負擔金ヲ課スル土地ヲ課セサル土地ト爲シ若ハ課セサル土地ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其ノ届出アリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ負擔金ヲ免除シ若ハ増減シ又ハ新ニ徵收スルコトヲ得

第十條 左ニ掲クル土地ニ付テハ負擔金ヲ課セス但シ第三號ノ土地ニシテ有料貸地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

- 一、國、府縣、市、町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
- 二 本市所有地
- 三 社寺、祠宇、佛堂等ノ敷地

第十一條 工事費負擔金ハ本規則施行ノ日ヨリ十年間毎年四月三十日及十月三十一日ノ二期ニ分チ徵收ス但シ大正十五年度及臨時ノ收入ハ市長ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 本則ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

四日市市港道開鑿工事負擔金徵收規則

(大正十五年十一月二十日 市告示第五號)

- 第一條 本則ニ於テ規則ト稱スルハ港道開鑿工事負擔金徵收規則ヲ謂フ
- 第二條 道路敷地ニ側溝ヲ存スルトキハ側溝ノ道路對側線ヲ以テ規則第三條ノ規定ニ依ル境界線ト推定ス
- 第三條 規則第三條ノ地域内ニ在ル土地ノ位置面積及形狀ハ公簿及公簿附屬圖ニ依ル但シ同一ノ土地ニシテ規則第四條ニ規定セル地域等級二箇以上ニ跨リタル場合ノ面積ハ實測ヲ以テ之ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第四條 大正十五年度分ノ負擔金ハ三月十日ヲ以テ納期トス
隨時ノ收入ハ負擔義務ノ發生シタル翌月末若ハ次ニ開始スル納期ニ於テ徵收スルモノトス
- 第五條 規則第三條ノ土地所有者ハ毎年三月末日(大正十五年度ハ十一月三十日)迄ニ沿道土地申告書(第一號様式)ヲ提出スヘシ但シ第八條(但書ヲ除ク)ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 前項申告書記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ遲滞ナク異動申告書(第二號様式)ヲ提出スヘシ
- 第六條 前條ノ申告ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項カ事實ニ相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定シ又申告事項中權利者ノ表示ナキモノハ權利者ノ存セサルモノト看做ス
- 前條第二項ノ申告ヲ怠リ又ハ市長ニ於テ已ニ負擔金ノ納入告知書ヲ發シタル後ノ申告ニ係ルモノハ其ノ納期分ニ對シテハ異動ナキモノトシテ處理スルコトアルヘシ

右港道開鑿工事負擔金徵收規則施行細則第五條第一項ニ依リ(別紙地割見取圖添付)申告候也

年 月 日
住 所
土地所有者 氏 名

市 長 宛
備考 一等ノ土地ニシテ二箇以上ノ等級地域又ハ負擔地域以外ニ跨ル場合ニ限リ地割見取圖ヲ添付スルモノトス
(第二號様式)
異動申告書

四日市市大字

字 地番等級	面 積	權利設定權利者		新權利者(又ハ)	
		定年月ノ種類	元權利者(又ハ第一第二權利者)	住所	氏 名

右港道開鑿工事負擔金徵收規則施行細則第五條第二項ニ依リ申告候也

大 正 年 月 日
住 所
土地所有者(又ハ第一) 氏 名
市 長 宛

- 第七條 前二條ノ規定ハ土地所有者以外ノ權利者カ他ニ權利ノ設定ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第八條 負擔金ハ申告書ニ依リ又ハ市長ノ査定ニ基キ其ノ額ヲ決定シ之ヲ受益者ニ通知ス
- 第九條 受益者前條ノ決定額ニ異議アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ理由ヲ具シ其ノ更正ヲ求ムルコトヲ得
市長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上更ニ決定ヲ爲シ之ヲ受益者ニ通知ス
- 受益者ハ前項ノ決定ニ對シ更ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十條 受益者住所ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ遲滞ナク市長ニ届出ツヘシ
- 第十一條 受益者市内ニ住所ヲ有セサルトキハ市内居住人中ヨリ負擔金納付管理人ヲ選定シ市長ニ届出ツヘシ
- 第十二條 負擔金ノ徵收ニ付テハ規則並本細則ニ定メアルモノノ外本市市稅徵收ニ關スル規定ヲ準用ス

附 則
本細則ハ公示ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(第一號様式)

沿道土地申告書
四日市市大字

字 地番等級	面 積	權利設定權利者	
		面積年月日種類期間住所	氏 名

四 前橋市道路工事費受益者負擔規程

(大正十一年七月二十六日 規程第二〇八號)

- 第一條 市長ノ告示シタル市道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ハ本規程ニ依リ其ノ一部ヲ沿道土地ノ權利者ニ負擔セシム
- 第二條 負擔金ハ工事費ノ十分ノ三以内トシ其ノ都度市長之ヲ定ム但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ十分ノ五迄増徴スルコトアルヘシ
前項ニ依リ負擔金ヲ定ムル場合ニ於テ第六條又ハ第七條第三號ニ依リ負擔金ヲ課セス若クハ減免スルコトアルモ之カ爲他ノ土地權利者ノ負擔金ヲ増加セス
- 第三條 本規程ニ於テ沿道ト稱スルハ道路敷地ノ境界線ヨリ奥行二十間以内ノ地域ヲ謂フ
- 第四條 本規程ニ於テ土地權利者ト稱スルハ市長ノ告示シタル工事竣工ノ日ノ現在ニ於ケル左ニ掲クル者ヲ謂フ
一 實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者
二 永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ永小作權者
三 工事竣工ノ日ヨリ起算シテ存續期間十年以上ノ地上權賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者
四 同一ノ土地ニ付テハ所有權以外ノ前各號ノ權利二箇以上存續スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者
五 其ノ他ノ土地ニ付テハ所有者
- 第五條 負擔金ハ其ノ半額ヲ沿道間口ノ間數ニ他ノ半額ヲ沿道面積ニ比例シテ之ヲ定ム但シ受益ノ程度ニ依リ五割以内ノ増減ヲ爲スコト

前橋市道路工事費受益者負擔規程施行細則

(大正十四年四月十七日) (告示第二五號)

- 第六條 左ニ掲クル土地ニ付テハ負擔金ヲ課セス
 - 一 國、府縣、郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
 - 二 神社、寺院、祠宇、佛堂ノ用ニ供スル境内地並教會所、説教所ノ用ニ供スル構内地但シ第四條第三號ニ該當セル權利ヲ設定セサル有料地ヲ除ク
 - 三 前各號ノ外市長ノ指定スル土地
- 第七條 左ニ掲クル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 同一ノ土地カ二以上ノ新設又ハ改築路線ノ沿道土地ナルトキ
 - 二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スルノ必要アルトキ
 - 三 負擔金ニ相當スル工事費ヲ寄附シタルトキ又ハ其ノ者ノ權利ヲ承繼シタルトキ
- 第八條 第四條ノ工事竣工ノ日後負擔金徵收期間内ニ於テ沿道土地ノ用途ヲ變更シ又ハ土地權利者ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ負擔金ヲ減免シ又ハ同種土地權利者ノ納期及負擔額ノ割合ニ準シテ新タニ徵收シ若クハ第四條ノ規程ニ依ラズ新ナル權利者ヨリ徵收スルコトヲ得
- 第九條 負擔金ハ五ヶ年以内ノ分納トシ毎年八月及二月ノ二期ニ納付セシム前項ノ期間及納付額ハ市長ノ定ムル所ニ依ル
- 第十條 本規程施行ニ付必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

- 第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ
- 第二條 規程第七條ノ規程ニ依ル減免ハ左ノ例ニ依ル
 - 第一號ノ場合其ノ重複スル部分ニ對シ規程第五條ニ依ル負擔金ヲ各道路毎ニ計算シ其ノ少ナキモノニ相當スル金額ヲ減免ス
 - 第二號ノ場合河川堤岸溝渠等ニ隔絕セラレ又ハ土地權利者ヲ異ニシ道路ヲ利用スルコト尠シト認ムル土地ニ付テハ負擔金ヲ減免ス
 - 第三號ノ場合寄附額ノ範圍内ニ於テ減免ス
- 前項ノ例ニ適合セサルモ特ニ斟酌スルノ必要アリト認ムルモノニ對シテハ相當金額ヲ減免ス
- 第三條 街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヨリ奥行二十間ノ線ヲ以テ負擔地域ノ限界トス
- 第四條 沿道土地ノ所有者ハ規程第一條ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ三十日以内ニ負擔ニ關シ必要ナル事項ヲ別紙様式ニ依リ申告スヘシ但規程第六條第一號ノ規定ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 負擔金徵收期間内ニ前項申告事項ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ異動事項ヲ申告スヘシ
- 第五條 前二條ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項カ事實ニ相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス
- 第六條 規程第六條第七條ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免處分ヲ受ケムトスルモノハ規程第一條ニ依ル告示ノ日ヨリ三十日以内ニ負擔金減免

五 東京市道路鋪裝工事費受益者負擔規程

(大正十一年十月十七日) (東京市告示第一七五號)

- 額ヲ提出スヘシ
- 負擔金徵收期間内ニ新タニ發生セル事實ニ因リ減免處分ヲ受ケムトスルトキ又ハ減免ノ事由ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ出願スヘシ
- 第七條 負擔金決定額及毎年度ノ分納額ハ之ヲ納付義務者ニ通知ス
- 第八條 負擔金ノ徵收ニ關シテハ本細則ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外大正九年五月勅令第六十八號市稅及町村稅ノ徵收ニ關スル件第一條ノ規定ヲ準用ス
- 本細則ハ公布ノ日ヨリ施行ス

沿道土地申告書

市町村地番	面積	負擔地域	規程第四條一號乃至四號ニ依ル權利ノ種類	同種權利者								
面	積	沿道	年	月	日	種	類	間	住	所	氏	名

市道線道路新設改築工事費受益者負擔ニ關シ必要ナル事項前記ノ通
ニ有之候條及申告候也

年月日

住所

土地所有者 氏

名

前橋市長殿

道路法ニ依ル受益者負擔規程

幅員十二間以上十五間未満ノ街路 二、〇
 幅員十五間以上二十間未満ノ街路 二、五
 幅員二十間以上ノ街路 三、〇

前項ノ幅員ハ當該街路ノ平均幅員ニ依ル
 第一項ノ平均一坪當豫算工費ハ六間以上ノ街路ニシテ歩車道ノ區別
 ナキ場合ニ在リテハ歩道ニ當ルヘキ部分ヲ歩道ノ鋪裝材料ニテ鋪裝
 スルモノトシテ計算ス

第六條 負擔金ハ開口一間當負擔標準額ノ二分ノ一ニ沿道土地ノ沿道
 間數ヲ乘シタル金額ト開口一間當負擔標準額ノ二分ノ一ヲ二十分シ
 タルモノニ沿道土地ノ坪數ヲ乘シタル金額トノ合計額ニ左ノ率ヲ乘
 シテ之ヲ定ム

- 一等地 百分ノ百
- 二等地 百分ノ九十五
- 三等地 百分ノ九十
- 四等地 百分ノ八十五
- 五等地 百分ノ八十
- 六等地 百分ノ七十五
- 七等地 百分ノ七十
- 八等地 百分ノ六十五
- 九等地 百分ノ六十
- 十等地 百分ノ五十五
- 十一等地 百分ノ五十
- 十二等地 百分ノ四十五
- 十三等地 百分ノ四十
- 十四等地 百分ノ三十五

第十二條 本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ大正九年度分ヨリ之ヲ適用ス
 本規程公布前既ニ工事ニ着手シタル街路ニ屬スル第七條第一項ノ規定
 ニ依ル告示及既ニ竣功シタル鋪裝工事竣功ノ日ハ第七條ノ規定ニ拘
 ラス市長ニ於テ之ヲ告示ス

東京市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則

(大正十二年十月七日
 東京市告示第一七六號)

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路鋪裝工事費受益者負擔規程
 ヲ謂フ

第二條 道路敷地ニ側溝存スルトキハ側溝ノ道路對側線ヲ以テ規程第
 二條ノ規定ニ依ル境界線ト推定ス

第三條 鋪裝工事竣功ノ日トハ市長ニ於テ竣功検査ヲ了シタル日ヲ謂
 フ但シ道路ノ区域内ニ又ハ區域外ニ亘リ存スル橋梁軌道其ノ他ノ工
 作物トノ關係上當該街路中鋪裝工事ノ施行ヲ延期シタル區域アルト
 キハ該區域ヲ除キタル部分ノ竣功検査ヲ了シタル日ヲ謂フ

第四條 存續期間ノ定ナキ地上權及賃借權又ハ借地法ノ規定ニ反スル
 期間ノ定アル借地權ハ法定期間ヲ以テ其ノ存續期間ト看做ス

第五條 街路ノ平均幅員ハ當該街路延長ノ大部分ヲ占ムル幅員ニ依リ
 大部分ヲ占ムル幅員ナキトキハ比較的大部分ヲ占ムル數種ノ幅員ヲ
 延長ノ割合ニ依リ平均シテ之ヲ定ム

第六條 平均一坪當豫算工費ハ鋪設工事費及雜工事費並工事施行ニ要
 スル費用ノ豫算額ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ鋪設工事費及雜工事費ハ起工額ニ依ル

道路法ニ依ル受益者負擔規程

第十五等地 百分ノ三十
 第七條 第五條ノ平均一坪當豫算工費及沿道土地ノ地位ハ鋪裝ノ種類
 ト共ニ毎年度街路毎ニ市長之ヲ定メ豫メ告示ス
 鋪裝工事竣功ノ日ハ其ノ都度之ヲ告示ス

第八條 負擔金ハ沿道土地ニ存スル建物ノ階層又ハ用途ニ依リ三倍以
 内ノ増課ヲ爲スコトアルヘシ鋪裝工事竣功ノ日ヨリ五年以内ニ沿道
 土地ニ新築、改築又ハ増築セラレタル建物ニ付亦同シ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコト
 アルヘシ

一 同一ノ土地ニシテ二街路以上ノ沿道土地タルトキ
 二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
 三 自己ノ費用ヲ以テ鋪裝工事ヲ爲シ若ハ鋪裝工事費ヲ寄附シタル
 者又ハ其ノ者ノ第三條ノ權利ヲ取得シタル者アルトキ

第十條 國又ハ公共團體ニ對シテハ負擔金ヲ課セス
 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ境内地、學校敷地其ノ
 他公共ノ用ニ供スル土地ノ權利者ニ對シテハ負擔金ヲ免除スルコト
 アルヘシ但シ有料貸地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 負擔金ハ鋪裝工事竣功ノ日ニ於ケル權利者ヨリ之ヲ徵收ス
 但シ第八條後段ノ場合ニ在リテハ建物ノ用途ニ從ヒ其ノ使用ヲ開始
 シタル日ニ於ケル權利者ヨリ之ヲ徵收ス

負擔金ハ金額ニ應シ五年以内、其ノ他特別ノ事由アリト認ムルモノ
 ニ限り十年以内ニ於テ相當ノ利子ヲ附シ分納ヲ許可スルコトアルヘ
 シ
 前項ノ期間内ニ權利者ニ異動アリタルトキハ其ノ權利ノ取得者ヨリ
 殘額ヲ徵收ス

歩車道ノ區別ナキ街路ニ在リテハ鋪設面積ノ三分ノ一ヲ以テ歩道ノ
 部分ト看做ス

第七條 地位ハ土地ノ等級、街路ノ品位、地區ノ狀況等ニ依リ之ヲ定ム
 第八條 規程第八條ノ規定ニ依ル増課ハ建坪ヲ基準トシ左ノ率ニ依リ
 計算ス

- 三階 五割
- 四階 十割
- 五階 十五割
- 六階 二十割
- 七階以上 二十五割
- 出入スル人員又ハ集散スル貨物ノ量特ニ多シト認ムル用途ニ供スル
 建物ニ對シテハ二階以下ハ十割以内、三階以上ハ前項増課率ノ外尙
 十割以内ヲ増課ス
- 一棟ノ建物ニシテ部分ニ依リ階層ヲ異ニスルモノアルトキハ其ノ構
 造及用途等ヲ參酌シ階層ヲ認定ス
- 建物ノ各階層ノ坪坪カ建坪面積ノ二分ノ一以内ナル場合ニ於テハ其
 ノ階層ノ負擔ニ屬スト認ムル増課率ヲ半減ス
- 第九條 規程第八條後段ノ規定ニ依ル増課ハ前後ノ規定ニ依リ算出シ
 タル金額ニ左ノ率ヲ乘シテ之ヲ定ム
- 一 鋪裝工事竣功ノ日ヨリ一年ヲ經過セザル場合
 凡テ 百分ノ百
- 二 鋪裝工事竣功ノ日ヨリ一年以上ヲ經過セル場合
 鋪石道 百分ノ九十
 鋪木道 百分ノ八十五
 其ノ他 百分ノ八十

- 三 舗装工事竣功ノ日ヨリ二年以上ヲ経過セル場合
 - 舗石道 百分ノ八十
 - 舗木道 百分ノ七十
 - 其ノ他 百分ノ六十
- 四 舗装工事竣功ノ日ヨリ三年以上ヲ経過セル場合
 - 舗石道 百分ノ七十
 - 舗木道 百分ノ五十五
 - 其ノ他 百分ノ四十
- 五 舗装工事竣功ノ日ヨリ四年以上ヲ経過セル場合
 - 舗石道 百分ノ六十
 - 舗木道 百分ノ四十
 - 其ノ他 百分ノ二十
- 第十條 規程第九條ノ規定ニ依ル減免ハ左ノ例ニ依ル
 - 第一號ノ場合
 - 其ノ重複スル部分ニ對シ規程第六條ノ規定ニ依ル坪數負擔金ヲ各街路毎ニ計算シ其ノ少キモノニ相當スル金額ヲ減額ス
 - 第二號ノ場合
 - 河川、堤塘、崖等ニ隔絶セラレ街路ヲ利用スルコト尠シト認ムル土地ニ付テハ負擔金ヲ免除ス
 - 第三號ノ場合
 - 現ニ在スル舗装工事ノ効用價ニ應ジ相當金額ヲ減免ス
- 前項ノ例ニ適合セサルモ特ニ斟酌スルノ必要アリト認ムルモノニ對シテハ相當金額ヲ減免ス
- 第十一條 負擔金ノ分納ヲ許可スル年限ハ左ノ各號ニ依ル
 - 一 負擔金百圓未満ナルトキ 二年以内

- 者ノ表示ナキモノハ横利者存セサルモノト看做ス但シ特ニ宥恕スヘキ理由アリト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第十六條 沿道土地ノ建物ノ所有者ハ規程第七條第一項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ三十日以内ニ沿道建物申告書(第二號様式)ヲ提出スヘシ
- 舗装工事竣功ノ日迄ニ前項申告書記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ規程第七條第二項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ十日以内ニ異動事項ヲ表示シタル建物権利者異動申告書(第四號様式)ヲ提出スヘシ
- 第十七條 第十四條及前條ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項カ事實ニ相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス
- 第十八條 規程第九條及第十條ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免處分ヲ受ケムトスルトキハ同第七條第一項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ事實ヲ詳具シ負擔金減免願ヲ提出スヘシ
- 前項ノ期限後舗装工事竣功ノ日迄ノ間ニ於テ新ニ發生セル事實ニ依リ減免處分ヲ受ケムトスルトキ又ハ減免事由ニ異動ヲ生シタルトキハ規程第七條第二項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ事實ヲ詳具シ負擔金減免願書ヲ提出スヘシ
- 第十九條 前條ニ規定スル出願ヲ爲ササル者ニ對シテハ特ニ宥恕スヘキ事由アリト認ムル場合ヲ除クノ外負擔金ヲ減免セス
- 第二十條 負擔金納付義務者住所ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ遅滞ナク其ノ旨届出ツヘシ
- 第二十一條 負擔金ノ徴收ニ付テハ本細則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大正九年五月勅令第六十八號市稅及町村稅ノ徴收ニ關スル件第一條ノ規定ヲ準用ス

- 二 負擔金百圓以上五百圓未満ナルトキ 三年以内
 - 三 負擔金五百圓以上ナルトキ 五年以内
- 街路ノ性質、形態又ハ環境等ニ依リ第一項ニ依リ難シト認メタル場合ニ於テハ前項ノ定ニ依ル當該年限ノ二倍ノ範圍内ニ於テ分納ヲ許可ス
- 負擔金分納額ハ毎年八月、二月ノ二期ニ均分シテ之ヲ徴收ス但シ初年度ニ於ケル第一次ノ徴收ハ納額告知書ニ指定シタル日トス
 - 負擔金分納ノ場合ニ於テ徴收スヘキ利率ハ日歩二錢三厘トス
 - 第十二條 負擔金分納ノ許可ヲ得ムトスル者ハ負擔金納付令書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ負擔金ノ半額ニ相當スル擔保ヲ提供シ負擔金分納額ヲ提出スヘシ但シ相當資力アル保證人ヲ以テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得
 - 前項擔保ノ種類ハ市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券又ハ土地若ハ火災保險ニ付シアル建物ニ限り其ノ價格ハ市長ノ認定ニ依ル但シ市債券ニ在リテハ其ノ券面額ニ依ル
 - 第十三條 負擔金分納ニ付テハ本細則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外租稅法施行規則第十七條乃至第二十二條ノ規定ヲ準用ス
 - 第十四條 沿道土地ノ所有者ハ規程第七條第一項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ三十日以内ニ沿道土地申告書(第一號様式)ヲ提出スヘシ但シ規程第十條第一項ノ規定ニ該當スル者ノ所有スル沿道土地ニシテ貸付ヲ爲ササルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 - 舗装工事竣功ノ日迄ニ前項申告書記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ規程第七條第二項ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ十日以内ニ異動事項ヲ表示セル異動申告書(第三號様式)ヲ提出スヘシ
 - 第十五條 前條ノ規定ニ依ル申告書ヲ提出ヲ怠リ又ハ申告事項中權利

附 則

- 本細則ハ規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第十一條第二項ノ規定ハ既ニ許可シタル大正十四年度以降ノ分納額ニ付テモ之ヲ適用ス(東京市告示第六二五四號(改正))
- 第十一條第三項ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(同上)

六 東京市側溝工事費受益者負擔規程

(大正十三年二月十三日)

- 第一條 道路法第三十九條ノ規定ニ依リ道路側溝ノ新設若ハ改築工事費(木造其ノ他一時の設備費ノ工事費ヲ除ク)ノ一部ヲ受益者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル處ニ依ル
- 第二條 本規程ニ於テ受益者ト稱スルハ側溝ノ道路對側線ニ接スル土地ノ所有者ヲ謂フ但シ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者ヲ謂フ
- 第三條 受益者ニ課スヘキ負擔金ハ側溝一間當精算工事費ノ三分ノ一ニ土地ノ間口ノ長サヲ乘シテ之ヲ定ム
- 第四條 本規程ニ依リ負擔金ヲ課スヘキ側溝工事ヲ執行スヘキ個所並一間當豫算工事費ハ毎年度豫メ告示ス
- 前項ノ側溝工事竣功ノ日並一間當精算工事費ハ其ノ都度之ヲ告示ス
- 第五條 道路舗装工事費受益者負擔規程第九條及第十條ノ規定ハ負擔金ヲ減免スル場合ニ又同第十一條ノ規定ハ負擔金ノ徴收及分納ノ許可ニ關シ之ヲ準用ス
- 第六條 本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

- 一 本規程ハ大正十一年度分ヨリ之ヲ適用ス
- 二 本規程公布前既ニ工事ニ着手シ若ハ工事竣功シタルモノニ付テハ

東京市側溝工事費受益者負擔規程施行細則

(大正十三年四月十三日 市告示第四九號)

- 第一條 側溝工事竣功ノ日トハ市長ニ於テ竣功検査ヲ了シタル日ヲ謂フ
- 第二條 負擔金決定額ハ之ヲ納付義務者ニ通知ス
- 第三條 納付義務者前條ノ決定額ニ異議アルトキハ其ノ通知ノ日ヨリ十五日以内ニ不服ノ事由ヲ詳具シ負擔金額ノ再訂ヲ求ムルコトヲ得市長ニ於テ特ニ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ前項ノ期限經過後ニ於テモ仍之ヲ受理スルコトアルヘシ
- 第四條 負擔金ノ分納ヲ許可スル場合及其ノ期間左ノ如シ
 - 一 負擔金百圓以上五百圓未満ナルトキハ 三年以内
 - 二 負擔金五百圓以上ナルトキハ 五年以内
- 前項ノ場合ニ於テ徵收スヘキ利率ハ日歩二錢三厘トス
- 第五條 負擔金分納ノ許可ヲ得ムトスル者ハ負擔金納付令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ負擔金ノ半額ニ相當スル擔保ヲ提供シ負擔金分納願ヲ提出スヘシ
 - 但シ相當資力アル保證人ヲ以テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得
 - 前項擔保ノ種類ハ市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券土地若ハ火災保險ニ付シアル建物ニ限リ其ノ價格ハ市長之ヲ認定ス但シ市債券ハ券面額ニ依リ計算ス
- 第六條 負擔金ノ分納ニ付テハ本細則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外相續稅法施行規則第十七條乃至第二十二條ノ規定ヲ準用ス

- 第七條 負擔金ノ徵收ニ付テハ本細則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大正九年五月勅令第六十八號市稅及町村稅ノ徵收ニ關スル件第一條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本細則ハ側溝工事費受益者負擔規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七 高崎市道路工事費受益者負擔規程

(大正十二年四月十七日 市告示第三十二號)

- 第一條 道路法第三十九條ノ規程ニ依リ市道及其附屬物ノ新設又改築ニ關スル工事費ノ一部ヲ沿道土地ノ權利者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル處ニ依ル
- 第二條 本規程ニ於テ沿道土地ト稱スルハ道路ノ各一側並工事ヲ施行シタル區間ノ兩端ニ付其路面總幅員ノ二倍五分ノ地域ヲ謂フ但シ工事ヲ施行シタル區間ノ端カ工事ヲ施行セサル道路ニ丁字形ニ接スル場合ハ其對側ヨリ二倍五分トス
- 第三條 本規程ニ於テ土地ノ權利者ト稱スルハ市長ノ告示シタル工事竣工ノ日ノ現在ニ於ケル左ニ掲クル者ヲ云フ
 - 一 實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ永小作權者工事竣工ノ日ヨリ起算シ存續期間十年以上ノ地上權又ハ賃借權者其ノ他ノ土地ニ付テハ所有權者但シ永小作權ノ目的タル土地及耕作又ハ牧畜ヲ爲ス賃借權ヲ設定シタル土地ニシテ市長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ所有權者ヲ權利者ト爲スコトヲ得同一土地ニ付所有權以外ノ前項ノ權利二個以上存スルトキハ其最後ニ設定セラタタル權利ノ歸着者ヲ以テ權利者トス

- 第四條 本規程ニ依リ工事費ノ一部ヲ負擔セシムル市道及附屬物ノ路線名並其工事ノ種類ハ豫メ之ヲ告示ス
- 工事竣工ノ日ハ其都度之ヲ告示ス

- 第五條 負擔金ハ工事費ノ十分ノ三以内トシ其都度市長之ヲ定ム但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ十分ノ五迄増徴スルコトアルヘシ
- 第六條 負擔金ハ其ノ半額ヲ沿道間口ノ間敷ニ他ノ半額ヲ沿道面積ニ比例シテ之ヲ定ム但シ受益ノ程度ニ依リ五割以内ノ増減ヲ爲スコトヲ得

- 第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 同一ノ土地ニシテ二以上ノ新設又ハ改築路線ノ沿道土地タルトキ

- 二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
- 三 負擔ニ相當スル工事費ヲ寄附シタルトキ又ハ其ノ寄附シタル者ノ權利ヲ承繼シタルトキ
- 第八條 左ニ掲クル土地ニ付テハ負擔金ヲ課セス
 - 一 國又ハ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
 - ニ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地教會所說教所ノ構内土地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地

- 但シ第三條第一項ニ該當スル權利ヲ設定セサル有料借地ニ付テハ其ノ限ニ在ラス
- 第九條 負擔金ハ一時ニ之ヲ徵收ス但シ特別ノ事由アル場合ハ三年以内ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第十條 本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

- 附 則
- 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高崎市道路工事費受益者負擔規程施行細則

- 第一條 沿道地域ハ路面ノ端ヨリ之ヲ起算ス工事ヲ施行セサル道路ニ接シタル場合共ノ對側ニ付テモ又同シ
- 第二條 存續期間ノ定ナキ地上權又ハ借地權ハ法定ノ期間ヲ以テ其ノ存續期間ト見做ス
- 第三條 負擔金ノ課率歩合及減免ニ關スル査定ノ爲道路工事費受益者負擔金査定委員ヲ置ク
- 第四條 委員ハ市參事會員及土木委員ヲ以テ之ヲ充ツ
- 第五條 負擔金額ヲ決定シタルトキ土地權利者ニ通知スルモノトス
- 第六條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケントスルトキハ前條通知ノ日ヨリ十日以内ニ分納年數ヲ定メ保證人連署ヲ以テ出願スヘシ
- 前項保證人ハ市内ニ居住シ直接國稅年額拾圓以上納ムル者タルヲ要ス
- 第七條 前條ノ期間内ニ出願セザルトキハ分納ノ意思ナキモノト見做ス
- 附 則
- 本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八 岡山市道路工事費負擔金徵收規則

(大正十二年四月二十五日 市告示第二十三號)

- 第一條 市道及其ノ附屬物ノ新設改築修繕及鋪裝ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル土地所有者ニ對シ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム

但シ當時修繕及小修繕ノ費用ハ此ノ限ニアラス

第二條 前條ニ依リ工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設及鋪裝ノ場合ハ其ノ工事費ノ四分ノ一以内道路改築及修繕ノ場合ハ其ノ工事費ノ五分ノ一以内トス但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間ノ道路ノ負擔額ト同額ニ止ム

第三條 利益ヲ受ケル土地所有者負擔額ノ内其ノ半額ハ道路ニ面セル土地ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ其ノ道路ノ境界線ヨリ奥行十五間ノ地域ノ面積ニ比例シテ各負擔額ヲ算定ス但シ地帯界河川溝渠又ハ並行道路ノ存在スル場合ニ在リテハ其ノ實況ヲ斟酌シ負擔額並其ノ地域ヲ變更スルコトアルヘシ同一ノ土地ニシテ前項ノ規定ニ依リ重複シテ道路工事費ヲ負擔スヘキ地域ニ該當スル場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部ヲ減免スルコトアルヘシ

第四條 倉庫業者運送業者自動車業者其他鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受ケル者ニ對シテハ前二條ノ規定ニ拘ラス市長ノ認ムル所ニ依リ鋪裝工事費ノ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五條 倉庫業者運送業者自動車業者其他特ニ道路毀損傷セシムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於テ其ノ事業ノ爲必要ナリト認ムル區域ノ修繕費ノ三分ノ一以内ヲ負擔セシム

第六條 國府縣郡市町其他公共團體ニ對シテハ本規則ニ依リ工事費ノ負擔金ヲ徵收セス

ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 道路法第三十九條ニ基キ負擔ヲ爲スヘキ者ハ工事區間ノ沿道土地所有者又ハ倉庫業者運送業者其他當廳ノ認定スル受益者トス

第三條 前條ニ依ル受益者ノ負擔スヘキ工事費ハ道路ノ新設及特ニ指定スル擴築工事又ハ路面鋪裝(修繕ヲ除ク)ノ工事費トス

第四條 沿道土地所有者ノ負擔金ハ道路新設又ハ路面鋪裝工事ニ在リテハ工事費算額ノ三分ノ一道路擴築工事ニ在リテハ其ノ四分ノ一トシ各其五分ノ三ハ當該道路ニ面スル間口ノ長サニ比例シ其五分ノ二ハ當該道路敷地ノ境界線ヨリ奥行拾五間ノ地域ノ面積ニ比例シ負擔セシム但道路ノ一側公有水面ナルトキ又ハ奥行地帯境河川溝渠鐵道左右並ニ並行ノ道路等ノ實況ニ依リ負擔歩合又ハ全部若クハ一部ニ

第二種以上ノ工事ヲ施行スルモノニシテ第二條第三項ニ依ル場合ハ各種工事別ニ計算シタル負擔金ヲ合算シ其ノ總額ニ基キ負擔額ヲ定ム但シ雜費ノ類ニシテ各種工事別ニ工事費ヲ分割シ難キモノハ前項負擔率ノ多キモノニ從ヒ負擔金ヲ計算ス

神社寺院祠宇佛堂ノ境内地教會所説教所ノ境内地學校敷地其他公共用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ前項ヲ準用ス

第九條 道路ノ工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ノ範圍内ニ於テ本規則ニ依リ工事費ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ

第十條 本規則ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔金ハ質權ノ目的タル土地ニ於テハ質權者ヨリ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權又ハ賃借權者ヨリ之ヲ徵收ス

九 門司市道路工事費特別負擔金徵收規程

(大正十二年五月二十七日)

第一條 道路法第三十九條第四十條ニ基キ受益者又ハ特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ營ム者ヲシテ本規程ニ依リ道路工事費(材料費、勞力費、敷地費、家屋移轉其他ノ補償費及雜費ヲ指ス)

一 筆ノ土地ニシテ二線以上ノ道路ニ面シ其工事費ヲ負擔スヘキ地域ニ該當スル場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

二 土地利用上ノ現況ニ因リ必要アリト認メタルトキ

第五條 特別ノ事由ニ因リ必要アルトキハ監督官廳ノ認可ヲ經第四條ノ規定ニ拘ハラス別ニ負擔額及負擔方法ヲ定ムルコトアルヘシ

第六條 國縣市町村其他公共團體ニ於テ公共ノ用ニ供シ又ハ其事務事業若クハ官公吏其他ノ職員ノ住居ノ用ニ供シ又ハ供スルモノト決定シタル土地ノ所有者ニ對シテハ負擔ヲ免除ス但有料借地ニ付テハ此ノ限りニ在ラス

第九條 前七條ニ依ル負擔金工事着手ノ日ノ現在者ヨリ之ヲ徵收ス但數ヶ年度ニ亘ル繼續工事は在リテハ毎年度ノ工事費ヲ其年度工事着手ノ日ニ於ケル現在者ヨリ又當該年度ニ於テ敷地費家屋移轉其他ノ

補償費若クハ雜費ノミヲ支出スル場合ハ別ニ指定スル日ニ於ケル現在者ヨリ之ヲ徵收ス

第十條 道路法第四十條ニ基キ道路ノ修繕ニ要スル費用ハ運送業者倉庫業者其他若シク道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ營ム者又ハ現ニ事業ノ爲道路ヲ損傷セシメタル特定人ヲシテ工費ノ三分ノ二以内ノ金額ヲ限リ負擔セシムルコトアルヘシ但道路損傷ノ原因タル行爲カ事業ノ爲メ他人ノ爲シタルモノナルトキト雖モ事業者ハ其負擔ヲ免カレサルモノトス

第十一條 前條ノ費用ヲ負擔スヘキモノ二人以上在ル場合ハ當應ニ於テ其損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ狀態ヲ考察シ之カ分擔額ヲ定ム

第十二條 負擔金ハ一時ニ之ヲ納付セシム但時宜ニ依リ分納セシムコトアルヘシ

第十三條 工事上道路敷地若クハ金員等ヲ寄附シタルモノニ對シテハ當應ノ計算ニ依リ其金額以内ヲ限リ工事費ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ

第十四條 本規程中土地所有者ニ關スル規定ハ質權及第九條ニ依ル徵收期日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權設定ノ登記アル土地ニ付キテハ其ノ質權者地上權者永小作權者ニ對シ之ヲ適用ス

附 則

所有者ノ負擔額ハ之ヲ增加セス

第六條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徵收ス但シ場合ニヨリ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 道路ニ關スル工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル工事費ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ當應ニ於テ適當ト認メタル工法ニヨリ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

第八條 本規程ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔金ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者ヨリ徵收ス

第九條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 函館市道路工事費受益者負擔規程

大正十二年六月十七日 (大正十五年七月九日改正) 函館市第七號(十九號) (市告示第七十八號)

第一條 市道及其ノ附屬物ノ新設、改設及裝補工事ノ施行ニ因リ沿道受益者ニ對シ其ノ工事費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ本規程ノ定ムル處ニ依ル但シ小修繕ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 沿道ノ區域ハ道路ノ新設及擴張工事ノ場合ニ在リテハ道路ノ兩側ニ於テ各道路幅員ノ五倍以内其ノ他ノ工事ノ場合ニ在リテハ其ノ奥行二十間ノ地域ヲ謂フ

第三條 第一條ノ規定ニ依ル沿道受益者トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル

道路法ニ依ル受益者負擔規程

10 岐阜市道路費用一部負擔ニ關スル規程

(大正十二年六月二十日) (市告示第二十五號)

第一條 道路ニ關スル工事は因リ利益ヲ受クル土地所有者ニ對シ道路法第三十九條ニ依リ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム但シ修繕費用ハ此ノ限リニ在ラス

第二條 前條ニ依リ道路ニ關スル工事は爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事費ノ四分ノ一以内トス

第三條 土地所有者負擔額ノ内其ノ三分ノ二ハ其ノ道路ニ面接スル間口ノ長サニ比例シ他ノ三分ノ一ハ當該道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ面積ニ比例シ負擔額ヲ定ム但シ河川溝渠道路等ニ隣接セル場合其ノ他特殊事情ノ存スルトキハ其ノ實況ヲ斟酌シテ負擔額ヲ定ム

同ノ土地ニシテ前項ノ規定ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキ場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 國府縣市區町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依リ費用ヲ課セス

神社寺院祠宇佛堂ノ境内地其ノ他公用又ハ公共用ニ供スル土地所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔金ヲ徵收セス但シ有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲ニ使用スル土地ノ所有者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅敷地ニ専用スルモノニシテ當應ニ於テ主トシテ住宅敷地ニ使用スルモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲ニ使用スルモノト看做ス

第五條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若ハ徵收セサルモ他ノ土地

者ヲ謂フ

一、質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者

二、工事着手ノ日ヨリ起算シ存続期間十年以上ノ地上權者又ハ賃借權者

他人ノ土地ニ堅固ナル建物ヲ所有スル者ハ存続期間十年以上ノ地上權又ハ賃借權ヲ有スル者ト見做ス

三、前二號ノ目的タル土地ヲ除キタル他ノ土地ニ付テハ其ノ所有者同一土地ニ付所有權以外ノ第一項ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定シタル權利ノ歸屬者ヲ以テ受益者トス

第八條第二項但書ノ土地ニ付テハ有料ニテ使用セシムル者ヲ以テ受益者トス

第四條 工事は爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル受益者ノ負擔スル金額ハ左ノ各號ノ一ニ依ル

一、道路ノ新設、擴張並鋪裝ニ在リテハ工事費ノ六分ノ一以内トス但シ幅員六間以上ノ道路ノ鋪裝工事は在リテハ幅員六間ノ道路ノ負擔額ト同額ニ止ト

二、側溝工事は在リテハ工事費ノ二分ノ一以内トス

第五條 前條ニ依ル各受益者ノ負擔金額ハ道路ノ新設、擴張並鋪裝工事ノ場合ニ在リテハ其ノ半額ハ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ區域内ノ土地ノ面積ニ比例シ側溝工事ノ場合ニ在リテハ其ノ工事ヲ施行スヘキ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シテ之ヲ定ム

第六條 第三條ノ規定ニ依ル受益者以外ノ者ニシテ工事は依リ營業上著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ前二條ノ規定ニ拘ハラス市長ノ認定ニ依リ費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一、同一ノ土地ニシテ二道路以上ノ道路工事費ヲ重複シテ負擔スヘキ場合ニ該當シタルトキ

二、土地ノ利用狀況其ノ他ニ依リ必要アリト認メタルトキ
三、自己ノ費用ヲ以テ當該道路及其ノ附屬物ノ工事ヲ執行シ若ハ其ノ工事費ヲ寄附シタルトキ

第八條 國又ハ公共團體ニ對シテハ負擔金ヲ徵收セサルコトアルヘシ
神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ構内、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ権利者ニ對シテハ負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料貸地ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 負擔金ハ工事者手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ之ヲ徵收ス
負擔金ハ相當ノ利子ヲ附シ五箇年以内ニ於テ適宜分納ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ期間内ニ於テ土地ノ権利者ニ異動アリタルトキハ其ノ新取得者ヨリ殘額ヲ徵收ス

第十條 工事ヲ施行スヘキ區域ハ工事者手前豫メ市長之ヲ告示ス
工事者手ノ日ハ其ノ都度市長之ヲ告示ス

第十一條 本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ大正十二年度分ヨリ之ヲ適用ス
本規程公布前既ニ工事ニ著手シタル街路ニ屬スル第十條ノ規定ニ依ル告示ハ其ノ規定ニ拘ハラズ市長之ヲ告示ス

函館市道路工事費受益者負擔規程施行細則

大正十二年九月六日(大正十三年三月一日告示第十五號) 市告示第九十號(大正十五年七月一日告示第九十號)

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程第二條ノ規定ニ依ル道路ノ境界線及沿道土地ノ周圍ノ間數面積等ハ北海道廳ノ調査ニ係ル土地連絡調査圖ニ依ル

第三條 工事費トハ工事費及其ノ工事ニ要スル一切ノ費用ヲ合算シタルモノヲ謂フ

第四條 規程第七條ノ規定ニ依ル負擔金ノ減免ハ左ノ例ニ依ル

第一號ノ場合

其ノ重複スル部分ニ對シ各街路毎ニ規程第五條ノ規定ニ依ル坪數當ノ負擔金ヲ計算シ其ノ少キモノニ相當スル金額ヲ減額ス

第二號ノ場合

河川、堤塘、崖地又ハ他ノ土地ノ爲隔絶セラレテ工事施行ノ街路ヲ利用スルコト尠シト認ムル土地ニ對シテハ之ヲ減免ス

第三號ノ場合

一、自己ノ費用ヲ以テ道路及其ノ附屬物ヲ施行シタル者ニ對シテハ市ノ施行スヘキ工事トノ價値ヲ比較シ相當金額ヲ減免ス

三、道路工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ト負擔金トヲ比較シ相當金額ヲ減免ス

前各號ノ例ニ適合セサルモ特ニ必要アリト認ムルモノハ相當金額ヲ減免ス

第五條 規程第七條、第八條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトアルモ其ノ減免金額ハ之ヲ他ノ負擔者ニ對シ増加スルコトナシ

第六條 工事者手ノ日トハ工事ヲ開始シタル日ヲ謂フ
第七條 規程第九條第二項ニ依ル負擔金ノ分納ヲ許可スル場合ハ左ノ方法ニ依ル

一、負擔金額貳百圓以上五百圓未満 三箇年以内
二、負擔金額五百圓以上 五箇年以内

負擔金分納ノ場合ニ於テ徵收スヘキ利率ハ日歩貳錢五厘トス

第八條 負擔金分納ノ許可ヲ得ムトスル者ハ負擔金納付令書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ負擔金ノ三分ノ二ニ相當スル擔保ヲ提供シ負擔金分納額ヲ提出スヘシ但シ市長ニ於テ適當ト認ムル市内ノ居住者ニシテ相當資力アル保證人ヲ以テ擔保ニ代フルコトヲ得

第九條 前條ノ擔保ノ種類ハ市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券、土地又ハ火災保險ヲ附シタル建物トシ其ノ價格ハ市長ノ認定ニ依ル但シ國債證券及函館市債ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十條 時價ノ變動ニ依リ擔保ニ不足ヲ生シタルトキハ市長ハ期間ヲ指定シテ之ヲ補填セシム

第十一條 増擔保ヲ提供スヘキ場合ニ於テ之ヲ補填セサルトキハ市長ハ年賦延納ノ許可ヲ取消シ負擔金ヲ一時ニ徵收ス年賦延納金滯納ノ場合亦同シ

第十二條 擔保ハ年賦延納金完納ノ上解除スルモノトス

第十三條 規程第十條第一項ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ其ノ沿道土地所有者ハ第一號様式、建物所有者ハ第二號様式ノ申告書ヲ提出スヘシ但シ規程第八條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 前條申告書ノ提出ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項カ事實ト相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス
第十五條 規程第九條第二項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ期間内ニ權利ノ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

本細則ハ規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

路線名	自 町	至 町	至 地先	負擔規程第十條	大正	年
				第一項告示年月日	月	日

沿道土地申告書

地割圖	面積	貸付又ハ自家用	權利設定	權利者
面符號	面積	沿道間數	年月日	氏名
坪	坪	間	日	氏名

右道路工事費受益者負擔規程施行細則第十三條ニ依リ別紙地割見取圖添付申告候也

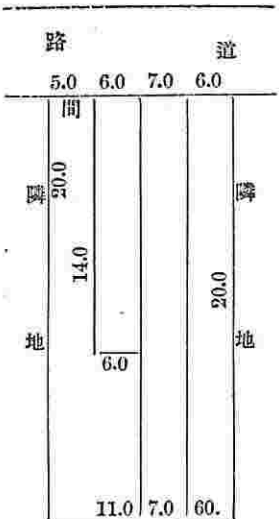
住所

土地所有者 氏

名

大正 年 月 日
 國館市長 殿

地割見取圖



第二號様式

路線名	自町	番地先	負擔規程	第十條	大正	年
	至町	番地先	告示年	月	日	

沿道建物申告書

住所

新權利者 氏

名

大正 年 月 日
 國館市長 殿

路線名	自町	番地先	負擔規程	第十條	大正	年
	至町	番地先	告示年	月	日	

建物權利者異動申告書

住所

番地

二、異動年月日

右道路工事費受益者負擔規程施行細則第十五條ニ依リ申告候也

大正 年 月 日

住所

元權利者 氏

名

住所

新權利者 氏

名

三 京都市道路工事費特別負擔金徵收規程

(大正十三年三月二十六日 京都市告示第四四號)

第一條 道路ノ新設擴張又ハ鋪裝工事(都市計畫事業トシテ執行スルモノヲ除ク)ニ因リ著シク利益ヲ受クル者若ハ特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其ノ工事費ノ一部ヲ負擔セシム

道路法ニ依ル受益者負擔規程

- 一、土地所有者住所氏名
 - 二、借地坪數
 - 三、沿道間數
 - 四、借地契約年月日種類及期間
 - 五、建物種類、間口、奥行ノ間數、建坪、階層
- 右道路工事費受益者負擔規程施行細則第十三條ニ依リ申告候也

住所

建物所有者 氏

名

大正 年 月 日
 國館市長 殿

路線名	自町	番地先	負擔規程	第十條	大正	年
	至町	番地先	告示年	月	日	

權利者異動申告書

住所

番地

坪數	沿道間數	年月日	權利ノ期間	住所	氏名
坪	間	日	日	氏	名

右道路工事費受益者負擔施行細則第十五條ニ依リ申告候也

大正 年 月 日

住所

元權利者 氏

名

ル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
 前項ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ工事並其ノ工事費豫算額ハ市長之ヲ告示ス

第二條 前條ノ受益者負擔金ハ道路新設及擴張工事ニ在リテハ道路ノ兩側ニ於テ各道路ノ幅員ノ五倍以内鋪裝工事ニ在リテハ各奥行二十間以内ノ地域内ニ於ケル有租地ノ所有者ニ之ヲ課ス賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者工事着手ノ日ヨリ起算十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ費用負擔者トス

同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利二箇以上存ストキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利者ヲ以テ費用負擔者トス土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ區劃ヲ定ム

第三條 前條第一項又ハ第三項ノ區劃内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルモノニ付テハ同條第一項及第二項ノ規程ヲ準用ス

第四條 道路ノ一側ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ當該工事費ノ四分ノ一以内ニ於テ市長之ヲ定ム

第五條 各受益者ニ對スル負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

一、道路新設擴張工事ノ場合ニ在リテハ第二條ノ地域ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ路線ニ併行シテ一箇又ハ數個ノ地帯ニ分チ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分シ路線ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ土地ノ其ノ路線ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ各地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

二、道路鋪裝工事ノ場合ニ在リテハ前條ノ負擔額ノ半額ヲ土地ノ其ノ道路ニ接スル部分ノ長さニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

三、前二號ノ地上ニ建設スル建築物ノ高サカ市街地建築物法ノ制限ヲ超ユルモノニ對シテハ其ノ超過部分ノ利用ニ應シ面積ニ換算シテ土地ノ面積ニ加算ス

第六條 倉庫業者、運送業者、自動車業其他道路ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ前數條ノ規定ニ拘ラス當該工事費ノ三分ノ一以內ヲ負擔セシム

第七條 第四條及前條ニ依ル負擔金ノ總額ハ當該工事費ノ十分ノ六ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條 倉庫業者、運送業者自動車業者其ノ他特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於テ其事業ニ付必要ナリト認ムル區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ二以內ヲ負擔セシム

第九條 負擔金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ前條ノ負擔ニ付テハ毎年四月一日現在ノ該當者ヨリ其ノ他ノ負擔ニ付テハ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ徵收ス但シ工事豫算額ト計算額ニ差異ヲ生ジタル場合ハ其ノ精算額ニ依リ負擔金ヲ追徴シ又ハ還付ス

第十條 同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第十一條 道路工事ノ費用ヲ補足スル爲メ土地物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リテ之ヲ定ム
一、各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ當該區分内ノ工事費ニ付テハ負擔額ヲ定ム
二、前項負擔額ノ內其ノ三分ノ二ハ其ノ道路ニ面接セル間口ノ長さニ比例シ他ノ三分ノ一ハ當該道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ沿道地域ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ河川溝渠道路等ニ隣接セル場合其ノ他特殊ノ事情アリト認ムルトキハ其ノ實況ニ應シテ負擔額並其ノ沿道地域ノ廣狹ヲ變更スルコトアルヘシ

第五條 府縣市區町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セサルコトアルヘシ但シ國ニ對シテ本規程ニ依ル費用ヲ負擔セシムル場合ハ其ノ際決定ス

第六條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ場合ニ依リ當該工事年度割内ニ於テ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 道路法ニ依ル受益者負擔規程

第一條 道路法第三十九條ニ依ル負擔金ノ徵收ハ本規程ニ依ル

第二條 負擔金ノ基本額ハ敷地買収ニ要スル費用、地上物件移轉ニ要スル費用、補償費、土工費、器具材料費、監督費、其他工事ニ關スル一切費用ヲ積算ス

第三條 第一條ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事ヲ施行スルニ要スル總費額ノ百分ノ三十五以內トス

ヲ減免スルコトアルヘシ市長力適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ
前項ノ土地物件勞力ニ對スル評價ハ市長ノ認定スル所ニ依ル
第十二條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ市長之ヲ定ム
附 則
本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本規程施行ノ際執行中ニ係ル工事ニ付テハ本規程施行日ヲ以テ其ノ工事着手ノ日ト看做ス

三 豐橋市道路費用一部負擔ニ關スル規程

(大正十三年五月二十三日) (市告示第百三十一號)

第一條 道路及其ノ附屬物ノ新設改築又ハ鋪裝工事ニ因リ利益ヲ受クル沿道地域ノ土地所有者ハ其ノ費用ノ一部ヲ負擔スヘシ

第二條 倉庫業者運送業者自動車業者其ノ他特ニ路面ヲ損傷セシムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ管理者ニ於テ其ノ事業ノ爲メ必要ナリト認ムル道路區域内ノ維持又ハ修繕ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムル事アルヘシ

第三條 第一條ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事ヲ施行スルニ要スル總費額ノ百分ノ三十五以內トス

第七條 第一條ノ工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ

第八條 本規程ニ依リ土地所有者ニ於テ負擔スヘキ負擔金ハ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人及賃借人ヲシテ負擔セシム

第九條 第二條ニ依リ負擔セシムヘキ範圍ハ區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ二以內トス但シ管理者ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ増減スルコトアルヘシ

第十條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム
附 則
本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 岡崎市道路工事費負擔金徵收規程

(大正十三年五月七日) (市告示第百三十二號)

第一條 道路法第三十九條ニ依ル負擔金ノ徵收ハ本規程ニ依ル

第二條 負擔金ノ基本額ハ敷地買収ニ要スル費用、地上物件移轉ニ要スル費用、補償費、土工費、器具材料費、監督費、其他工事ニ關スル一切費用ヲ積算ス

第三條 第一條ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事ヲ施行スルニ要スル總費額ノ百分ノ三十五以內トス

第七條 第一條ノ工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ

第八條 本規程ニ依リ土地所有者ニ於テ負擔スヘキ負擔金ハ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人及賃借人ヲシテ負擔セシム

第九條 第二條ニ依リ負擔セシムヘキ範圍ハ區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ二以內トス但シ管理者ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ増減スルコトアルヘシ

第三條 負擔金ヲ課スヘキ工事及其區域ハ之ヲ告示ス
第四條 負擔金ハ總費額ノ二分ノ一以內トシ左記各號ニ依リ負擔セシム

一、土地ノ狀況ニ依リ一箇又ハ數箇ノ負擔區ヲ定メ各負擔區ニ負擔金ヲ適當ニ配當ス

二、負擔金ハ道路ノ境界線ヨリ奥行二十米突ノ區域ニアル土地ノ面積ニ比例シ配分ス但シ負擔金ノ二分ノ一以內ヲ道路ニ面接セル間口ノ長サニ比例シテ配分スルコトアルヘシ

第五條 第二條ノ基本額ハ豫算額ニ依ル、但シ決算額カ豫算額ニ比シ大差ヲ生シタル場合ハ精算後一年以內ニ追徴又ハ還付スルコトアルヘシ

第六條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徴收シ徴收ノ期日ハ市長之ヲ定ム但シ負擔金ヲ課スヘキ土地ニシテ實權又ハ工事着手ノ日ヨリ起算シ存続期間十年以上ノ地上權若ハ賃借權ノ目的タルモノハ其ノ權利者ヨリ之ヲ徴收ス

前項着手ノ日以後ニ於テ負擔金ヲ課スル標準タル土地ノ權利ヲ移轉シ未ダ徴收ヲ了セサル負擔金アルトキハ其ノ權利ヲ取得シタル者ヨリ之ヲ徴收ス 但シ第七條各號ニ該當スルニ至リタル時ハ此限ニ在ラス

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス
第七條 左ニ掲ケル土地ニ付テハ負擔金ヲ徴收セス但シ有料借地又ハ現ニ他ノ目的ニ使用シアル場合ハ之ヲ徴收スルコトアルヘシ

一、國、府縣、市區町村、其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
二、岡崎市ノ所有地

前項負擔區域ハ當該道路ノ各々幅員ノ三倍ノ地域トシ之レヲ一區又ハ數區ニ區分シ受益ノ厚薄ニヨリ適當ニ分賦ス但河川溝渠道路等ニ隣接セル場合其ノ他特殊ノ事情アリト認ムルトキハ地域ヲ變更スルコトアルヘシ

前項分賦金ハ區域内ノ面積ニ比例シ負擔セシム
二線以上交又スル場合ハ主タル路線(最モ負擔ノ重キモノ)ニ課シ從タルモノハ之ヲ減免スルコトヲ得

同一土地ニシテ五年以內ニ二回以上負擔金ヲ課スル場合亦同シ
第五條 府縣市區町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徴收セサルコトアルヘシ

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地説教所教會所ノ境内地其ノ他公用公共用ニ供スル土地所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲メ使用スル土地ハ此ノ限リニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅敷地ニ兼用スルモノニシテ管理者ニ於テ主トシテ住宅敷地ニ使用スルモノト認定スルモノハ前項但書ノ例ニ依ル

第六條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ豫算額ニ依リ徴收シ決算終了後第八條ノ規程ニ基キ市長ノ定ムル期日ニ之ヲ精算處理ス但シ負擔金納付前土地所有者異動ノ場合ハ繼承者其ノ義務ヲ負フ工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第七條 受益者ハ負擔セシムヘキ基本負擔額ハ工事竣成ノ時期ニ於ケル事業ニ因ル土地ノ増價額ノ五分ノ三ヲ限度トス

第八條 市長ハ基本負擔額ニ比例シ其ノ範圍内ニ於テ第三條ニヨル負擔歩合ニ至ル迄受益者ノ負擔金額ヲ決定シ第三條ノ規定ニ依ル各受益者ノ負擔金カ超過シタルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之レヲ

追徴ス
第九條 第一條ノ工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ管理者ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテモ亦同シ

第十條 本規程ニ依リ土地所有者ニ於テ負擔スヘキ負擔金ハ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人及賃借人ヲシテ負擔セシム

同一土地ニ付前項ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル者ヲ以テ費用負擔者トス
第十一條 負擔金ヲ課スル土地ヲ課セサル土地ト爲シ若クハ課セサル土地ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其ノ届出アリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後負擔金ヲ減免シ又ハ新ニ徴收スルコトアルヘシ
第十二條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

道路法ニ依ル受益者負擔規程

三、社寺敷地及墳墓地
四、其ノ他市長ニ於テ指定スル土地
第八條 市長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
第九條 本規定施行ニ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則
第十條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第十一條 本規程公布ノ際現ニ實施中ノ工事ニ限り第三條ノ告示ノ日ヲ以テ第六條第一項前段ノ日ト看做ス

二五 一宮市道路費負擔規程

(大正十三年十二月六日)
(市告示第六十四號)

第一條 道路及ヒ其附屬物ノ新設又ハ改築工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル地域ノ土地所有者ハ其ノ費用ノ一部ヲ負擔スヘシ

負擔ヲ課スヘキ路線名其區域工事種類ハ市長之ヲ告示ス
第二條 本規程ニ於テ工事費ト稱スルハ第一條ノ工事ニ要スル敷地買收費、地上物件、移轉費、補償費、土工費監督費其他之レニ關連スル一切ノ費用ヲ總稱ス

第三條 第一條ニ依リ土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ル一、新設ハ工事費ノ三分ノ一以內
一、改築ハ工事費ノ四分ノ一以內

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシテ當該區分内ノ工事費ニ付適當ニ區分シ其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

追徴ス
第九條 第一條ノ工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ管理者ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテモ亦同シ

第十條 本規程ニ依リ土地所有者ニ於テ負擔スヘキ負擔金ハ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人及賃借人ヲシテ負擔セシム

同一土地ニ付前項ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル者ヲ以テ費用負擔者トス
第十一條 負擔金ヲ課スル土地ヲ課セサル土地ト爲シ若クハ課セサル土地ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其ノ届出アリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後負擔金ヲ減免シ又ハ新ニ徴收スルコトアルヘシ

第十二條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則
本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二六 大垣市道路費一部負擔ニ關スル件

(大正十四年一月七日)
(市告示第四號)

(沿革) 大正十三年十二月二十日岐阜縣指令一三
道第一、〇九五號認可

一、道路ニ關スル工事ニ因リ利益ヲ受クル土地所有者ニ對シ道路法第三十九條ニ因リ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム

八五

- 但修繕ノ費用ハ此限リニ在ラス
- 二、第一號ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ爲ス可キ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事費ノ四分ノ一以内トス
- 三、土地所有者ノ負擔額ノ内其ノ三分ノ二ハ其ノ道路ニ面接スル開口ノ長サニ比例シ他ノ三分ノ一ハ當該道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ面積ニ比例シ負擔額ヲ定ム
- 但河川、溝渠、道路等ニ隣接セル場合其ノ他特殊事情ノ存スルトキハ其ノ實況ヲ斟酌シテ負擔ヲ定ム
- 同一ノ土地ニシテ前項ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキ場合ニアリテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
- 四、國府縣市區町其ノ他公共團體ニ對シテハ工事ノ費用ヲ課セス
- 神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地其ノ他公用又ハ公共用ニ供スル土地所有者ニ對シテハ工事費ノ負擔額ヲ徵收セス
- 但有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲使用スル土地ノ所有者ニ對シテハ此ノ限リニ在ラス
- 前項ノ土地ヲ住宅敷地ニ兼用スルモノニシテ當廳ニ於テ主トシテ住宅敷地ニ使用スルモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲使用スルモノト看做ス
- 五、前號ノ定メニ依リ負擔額ヲ免除シ若ハ徵收セサルモ他ノ土地所有者ノ負擔額ハ之ヲ増加セス
- 六、負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徵收ス
- 但場合ニ依リ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ
- 七、道路ニ關スル工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ノ範圍内ニ於テ此ノ定メニ依リ工事費ノ負擔額ヲ減免スルコトアルヘシ
- 當廳ニ於テ適當ト認メタル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル

一七 宇治山田市道路工事費受益者負擔規程

(六十四年二月五日) (宇治市第五號)

- 者ニ對シテハ前項ノ定ヲ準用ス
- 八、土地所有者ヨリ徵收スヘキ工事費負擔金ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權又ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ質權者ヨリ徵收ス
- 九、以上ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム
- 一〇、以上ノ定ハ發布ノ日ヨリ之レヲ施行ス
- 第一條 道路法第三十九條ノ規定ニ依リ道路新設擴張工事若ハ路面改良工事又ハ道路側溝ノ新設改築工事(一時の施設ノ工事ヲ除ク)ニ付テハ費用ノ一部ヲ受益者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條、受益者負擔金ハ道路ノ新設擴張工事又ハ路面改良工事ニ在リテハ道路ノ兩側ニ於テ道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ區劃内ノ土地ノ所有者ニ、道路側溝ノ新設改築工事ニ在リテハ側溝ノ道路對側線ニ接スル土地ノ所有者ニ之ヲ課ス但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、工事着手ノ日ヨリ起算十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永小作權又ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人又ハ賃借人ヲ費用負擔者トス
- 同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ費用負擔者トス存續期間ノ定ナキ地上權、永小作權又ハ質權ハ其ノ法定期間ヲ以テ第一項但書ノ存續期間ト看做ス

- 市長ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス別ニ受益者負擔額ヲ課スヘキ區劃ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第三條、受益者ニ課スヘキ負擔額ノ總額ハ道路ノ新設擴張工事又ハ路面改築工事ニ在リテハ當該工事費ノ三分ノ一以内ニ於テ道路側溝ノ新設改築工事ニ在リテハ當該工事費ノ二分ノ一以内ニ於テ其ノ都度市長ノ定ムル額トス但シ道路ノ擴張ノ場合ニ於テ其ノ擴張スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以下ナルトキハ當該工事費ノ四分ノ一以内ニ於テ其ノ都度市長ノ定ムル額トス
- 前項但書ノ平均幅員ハ第四條第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス
- 第四條 道路ノ新設擴張工事ニ付課スヘキ受益者負擔額ヲ定ムル方法左ノ如シ
- 一、各道路ノ土地ノ狀況ニ依リ年度等ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條ノ區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分ニ關スル工事費ニ付前條ノ規定ニ依リ負擔額ヲ配分シテ各負擔區ノ負擔額ヲ定ム但シ一道路ノ數箇ノ負擔區ト爲シタル場合ニ於テハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ相互ニ負擔金額ヲ増減スルコトアルヘシ
- 二、前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ道路ニ並行シテ一箇又ハ數箇ノ地帯ニ分テ各地帯ニ前號ノ負擔金額ヲ一定ノ率ニ依リ配分シテ各地帯ノ負擔額ヲ定ム
- 三、道路ニ接スル地帯ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔金額ノ半額ヲ土地ノ當該道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ、其ノ他ノ地帯ニ在リテハ各地帯ノ負擔金額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ配分シ各受益者ノ負擔額ヲ定ム
- 四、片側ノ道路ノ擴張工事ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ各側ノ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前各號ノ配分割合ニ拘ラス負擔額ヲ定ムルコト

- トアルヘシ
- 路面改良工事ニ付課スヘキ各受益者ノ負擔額ハ前條ノ規定ニ依リ負擔金額ノ半額ヲ土地ノ當該道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シテ、他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ配分シ之ヲ定ム
- 第五條 道路側溝ノ新設改築工事ニ付各受益者ニ課スヘキ負擔金額ハ前條ノ規定ニ依リ負擔額ヲ土地ノ當該道路側溝ニ接スル部分ノ長サニ比例シテ配分シ之ヲ定ム
- 第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔額ヲ減免スルコトアルヘシ
- 一、同一ノ土地ニシテ二以上ノ道路ノ新設擴張工事若ハ路面改良工事又ハ道路側溝ノ新設擴張工事ニ關スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ナルトキ
- 二、附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキ
- 三、道路ノ新設擴張工事又ハ路面改良工事又ハ道路ノ側溝ノ新設改築工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、努力又ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルトキ

- 第七條 國府縣市區町其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地ニ付キテハ負擔額ヲ課セス但シ有料借地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 神社、寺院、祠宇若ハ佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地又ハ學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ニ付テハ負擔額ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲ニ使用スル土地ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅敷地ニ兼用スルモノ又ハ主トシテ住宅敷地ニ使用スルモノト認ムルモノハ前項但書ノ適用ニ付テハ他ノ目的ノ爲ニ使用スルモノト看做ス

第八條 第六號又ハ前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ課セス又ハ減免スル土地ト雖負擔金額ノ計算ニ付テハ之ヲ負擔金ヲ課シ又ハ減免セサルモノト看做シ、他ノ受益者ノ負擔金額ヲ増加セサルモノトス

第九條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ徵收ス

前項ノ負擔金カ工事精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條 負擔金徵收期日ハ市長之ヲ定ム但シ五年ヨリ長カラサル期間ニ於テ分納ヲ許スコトアルヘシ

前項但書ノ期間内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ其ノ權利ノ取得者ヨリ殘額ヲ徵收ス

第十一條 第二條ノ區劃、第三條ノ負擔區、地帯及率並第九條ノ工事費豫算額、工事費精算額及工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第十二條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長別ニ之ヲ定ム

第十三條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 現ニ工事施行中ニ屬スル山田驛船江線、山田驛一之木線、浦口出雲線ニ付テハ本規程公布ノ日ヲ以テ第九條ノ工事着手ノ日ト看做ス但シ山田驛船江線、山田驛一之木線ニ限り負擔金額算出方法ハ仍從前ノ例ニ依リ隣接地域三十間以内トアルヲ二十間以内トシ三等地ニ對シテハ負擔金ヲ課セス

項ニ該當スル者ノ所有スル沿道土地ニシテ貸付ヲ爲サ、ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 前條ノ規程ニ依ル申告書ノ提出ヲ怠リ又ハ申告事項中權利ノ表示ナキモノハ權利者存在セサルモノト看做ス但シ特ニ宥恕スヘキ理由アリト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前條ノ規程ニ依ル申告ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項カ事實ニ相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス

第七條 負擔金決定額ハ申告書ニ依リ算出シ之ヲ受益者ニ通知ス

宇治山田市道路工事費受益者負擔規程施行細則

(大正十四年二月五日)

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ宇治山田市道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ

第二條 道路工事費ト稱スルハ道路新設擴築工事若ハ路面改良工事ニ在リテハ道路ノ新設擴築又ハ路面改良ニ要スル敷地買收費地上物件補償費土木橋梁費監督費其ノ他之ニ關聯スル一切ノ費用ヲ謂ヒ道路側溝ノ新設改築工事ニ在リテハ道路側溝ノ新設又ハ改築ニ關聯スル一切ノ費用ヲ謂フ

第三條 規程第四條第二號及第四號ノ規定ハ左ノ例ニ依ル第二號ノ敷地帯ニ區分スル場合ハ一地帯ノ幅五間以上トス

第四號ノ場合ハ負擔額ノ内片側ニ對スル長サ及面積ニ比例スル配分額ヲ各其ノ三分ノ二マテ増加シ他ノ側ニ對スル長サ及面積ニ比例スル配分額ヲ各其ノ三分ノ一マテ減少スルコトヲ得

第四條 規程第六條ニ依ル減免ハ左ノ例ニ依ル

第一號ノ場合 其ノ重複スル部分ニ對シ規程第六條ニ依ル面積負擔金ヲ各道路毎ニ計算シ少キモノニ相當スル金額ヲ免除ス

第二號ノ場合 河川堤塘等ニ隔絶セラレ街路ヲ利用スルコト尠シト認ムル土地ニ付テハ其ノ受益ノ厚薄ヲ斟酌シ負擔金ヲ減免ス

既設道路ニ接スル土地ニシテ受益尠シト認ムル土地ニ付テモ亦同シ

第五條 沿道土地所有者ハ規程第十一條ニ依ル告示ノ日ヨリ二十日以内ニ沿道土地申告書(第一號様式)ヲ提出スヘシ但シ規程第七條第一

第十二條 負擔金納付義務者住所ヲ變更シタルトキハ其ノモノヨリ、死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ還滯ナク其ノ旨届出ツヘシ

第十三條 負擔ノ徵收ニ付テハ本細則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大正九年五月勅令第六十八號市稅及町村稅ノ徵收ニ關スル件第一條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本細則ハ規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ工事施行中ニ屬スル山田驛船江線、山田驛一之木線ニ限り其ノ負擔額ハ第七條ノ規定ニ拘ラス市長之ヲ査定シテ通知ス

Table with columns for street names, land area, and rights. Includes a header for '沿道土地申告書' and '何町何番地'.

右宇治山田市道路工事費受益者負擔規程施行細則第五條ニ依リ別紙地割見取圖添付申告候也

八 八王子市道路工事費負擔規程

(大正十四年六月三十日)

第一條 道路法第三十九條又ハ第四十條ニ依リ道路ノ新設擴築鋪裝又

ハ側溝工事ニ依リ著シク利益ヲ受クル者若ハ特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其工事費又ハ修繕費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル處ニ依ル

第二條 前條ノ規程ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ受益者トハ道路ノ新設、擴築、鋪裝及側溝ノ工事ニ在リテハ道路敷地ノ境界線ヨリ兩側ニ於テ各奥行二十間ノ地域内ニ在ル有稅地ノ所有者トス

但シ質權ノ目的タル土地ニ就テハ質權者、工事竣功ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ永キ期間ノ定メアル地上權者、永小作人及賃借人トス

同一土地ニ前項但書ノ權利二個以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スルモノトス

第一項ノ地域内ニ在ル免租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノニ就テハ所有者地上權者、永小作人及賃借人トス

第三條 前條ノ地域内ニ於テ河川、溝渠、堤防、下水等ノ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ地域ノ境界トシ並行道路ニシテ其ノ效用同等以上ト認メラルヘキモノトシ間隔力四十間ニ滿タサルトキハ其ノ中央ヲ以テ地域ノ境界トス但シ前項ニ依リ地域ヲ定ムヘキモノハ此限ニ在ラス

第四條 道路ノ片側ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ當該工事費ノ四分ノ一以內ニ於テ市長之ヲ定ム

第五條 第二條ノ地域ハ土地ノ狀況ニ依リ一個又ハ數個ノ負擔區トシ其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

第十二條 第一條ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ道路工事ノ種類及其ノ區域並ニ工事費豫算額ハ市長之ヲ定メ豫メ告示ス

第十三條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則
本規程ハ大正十四年度分ヨリ之ヲ適用ス
本規程公布前既ニ工事ニ着手シ又ハ竣功シタル道路工事ニ關シテハ第十二條ノ規程ニ拘ラス市長ニ於テ之ヲ告示ス

九 札幌市道路工事費受益者負擔規程

(大正十四年七月二十四日)

第一條 道路法第三十九條ノ規定ニ依リ市道ノ鋪裝工事又ハ側溝ノ新設及改築工事ニ要スル費用ノ一部ヲ沿道土地ノ權利者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

但シ小修繕ハ此ノ限リニ在ラス

第二條 本規程ニ於テ土地ノ權利者ト稱スルハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者其他ノ土地ニ付テハ所有者ヲ謂フ同一土地ニ付所有權以外第一項ノ權利二個以上存スルトキハ其最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者ヲ以テ權利者トス

第三條 土地權利者ノ負擔スヘキ金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 鋪裝工事ニ在リテハ鋪裝工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於テ其工事費ノ四分ノ一以內但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間

道路法ニ依ル受益者負擔規程

前項ノ負擔額ハ其ノ半額ヲ土地ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シ之ヲ定ム但シ道路ニ接スル土地ニシテ其ノ間口ニ比シ奥行著シク狭ナルモノハ其ノ程度ニ依リ間口負擔額ヲ減少スルコトアルヘシ

第六條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其他特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於テ其ノ事業ニ付必要ナリト認ムル區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ一以內ヲ負擔セシム

第七條 同一土地ニシテ重複シテ第一條ノ工事ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第八條 道路工事ノ費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタルモノ又ハ其ノ者ノ第二條第一項ノ但書ノ權利ヲ取得シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ負擔額ヲ減免スルコトアルヘシ

第九條 國府縣、市町村、其他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セス

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内、教會所、説教所ノ構内地、學校敷地其他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者及第二條第一項但書ノ權利者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條 受益者負擔額ハ第一條ノ工事竣功ノ日ニ於ケル第二條ノ權利者ヨリ之ヲ徵收ス

第十一條 第六條ノ負擔額ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ毎年四月一日現在ノ該當者ヨリ之ヲ徵收ス

前項ノ負擔額カ工事費豫算額ニ依リ算出シタル負擔額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス

ノ道路ノ負擔額ト同額ニ止ム

二 側溝新設ニ在リテハ其工事費ノ四分ノ一以內

三 側溝改築ニ在リテハ其ノ工事費ノ二分ノ一以內

第四條 各權利者ニ對スル負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 鋪裝工事ノ場合ニ在リテハ負擔金額ノ內其三分ノ二ハ道路ニ面接スル間口ノ長サニ比例シ他ノ三分ノ一ハ當該道路ノ境界線ヨリ真行二十間ノ地域ノ面積ニ比例シテ負擔額ヲ算定ス但シ真行地帯界河川溝渠又ハ併行道路等ノ實況ヲ斟酌シ負擔額並ニ其地域ヲ變更スルコトアルヘシ

二 側溝ノ新設又ハ改築ノ場合ニ在リテハ當該道路ニ面接スル間口ノ長サニ比例シテ負擔金額ヲ算定ス

第五條 倉庫業者運送業者自動車業者其他ノ鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ前數條ノ規定ニ拘ラス道路管理者ノ認ムル所ニ依リ鋪裝工事費ノ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第六條 負擔額ハ當該年度工事費豫算ノ定ムル所ニ依リ工事着手ノ日ニ於ケル土地權利者ヨリ徵收ス

前項ノ負擔額カ工事費豫算額ニ依リ算出シタル負擔額ニ比シ超過シタルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス

第七條 第一條ニ依リ施行スヘキ工事ノ種類及其ノ區域ハ豫メ道路管理者之ヲ告示ス

- トアルヘシ
- 神社寺院佛堂ノ境内地教會所設教所ノ境内地其他ノ公用又ハ公共用ニ供スル土地ノ権利者ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ
- 但シ有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲メ使用スル土地ニ付テハ此ノ限りニ在ラス
- 前項ノ土地ヲ住宅ニ兼用スルモノニシテ道路管理者ニ於テ主トシテ住宅ニ使用ノモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲メ使用スルモノト看做ス
- 第十條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若クハ課セサルコトアルモ他ノ土地権利者ノ負擔額ハ之ヲ増加セズ
- 第十一條 第一條ノ工事ニ要スル費用ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ道路管理者ニ於テ許可シタル工法ニ依リ自費ヲ以テ工事ヲ施行シタル者ニ對シテモ亦同シ
- 第十二條 本規程施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 附 則
- 第十三條 本規程ハ大正十四年度分ヨリ之ヲ施行ス

札幌市道路工事受益者負擔規程施行細則

(大正十四年七月二十四日 告示第九十二號)

- 第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ
- 第二條 存続期間ノ定ナキ地上権及賃借權ハ法定ノ期間ヲ以テ其ノ存続期間ト看做ス

及町村砦ノ徵收ニ關スル件第一條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本細則ハ規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

110 尼崎市道路費特別負擔規程

(大正十四年九月十六日 告示第五號)

- 第一條 道路及其附屬物ノ新築又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者若クハ特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其工費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル處ニ依ル
- 前項ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ工事並其工費豫算額ハ市長之ヲ告示ス

- 第二條 受益者負擔金ハ新設又ハ改築スヘキ道路ノ兩側ニ於テ人家連檐ノ場所ハ其幅員ノ五倍以内其然ラサル場所ハ十倍以内ノ區域内ニ在ル土地ノ所有者又ハ側溝工事ニアリテハ側溝ノ道路對側縁ニ接スル土地ノ所有者ニ之ヲ賦課ス但シ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者ノ工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上権永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上権者永小作權者又ハ賃借人ヲ受益負擔者トス
- 第三條 左ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ニ拘ラス其地域ヲ定ム

- 一 前條ノ區域内ニ於テ効用同等以上ノ道路アルトトキハ費用負擔區域ハ其ノ兩道路間ノ距離ヲ折半シタル中間ニ止ム
- 二 前條ノ區域内ニ於テ幅員三間以上河川溝渠等ニシテ交通ヲ遮斷スルモノアルトキハ其地點ニ止ム

道路法ニ依ル受益者負擔規程

- 第三條 工事費トハ舗裝又ハ側溝ノ工事ニ要スル一切ノ費用ヲ謂フ
- 第四條 舗裝工事ト側溝工事ヲ同時ニ施行スル場合ニ在リテハ其ノ負擔スヘキ金額ハ各別ニ之ヲ算出ス
- 第五條 規程第六條第二項但書ノ規定ニ依リ大差ナシト認ムルハ過不足ノ金額土地権利者毎ニ壹圓以内ノ場合トス
- 第六條 規程第八條ニ依ル負擔ノ減免ハ同一年度ニ施行スル工事ニ限リ其重複スル部分ニ對シ規程第四條ニ依ル面積當リ負擔金額ヲ道路線毎ニ算出シ其ノ少キモノニ相當スル金額ヲ減免ス
- 第七條 沿道土地所有者ハ規程第七條第一項ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ別記様式ニ依リ沿道土地申告書ヲ提出スヘシ但シ規程第九條第一項ニ該當スル沿道土地ニシテ現ニ公用若ハ公共ノ用ニ供セルモノニ付テハ此限ニ在ラス
- 第八條 申告書ノ提出ヲ怠リ又ハ申告事項中權利者ノ表示ナキモノハ所有者以外ニ權利者ノ存セサルモノト看做ス但シ正當ノ理由アリト認ムルモノハ此限ニ在ラス
- 第九條 第七條ニ依ル申告ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項ニ事實ト相違アリト認ムルトキハ道路管理者之ヲ査定ス
- 第十條 規程第八條、第九條第二項及第十一條ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケントスルトキハ同第七條第一項告示ノ日ヨリ二十日以内ニ其事實行ヲ詳具シ負擔金減免額ヲ提出スヘシ
- 第十一條 前條ノ減免額ヲ提出セサル者ニ對シテハ正當ノ事由アリト認ムル場合ヲ除クノ外負擔金ヲ減免セズ
- 第十二條 工事費ヲ負擔スヘキ土地権利者住所氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ死亡シタルトキハ相續人ヨリ其ノ旨遅滞ナク届出ヘシ
- 第十三條 負擔金ノ徵收ニ付テハ大正九年五月勅令第六十八號市稅

- 三 橋梁ノミノ新築又ハ改築工事ヲ施行スル場合ハ之ニ連絡スル道路ノ狀況ニ依リ前條ノ地域ニ依リ難シト認ムルトキ
- 四 土地ノ狀況其他ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前條ノ範圍内ニ於テ別ニ區域ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第四條 受益者ニ負擔セシムヘキ工費負擔額ハ新設ノ場合ハ五分ノ三其ノ他ノ場合ハ二分ノ一トス道路新築ノ場合ニ於テ其擴張スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス
- 第五條 各受益者ノ負擔額ハ左ノ方法ニヨリ之ヲ定ム
- 第二條ノ區域ノ利益ヲ受クル程度ニヨリ路線ニ並行シテ一個又ハ數個ノ地帯ニ分テ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニヨリ配分シ路線ニ接續スル地帯内ニアリテハ其地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ土地ノ路線ニ接スル長ニ比例シ他ノ半額ヲ其面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニアリテハ各地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス
- 但シ路線ニ接スル土地ニシテ其間口ニ比シ奥行著シク狭小ナルモノハ其程度ニヨリ間口負擔額ヲ減少スルコトヲ得
- 第六條 同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工費ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第七條 國府縣市區町村其ノ他ノ公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セサルコトアルヘシ
- 神社寺院佛堂教會所ノ境内地學校敷地其ノ他公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔金ノ負擔ヲ免除ス但シ有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲メ使用スル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ土地ニシテ其形狀著シク不整ニシテ宅地トシテ利用シ難シト認メラルルモノニ付テハ其ノ部分ニ付負擔ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトヲ得

第八條 前條ノ規程ニ依リ負擔金ヲ免除シ若クハ徵收セサルコトアルモ他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ増加セス

第九條 倉庫業者運送業者自動車業者其他特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲スモノニ對シテハ市長ニ於テ其ノ事業ニ付必要ナリト認ムル區域内ニ於ケル維持修繕費ノ三分ノ二以內ヲ負擔セシム但シ前項ノ費用ヲ負擔スヘキモノ二人以上アルトキハ市長ニ於テ其ノ損傷ノ原因トナル可キ事業ノ狀態ヲ考察シ之レカ分擔額ヲ定ム

第十條 負擔金ハ毎年度豫算ノ定ムル處ニヨリ前條ノ負擔ニ付テハ毎年四月一日現在ノ該當者ヨリ其ノ他ノ負擔ニ付テハ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ納付セシム

前項ノ工費豫算額ト精算額ニ差異ヲ生シタル場合ハ其ノ精算額ニ依リ負擔金ヲ追徴シ又ハ還付ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此限ニアラス

第一項ノ負擔金徵收期ハ市長之ヲ定ム但シ市長ノ定ムル利子ヲ附シ三年以內ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第十一條 道路ニ關スル工費用ヲ補足スル爲メ土地物件勞力又ハ金銭ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附シタル費額ノ範圍内ニ於テ本規程ノ負擔金ヲ減免スルコトヲ得市長力適當ト認ムル工法ニヨリ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルモノニ對シ又同シ前項ノ土地物件並勞力ニ對スル評價ハ市長ノ認定スル處ニ依ル

一 道路新設工事ノ場合ハ其ノ片側ニ於テ其ノ工費ノ六分ノ一以內

二 道路擴張工事ノ場合ハ其ノ片側ニ於テ其ノ工費ノ八分ノ一以內

三 道路鋪裝工事ノ場合ハ其ノ片側ニ於テ其ノ工費六分ノ一以內

但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間ノ負擔額ト同額ニ止ム

四 側溝新設工事ノ場合ハ其ノ工費ノ三分ノ一以內

五 側溝改築工事ノ場合ハ其ノ工費ノ二分ノ一以內

道路ヲ擴張スヘキ部分ノ平均幅員力舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ之ヲ新設ト見做ス

第五條 土地権利者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依ル

一 各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ一區又ハ數區ニ區分シ該當區内ノ工費ニ付テ其ノ區ノ負擔額ヲ定ム

二 道路ノ新設擴張及鋪裝工事ノ場合ハ第一號負擔額ノ內半額ハ其ノ路線ニ接スル土地ノ間口ニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ地域内ニ於ケル土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ各権利者ニ配分ス

三 側溝ノ新設又ハ改築工事ノ場合ニ於ケル第一號ノ負擔金額ハ其ノ路線ニ接スル間口ノ長サニ比例シテ之ヲ各権利者ニ配分ス

第六條 第二條ニ依ル土地権利者以外ノ者ニシテ營業上著シク利益ヲ受ケル者ニ對シテハ前二條ノ規定ニ拘ラス道路管理者ノ認ムル處ニ依リ其ノ工費ノ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一 同一土地建物ニシテ二線以上ノ工費ヲ負擔スヘキ關係ヲ有ス

第十二條 本規程施行ノ際既ニ着手セル工事ニ付テハ本規程施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

第十三條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

第十四條 本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 小樽市道路工事費受益者負擔規程

(大正十五年四月十七日 市告示第五十二號)

第一條 市道ノ新設、擴張、鋪裝若ハ側溝ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ若シク利益ヲ受ケル沿道土地ノ権利者ニ對シ其ノ工費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ本規程ノ定ムル處ニ依ル

第二條 本規程ニ於テ沿道土地ト稱スルハ道路敷地ノ境界線ヨリ與行二十間ノ地域ヲ謂フ

第三條 本規定ニ於テ權利者ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一 實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者

二 第一條ノ工事着手ノ日ヨリ起算シ存續期間十年以上ノ地上權者 永小作權者、賃借權者

他人ノ土地ニ堅固ナル建物ヲ所有スル者ハ存續期間十年以上ノ地上權又ハ賃借權ヲ有スル者ト看做ス

三 前各號ノ目的タル土地ヲ除キタル土地ニ付テハ其ノ所有權者 同一土地ニ付所有權以外ノ前項ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者ヲ以テ權利者トス

第四條 土地権利者ノ負擔スヘキ金額ハ左ノ各號ニ依ル

一 土地建物ノ利用狀況其ノ他ニ依リ必要アリト認メタルトキ

二 工事ニ要スル土地、物件、勞力又ハ金銭ヲ寄附シタルトキ

三 道路管理者ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルトキ

第八條 國又ハ公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔金ヲ課セサルコトアルヘシ

第九條 神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地 學校敷地、其ノ他公共ノ用ニ共スル土地ノ権利者ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料貸地又ハ他ノ目的ノ爲使用スル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條 前三條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免シ若ハ課セサルコトアルモ他ノ土地権利者ニ對スル負擔金ハ之ヲ増加セス

第十一條 負擔金ハ當該年度工費豫算ノ定ムル處ニ依リ工事着手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ之ヲ徵收ス

第十二條 第一條ニ依リ施行スヘキ工事ノ種類及其ノ區域ハ濶メ道路管理者之ヲ告示ス

第十三條 本規程ノ施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

小樽市道路工事費受益者負擔規程施行細則

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工費受益者負擔規程ヲ

謂フ

- 第二條 工事費トハ新設、擴築、鋪裝若ハ側溝ニ關スル一切ノ費用ヲ
- 第三條 前條ノ工事ヲ同時ニ施行スル場合ニ在リテハ其ノ負擔スヘキ
- 第四條 規程第二條ニ依ル沿道土地所有者ハ第一號様式規程第三條第
- 第五條 前條申告書ノ提出ヲ意リ又ハ申告事項中權利者ノ表示ナキモ
- 第六條 第四條ニ依ル申告ヲ意リタルトキ又ハ申告事項ニ事實ト相違
- 第七條 規程第七條ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケムトスルトキハ同第十
- 第八條 前條ノ減免願ヲ提出セサル者ニ對シテハ正當ノ事由アリト認
- 第九條 工事費負擔金納付義務者住所氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ者
- 第十條 負擔金ノ徵收ニ付テハ大正九年五月勅令第六十八號市稅及

第一號様式

路線名 自町 丁目 番地先負擔規程第十二條第一項
至 町 丁目 番地先告示大正 年 月 日

沿道土地申告書

地割圖地番 貸付又ハ自家用 權利設定 期間 權利者住所
面附號 面積 沿道間數 年月日 權利種類 氏名

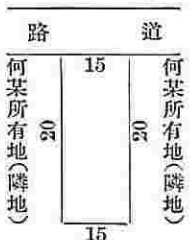
右道路工事費受益者負擔規程施行細則第四條ニ依リ別紙圖面添付申
告候也

大正 年 月 日

住所
土地所有者 氏 名

小樽市長宛

(別紙)



備考

同一人ニシテ二筆以上接続シテ土地ヲ所有スルモノハ其ノ區域間數
地番ヲ併記スルコト

第二號様式

路線名 自町 丁目 番地先負擔規程第十二條第一項
至 町 丁目 番地先告示大正 年 月 日

沿道建物申告書

- 一 土地所有者住所氏名
 - 二 借地坪數
 - 三 沿道間數
 - 四 借地契約年月日種類期間
 - 五 建物ノ種類間口奥行ノ間數建坪階層
- 右道路工事費受益者負擔規程施行細則第四條ニヨリ申告候也
- 大正 年 月 日

住所

建物所有者 氏 名

小樽市長宛

三 名古屋市道路工事費受益者負擔規程

(大正十四年十二月二十五日)

- 第一條 道路ノ新設擴築又ハ鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ
- 第二條 受益者負擔金ハ道路ノ新設及擴築工事ニ在リテハ道路ノ兩側

ニ於テ各其ノ境界線ヨリ道路幅員ノ七倍以内鋪裝工事ニ在リテハ各
奥行二十間以内ノ地域内ニ於ケル土地ノ所有者ニ之ヲ課ス但シ管轄
ノ目的タル土地ニ付テハ賃借者、工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ
長キ期間ノ定メアル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ
付テハ地上權者、永小作人又ハ賃借人ヲ以テ費用負擔者トス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

- 第一條 前條ノ新設擴築又ハ鋪裝工事ニ在リテハ其ノ工事費ノ十分ノ五トス但シ幅員
 - 第二條 道路ノ鋪裝工事ニ在リテハ其ノ工事費ノ十分ノ五トス但シ幅員
 - 第三條 前條ノ區劃内ノ受益者ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依ル
 - 第四條 道路ノ新設擴築ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各
- 期間ノ定メナキ地上權又ハ賃借權ニ付テハ其ノ期間ハ借地法ノ規程
スル所ニ依ル同一ノ土地ニ付第一項但書ノ權利二個以上存スルトキ
ハ最後ニ其ノ權利ヲ得タル者ヲ以テ費用負擔者トス
- 一 道路ノ新設工事ニ在リテハ其ノ工事費ノ十分ノ四擴築ノ場合ハ
工事費ノ十分ノ三トス
- 二 道路ノ鋪裝工事ニ在リテハ其ノ工事費ノ十分ノ五トス但シ幅員
六間以上ノ道路ニ在テハ其負擔額ハ左ノ制限ヲ超エサルモノトス
歩車道ヲ區別セサルモノニ在リテハ其ノ幅員六間ニ對スル工事費
ノ十分ノ五
歩車道ヲ區別シタルモノニ在リテハ車道ノ幅員六間ニ對スル工事
費ノ十分ノ五
- 歩車道ヲ區別シタル道路ニ於テ先ニ歩道ノミヲ鋪裝スル場合ニ於
テハ其ノ工事費ノ十分ノ五ヲ負擔セシメ後ニ車道ヲ鋪裝スル場合
歩道鋪裝ノ際既ニ負擔シタル金額ヲ控除シ其ノ殘額ヲ負擔セシム
道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均
幅員ノ三倍以上(三倍ヲ合ム)ナルトキハ第一項第一號ノ適用ニ
關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス
- 前項ノ平均幅員ハ第四條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス
- 第四條 道路ノ新設擴築ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各
號ニ依リ之ヲ定ム
- 一 各路線ノ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第二條
ノ區劃ヲ一個又ハ數個ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ
區ノ負擔額ヲ定ム但シ橋梁費ニ付テハ別ニ負擔區ヲ定ムルコトヲ得
二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニヨリ一個又ハ數個ノ地帶ト

- シ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
- 三 各路線ニ接スル地帯内ニアリテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其ノ路線ニ接スル部分ノ長サニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス
- 四 第一號ノ負擔區、第二號ノ地帯及率ハ市長之ヲ告示ス
- 道路ノ鋪裝ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金額ハ前條ノ負擔額ノ半額ヲ土地ノ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス
- 第五條 同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキ關係ニ在ルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第六條 河川、溝渠並行道路其ノ他土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認めルトキハ市長ハ前四條ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃及負擔金額ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第七條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ其ノ負擔區ノ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者又ハ権利者ヨリ之ヲ徴收ス
- 工事費豫算額ト精算額ニ差額ヲ生シタル場合ハ其ノ精算額ニ依リ負擔金ヲ追徴シ又ハ還付ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認めルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 負擔金ノ徵收期ハ市長之ヲ定ム但シ相當ノ利子ヲ附シ工事着手後三箇年ヲ超ニサル期間ニ於テ分納ヲ許スコトアルヘシ工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス
- 第八條 國府縣、市町村其他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供

- スル土地ニ付テハ本規程ニ依ル負擔金ヲ課セス
 - 神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者又ハ権利者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ但他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 前二項ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免シ若ハ課セサル事アルモ他ノ受益者ニ對スル負擔額ハ之ヲ増加セス
 - 第九條 本規程ニ依ル道路工事ノ費用ヲ補足スル爲メ土地物件又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 市長力適當ト認めタル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルモノニ付亦同シ
 - 前項ノ土地物件ニ對スル評價ハ市長ノ認定スル所ニ依ル
 - 第十條 都市計畫事業トシテ執行スル道路ノ新設擴築又ハ鋪裝ニ要スル費用ヲ受益者ニ負擔セシムル場合ニハ本規程ヲ適用セス
 - 第十一條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ市長之ヲ定ム
- 附 則
- 本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 - 本規定施行ノ際執行中ニ係ル工事ニ付テハ本規定施行ノ日ヲ以テ其工事着手ノ日ト看做ス
- 名古屋市道路工事費受益者負擔規程施行細則
(大正十五年四月二十六日)
(市告示第五十二號)
- 第一條 本則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ
 - 第二條 規程第二條ノ區劃内ニ在ル土地ノ位置面積及形狀ハ公簿及公

附屬圖ニ依ル

- 第三條 規程第二條第一項但書ニ該當スル土地ニ付テハ其ノ契約面積ニ依ル但未登記ニ屬スルモノナルトキハ所有者及權利者連署申告ニ依リ之ヲ定ム
- 第四條 前二條ノ土地ニシテ負擔區及地帯ノ境界線ニ跨リタル土地並工事路線ニ接スル間口間數ハ實測シテ之ヲ定ム
- 第五條 工事費トハ土地代、物件移轉料築造費及之ニ伴フ諸係費ヲ謂フ
- 第六條 同一ノ土地ニシテ重複負擔ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ輕キ負擔ヲ免除ス但道路新設又ハ擴築ト鋪裝トノ重複負擔ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第七條 土地ノ形狀若シク不整ニシテ宅地トシテ利用シ難シト認めラルモノニ付テハ其ノ利用シ難シト認めタル部分ニ付負擔ノ一部ヲ減免スルコトアルヘシ
- 第八條 公認ノ神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ニ對シ減免スル場合ハ申請ニ依リ實地調査ノ上協議スルモノトス但有料借地ハ此ノ限リニ在ラス
- 第九條 規程第二條ノ區劃内ニ河川、運河、溝渠、鐵道等土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物アルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ境界トス
- 第十條 効用同等以上ト認めラレルヘキ並行道路トノ間隔カ新設又ハ擴築道路ニ在リテハ其ノ道路幅員ノ十四倍道路ノ鋪裝ノ場合ニ在リテハ四十間ニ滿タサルトキハ其ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ境界トス前條ノ規程ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキ場合ニ在リテハ其ノ負擔區劃内ニ限リ前項ノ規定ヲ適用ス

- 第十一條 街劃ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線ヲ以テ道路境界線ト看做ス但前二條ニ依リ負擔區劃ヲ定ムヘキモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 第十二條 前三條ノ場合ニ於ケル一坪當負擔金ハ規程第二條乃至第四條ニ依ル一坪當負擔金ト同額トス
 - 第十三條 負擔義務者ヨリ分納ヲ申請シタルトキハ特別ノ事情アリト認めルトキハ左ノ條件ヲ附シ許可スルコトアルヘシ
 - 一 年六米ノ割ヲ以テ利子ヲ附スルコト
 - 二 本市ニ住所ヲ有スル能力者ニシテ市内ニ土地又ハ家屋ヲ有シ市長ニ於テ適當ト認めル連帯保證人二名以上ヲ附スルコト
 - 前項保證人ニ代ルニ國庫證券、地方債證券、勸業銀行債券、興業銀行債券、農工銀行債券ヲ以テ擔保ト爲スコトヲ得其ノ價格ハ許可ノ際之ヲ指定ス
 - 第十四條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ毎年二、五、八、十一月ノ四回ニ分テ各月末日之ヲ徴收ス但シ初回若クハ終回ニ限リ臨時之ヲ徴收スルコトヲ得
- 三 神戸市道路工事費負擔規程
(大正十五年五月四日)
(市告示第五十四號)
- 第一條 道路ニ關スル工事(都市計畫事業トシテ執行スルモノヲ除ク)ニ因リ若シク利益ヲ受クル者若ハ特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其ノ工事費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
 - 第二條 前條ノ受益者負擔金ハ道路ノ新設及擴築工事ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ道路幅員ノ五倍以内廣場ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ奥行

六十間以内舗装工事ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ奥行二十間以内ニ於ケル各道路兩側ノ土地所有者ニ之ヲ課ス但シ其ノ土地カ左ノ權利ノ目的タル場合ニ於テハ登記ヲ經タルモノニ限り其ノ權利者ニ之ヲ課ス

一、實權

二、工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル永小作權地上權又ハ賃借權

前項但書ノ權利ニシテ同一土地ニ付二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利者ニ之ヲ課ス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス市長別ニ其ノ地域ヲ定ム

第三條 國又ハ公共團體ニ對シテハ負擔金ヲ課セス神社、寺院、祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ境内地學校敷地其ノ他公共ノ他ニ供スル土地ノ受益者ニ對シテハ負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 道路ノ片側ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ當該工事費ノ四分ノ一以内ニ於テ市長之ヲ定ム

第五條 各受益者ニ對スル負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

- 一、道路ノ新設擴張工事ノ場合ニ在リテハ第二條ノ地域ヲ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ一個又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ其ノ地帯及率ハ市長之ヲ定ム
- 二、道路舗装工事ノ場合ニアリテハ前條ノ負擔額ノ半額ハ工事ヲ爲

ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 工事着手ノ日及負擔金徵收期ハ市長之ヲ告示ス但シ舗装工事及第六條ニ依ル負擔金ハ一ケ年其ノ他ノ負擔金ニ付テハ二ケ年以内ノ期間ニ於テ分納ヲ許スコトアルヘシ

第十四條 受益者ニ異動アリタルトキハ其ノ權利ノ取得者ヨリ負擔金ヲ徵收ス但シ滞納金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 本規程ノ施行ニ關スル必要ナル事項ハ市長別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

神戸市道路工事費負擔規程施行細則

(大正十五年五月四日 市告示甲第百六號)

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事費負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程ニ於ケル工事費ハ工事及之ニ伴フ事務費トス

第三條 道路幅員ハ有効幅員ニ依ル

第四條 規程第五條ノ土地ノ面積ハ公簿面積ニ依ル但シ一部ニ負擔ヲ課スルトキハ實測面積ニ依ル

第五條 道路兩側ノ間當及坪當負擔金ハ其ノ各別ニ算出シタル金額ノ内少額ナルモノニ依ル但シ其ノ兩側カ規程第四條ノ負擔額ヲ異ニスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 負擔金ノ減免ハ左ノ區別ニ依ル

- 一、規程第七條第一號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ輕キ負擔金ヲ免除ス
- 二、河川運河等土地ノ利用ヲ區分スト認メラルル地物ニ隔絶セラ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

スヘキ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ地域内ノ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

第六條 倉庫業者運送業者其ノ他特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於テ其ノ事業ニ付必要ナリト認ムル區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ二以内ヲ負擔セシム

前項ノ費用ヲ負擔スヘキ者二人以上アルトキハ市長ニ於テ其ノ損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ種類及程度ヲ考査シ之ヲ分擔セシム

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一、同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキトキ

二、附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

第八條 第三條又ハ第七條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトアルモ之カ爲他ノ受益者ニ對スル負擔額ハ之ヲ増加セズ

第九條 工事ニ要スル費用又ハ土地ヲ寄附シタルモノニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

第十條 第六條ノ負擔金ニ付テハ毎年四月一日現在ノ當該規定ニ該當スル者ヨリ其ノ他ノ負擔金ニ付テハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム

第十一條 新ニ第六條ノ事業ヲ開始シタル者アリタルトキハ其ノ事業開始ノ日ヨリ前條ノ規定ニ準シ負擔金ヲ納付セシム

第十二條 負擔金ハ毎年度工事費豫算額ニ依リ之ヲ納付セシム

前項ノ負擔金カ工事費精算額ニヨリ算出シタル各受益者ノ負擔金額

ル土地ニ對シテハ其ノ負擔金ヲ免除ス

三、効用同等以上ト認メラルヘキ並行道路カ規程第二條ニ規定セル地域(廣場ヲ除ク)ノ二倍以内ニアリタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ超ニル土地ニ對シ其ノ負擔金ヲ免除ス

四、後方接續地ト所有者又ハ規程第二條ニ謂フ權利者ヲ異ニスル土地ニ在リテハ道路境界ヨリ奥行一間未滿ノ部分ハ間口負擔ノ全額ヲ免除シ奥行二間未滿ノ部分ハ其ノ二分ノ一以内ヲ奥行三間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ一以内ヲ減額ス

五、路面ニ對シ土地ノ高低ノ差一間以上ニシテ宅地其ノ他ニ利用シ得サル部分ハ間口負擔ノ全額ヲ免除シ面積負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額ス但シ宅地其ノ他ニ利用シ得ル部分ハ間口負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額ス

六、前各號ニ該當セサルモ特ニ斟酌スルノ要アリト認メラルモノニ對シテハ其ノ都度減免額ヲ定ム

第七條 負擔金ハ納付期日二十日以前ニ之ヲ納付義務者ニ通知ス

第八條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ其ノ納付期日ハ毎年二月末日及八月末日トス但シ第一回分納金ノ納付期日ハ隨時之ヲ定ム

第九條 受益者ニ異動アリタル場合ハ其ノ登記ヲナシタル日ヨリ十日以内ニ當事者連署ノ上申告スヘシ

第十條 負擔金ヲ課スヘキ道路工事ノ種類、施行區域、豫算額、負擔地域及地帯ハ之ヲ告示ス

第十一條 工事費精算額ハ其ノ都度之ヲ告示ス

附 則 本細則ハ道路工事費負擔規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 新潟市道路工事受益者負擔規程

(昭和二年四月二十一日)
市告示第五十七號

第一條 道路法第三十九條ニ依リ道路ニ關スル工事ニ因リ利益ヲ受クル者ニ對シ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ工事ハ其ノ都度市長之ヲ告示ス

第二條 沿道受益者ニ工事費ヲ負擔セシムル場合ニ於テ負擔金ハ道路ノ兩側各奥行十五間以内ノ地域内ノ土地所有者ニ之ヲ課ス

但シ實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者、工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ヲ以テ費用負擔者トス

同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利二個以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利者ヲ以テ費用負擔者トス

土地ノ狀況又ハ路線及工事ノ種類ニ依リ必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス負擔地域ヲ増減シ又ハ別ニ負擔地域ヲ定ムルコトアルヘシ

第三條 沿道受益者ニ工事費ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ受益者ノ負擔スヘキ金額ハ其ノ工事費ノ二分ノ一以内ニ於テ其都度市長之ヲ定ム

前項ノ工事費トハ敷地買収費、物件移轉費、補償費、土木工費、監督費其ノ他工事施行ニ要スル一切ノ費用ヲ積算シタルモノヲ謂フ
第四條 各受益者ノ分擔額ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

三、道路工事ノ爲土地物件勞力又ハ費用ヲ寄附シタルトキ
第九條 前二條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ徵收セス又ハ減免スルコトアルモ之カ爲他ノ受益者ノ負擔額ハ増加セス

第十條 第七條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ徵收セス又ハ免除シタル土地ニシテ工事着手後五箇年以上ニ其ノ事由消滅シタル場合ニ於テハ負擔金ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十一條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ一時ニ之ヲ徵收ス但シ工事着手後三箇年ヲ超エサル期間ニ於テ市長ノ定ムル利率ヲ徵收シ分納ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル金額ニ比シ超過シタルトキハ之ヲ還付シ不足シタルトキハ之ヲ追徵ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス
第十二條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
新潟市道路側溝工事費受益者負擔ニ關スル規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

新潟市道路工事費受益者負擔規程施行細則

(昭和二年五月十八日)
市告示第六十四號

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ新潟市道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程ノ道路工事トハ新設、擴築、改築、路面鋪裝工事及側溝橋梁等附屬物ノ工事ニシテ常時ノ修繕工事ニアラサルモノヲ謂フ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

一、負擔金ノ半額ヲ路線ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ配分ス

二、第二條第三項ノ規定ニ依リ著シク負擔地域ヲ増大スル場合ニ於テハ路線ニ並行シテ數個ノ地帯ヲ劃シ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一定ノ率ヲ以テ負擔金ヲ配分シ更ニ路線ニ接スル地帯ニ在リテハ前號ヲ適用シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ配分ス

前項第二號ノ一定ノ率ハ其ノ都度市長之ヲ告示ス

第五條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他道路工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ前數條ノ規定ニ拘ラス當該工事費ノ十分ノ三以内ヲ負擔セシム前項ニ依ル負擔金及各受益者ノ分擔額ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第六條 第三條及前條第一項ニ依ル負擔金ノ總額ハ當該工事費ノ十分ノ七ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條 國、縣、市、町、村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セス

神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所說教所ノ境内地、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者(當該土地ニ對シ第二條第一項但書ノ權利者ヲ含ム)ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料ニテ使用セシメ又ハ他ノ目的ニ使用スル土地ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一、同一土地ニシテ二以上ノ路線ニ沿フトキ
二、附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スルノ必要アルトキ

第三條 負擔地域ノ奥行ハ道路ノ境界線ヨリ之ヲ測定ス

前項境界線ニ側溝ノ設ケアルトキハ道路對側端ヨリ、街角ヲ剪除シタル場合ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ延長線ヨリ之ヲ測定ス

第四條 同一路線ノ延長キニ互リ沿道ノ受益者著シク厚薄ヲ生スル如キ場合ニ於テハ之ヲ數區ニ區劃シ各區劃毎ニ工事費負擔地域及負擔金額ヲ定ム

第五條 沿道土地所有者ハ規程第一條第二項ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ第一號様式ニ依リ申書ヲ提出スヘシ但シ規程第七條第一項ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 前條申書ヲ提出ヲ怠リタルトキハ又ハ申書事項ニシテ事實ト相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス

第七條 規程第七條第二項又ハ規程第八條ノ規程ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケントスル者ハ規程第十一條第三項ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ第二號様式ニ依リ其ノ事實ヲ詳具シ願出ツヘシ

前項ノ期限後當該工事竣功ノ日迄ノ間ニ於テ新ニ發生シタル事實ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケントスルトキ又ハ減免事由ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク其ノ事實ヲ詳具シ願出ツヘシ

第八條 規程第八條第一項第三號ノ場合ニ於ケル土地、物件又ハ勞力ハ市長ノ認ムル價格ニ換算シ減免額ヲ定ム

第九條 規程第十一條ニ依リ負擔金ノ分納ヲ許可スル場合ニハ左記ニ依ル

- 一、負擔金五拾圓以上參百圓未滿ナルトキ 一年半以内
- 二、負擔金參百圓以上ナルトキ 三年以内
- 三、當該工事ノ爲買収シタル土地代金ノ交付ヲ受クル者ニ對シテハ其ノ交付金ノ限度ヲ超エタル部分ニ付第一號又ハ第二號ヲ適用ス

分納ノ場合ニ徴收スヘキ利子ハ月割計算トシ一箇月ニ付分納金ノ千分ノ八トス

第十條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ納額告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ負擔金ノ半額以上ニ相當スル擔保ヲ提供シ又ハ保證人二名以上連署ヲ以テ第三號様式ニ依リ分納願ヲ提出スヘシ

擔保ハ公債證券其ノ他有價證券ニシテ其ノ種類及價格ハ市長ノ定ムル所ニ依ル保證人ハ本市公民ニシテ直接國稅年額拾圓以上ヲ納ムル者タルヲ要ス

第十一條 負擔金納付義務者又ハ保證人住所ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ、死亡シタルトキハ其ノ相續者ヨリ遲滞ナク其ノ旨届出ツヘシ
第十二條 規程第十一條第二項但書ノ大差ナシト認ムトハ負擔金納付者毎ニ壹圓以内ノ場合ヲ謂フ

附 則

本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

道路工事費受益者負擔申告書

- 一、工 事 名 (例) 古町五番町道路改築工事)
 - 一、土地ノ表示 (例) 古町五番町何番地宅地)
 - 一、土地所有者住所氏名
 - 一、土地ニ對スル權利ノ種類及權利者住所氏名
 - 一、權利設定ノ日 年 月 日
 - 一、權利存續期間 箇 年
- 右土地ニ關スル受益者負擔金ハ所有者(權利者)ヨリ納付可致候條新潟

市道路工事費受益者負擔規程施行細則第五條ニ依リ此段及申告候也

年 月 日

住 所	住 所
土地所有者 何	權利者 何
某團	某團

新潟市 長宛

(第二號様式)

道路工事費受益者負擔金減額(免除)願

- 一、工 事 名
 - 一、土地ノ表示
 - 一、費用負擔者住所氏名
 - 一、負擔金減額(免除)ノ事由
- 右土地ニ付キ前記ノ事由有之候ニ付道路工事費受益者負擔規程第七條第二項(第八條)ノ規定ニ依リ相當減額(免除)相成度此段願上候也
- 年 月 日

住 所

費用負擔者 何	某團
---------	----

新潟市 長宛

(第三號様式)

道路工事費受益者負擔金分納願

- 一、工 事 名
- 一、土地ノ表示

ル者トス

當該工事ヲ施行セル區間ニシテ工事施行區間ニ介在又ハ接續シ市長ニ於テ當該工事ニ依リ利益ヲ受クルモノト認ムルトキハ其ノ區間ノ土地所有者ハ之ヲ沿道ノ土地所有者ト看做ス

數線若クハ二種以上ノ工事ニ互ル場合ト雖モ利用上密接ノ關係アルモノハ之ヲ一工事區間又ハ一工事トナスコトアルヘシ

第三條 前條ニ依ル受益者ノ負擔スヘキ工事費ハ道路及其ノ附屬物ノ新設改築又ハ路面鋪裝工事費トス

第四條 沿道土地所有者ノ負擔金ハ工事費ノ拾分ノ五以内トシ其ノ半額ハ沿道間口ノ長サニ他ノ半額ハ當該道路中心線ヨリ其ノ路面有效幅員參倍ノ地域ノ面積ニ比例シ負擔セシム但シ附近ノ地形土地ノ利用ニ厚薄アル場合其ノ他特種ノ事情ノ存スルモノハ其ノ實況ヲ斟酌シテ負擔金ヲ定ム

第五條 特別ノ事由ニ依リ必要アルトキハ工事費ノ内道路用地ノ有償取得ニ要スル費用ニ限リ前條ノ方法ニ依リ土地所有者ニ負擔セシム但シ道路用地ノ幅員十二米突ヲ超ユルモノノ超過額ニ就テハ此ノ限リニ在ラス

第六條 國縣市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル工事費ノ負擔金ヲ徴收セス

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ境内地、學校敷地、墳墓地、其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ前項ヲ準用ス

前項ノ場合ト雖モ有料借地又ハ他ノ目的ノ爲使用スルモノハ此ノ限リニ在ラス

第七條 倉庫業者、運送業者其ノ他道路ノ工事ニ依リ利益ヲ受クル者

新潟市 長宛

三 和歌山市道路工事費特別負擔金徵收規程

收規程

(昭和二年八月一日公布)

第一條 道路ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者若クハ特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其ノ工事費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 道路法第三十九條ニ基キ負擔ヲ爲ス可キ者ハ工事區間ノ沿道土地所有者又ハ倉庫業者運送業者其ノ他道路ノ工事ニ依リ利益ヲ受ク

道路法ニ依ル受益者負擔規程

ノ負擔金ハ當該工事費ノ三分ノ一以内ニ於テ市長之ヲ定ム
 第八條 第四條及第七條ノ負擔金ヲ同時ニ負擔スル場合ハ其ノ總額ハ當該工事費ノ拾分ノ六ヲ起スルモノトス
 第九條 負擔金ハ工事着手ノ日ノ受益者ヨリ之ヲ徵收シ決算額カ豫算額ニ比シ差異ヲ生シタル場合ハ精算後追徴又ハ還付スルコトアルヘシ但シ數年ニ亘ル繼續工事ニ在リテハ毎年度ノ工事費ヲ其ノ年度工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ又當該年度ニ於テ用地買收費土地物件補償費若クハ雜費ノミヲ支出スル場合ハ別ニ指定スル日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ徵收ス

第十條 道路法第四十條ニ基キ道路ノ修繕ニ要スル費用ハ運送業者、倉庫業者、其ノ他若シテ道路ヲ損傷スヘキ事業ヲ營ム者又ハ現ニ事業ノ爲道路ヲ損傷セシメタル特定人ヲシテ工費ノ三分ノ二以内ノ金額ヲ限リ負擔セシムルコトアルヘシ

第十一條 前條ノ費用ヲ負擔スヘキ者二人以上アル場合ハ市長ニ於テ其ノ損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ狀態ヲ考察シ之カ分擔額ヲ定ム
 第十二條 負擔金ハ一時ニ之ヲ納付セシム但シ時宜ニ依リ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第十三條 工事ノ上道路用地若クハ金員等ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ負擔額ヲ減免スルコトヲ得但シ市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテモ亦同シ

第十四條 本規程ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔金ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ權利者永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ永小作權者事業着手ノ日ヨリ起算シ存續期間十年以上ノ地上權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者ヨリ徵收ス同一土地

四分ノ二以内ヲ四間未滿ハ四分ノ一以内ヲ五間未滿ノ部分ハ八分ノ一以内ヲ減額ス但シ後方接續地ト所有者又ハ規程第十四條ニ謂フ權利者ヲ同フスルモノ其ノ他特別ノ利益アリト認ムルモノハ此ノ限リニ在ラス

四、路面ニ對シテ土地ノ高低ノ差一間以上ニシテ宅地其ノ他ニ利用シ得サル部分ハ間口負擔ノ全額ヲ免除シ面積負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額シ宅地其ノ他ニ利用シ得ル部分ハ間口負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額ス

規程第九條ニ依リ精算後追徴又ハ還付ヲ要スルコトキハ工事竣成後ノ土地、賃賃價格ヲ斟酌シ受益ノ厚薄ニ依リ負擔金ノ増減ヲナスコトアルヘシ

道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ耕地整理法又ハ之ニ準據シ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用スルコトキハ其ノ整理施行地區内ノ土地所有者ニ對シテハ負擔金ヲ免除ス規程第七條第十條ニ依リ工事費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ運搬量及車籍所在地ヲ斟酌シテ負擔金ヲ定ム

前各項ノ外特ニ斟酌スルノ要アリト認メラルルモノニ對シテハ其ノ都度測定スルモノトス
 第五條 受益者ハ負擔金ヲ指定ノ期限内ニ納額告知書ニヨリ納付スヘシ

負擔金納付ヲ督促シタル場合ニ於テ指定ノ期限内ニ納付セサルコトキハ負擔金壹百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ負擔金完納ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル増負擔金ヲ徵收ス
 第六條 費用負擔義務者ニ對シ其ノ關係路線工事ニ因リ土地代金及地上物件移轉料其ノ他金員ヲ市ヨリ交付スヘキ場合ハ負擔金ト相殺ス

ニ付所有權以外ノ前項ノ權利二個以上存スルコトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸着スルモノヲ以テ權利者トス
 第十五條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ市長之ヲ定ム
 附 則
 本規程ハ公布ノ日ノ屬スル年度ヨリ之ヲ施行ス

和歌山市道路工事特別負擔金徵收規程施行細則

(昭和三年十月十日和歌山市
 昭和四年十一月一日改正)

第一條 本細則ハ道路工事費特別負擔金徵收規程(以下規程ト略稱ス)第十五條ニ依リ規定ス

第二條 規程ノ工事費トハ道路用地費(地上物件、補償費ヲ含ム)土木工事費(材料費、工費、用具費ヲ含ム)ノ豫算高ヲ謂フ

第三條 規程第四條ノ土地ノ面積及間口ハ土地臺帳並登記簿及測量面ヲ參酌シ之ヲ決定ス但シ土地ノ一部ヲ負擔金賦課ノ目的トスル場合其ノ他事故ニ因リ土地臺帳等ニ依ルコト能ハサルコトキハ實地調査其ノ他適當ト認ムル方法ニ依リ其ノ面積及間口ヲ査定スルモノトス

第四條 負擔金ハ左ノ標準ニ依リ實況ヲ斟酌シテ定ムルモノトス
 一、河川運河等土地ノ利用ヲ區分スト認メラルル地物ニ隔絶セララル土地ニ對シテハ其ノ負擔金ヲ免除ス
 二、效用同等以上ト認メラルヘキ並行道路カ規程第四條ニ係ル地域ノ二以倍内ニアリタルコトキハ其ノ道路中間隔ノ中央線ヲ越ユル土地ニ對シ其ノ負擔金ヲ免除ス

三、道路境界ヨリ奥行一間未滿ノ部分ハ間口負擔ノ四分ノ三以上ヲ奥行二間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ三以内ヲ三間未滿ノ部分ハ其ノ

但シ過下足アルコトキハ交付又ハ徵收ス

前項ノ交付スヘキ金額ト負擔金ト相殺スコト能ハサル事情アリト市長ニ於テ認メタル者ニ對シテハ其ノ一部ヲ相殺スルモノトス

第七條 負擔金ハ特別ノ事情アリト認ムルモノニ限リ負擔金告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ分納申請書ヲ提出スルコトキハ左ノ方法ニ依リ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

一、負擔金ノ多寡ニ應ジ工事着手ノ年度ヨリ起算シ三ヶ年度以内ニ分納

二、分納負擔金ハ増金ト共ニ毎年二月、五月、八月、十一月ノ四回ニ分テ各月末日之ヲ徵收ス但シ初回ニ限リ臨時徵收スルコトアルヘシ

三、分納金ニ對シテハ決定通知ノ日ヨリ起算シ壹百圓ニ付日歩貳錢ノ割合ヲ以テ増負擔金ヲ一時ニ前納セシム

四、負擔金ニ相當ト認ムヘキ擔保ヲ提供セシム其ノ擔保ハ市長ニ於テ確實ト認メタル有價證券及土地建物トス但シ市長ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認メタル者三名以上ノ保證人アルモノハ此ノ限リニ在ラス

第八條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルコトキハ其ノ許可ヲ取消シ未納額ハ一時ニ之ヲ徵收ス

一、破産ノ宣告ヲ受ケタルコトキ又ハ法人ニシテ解散シタルコトキ
 二、督促狀指定ノ納期迄ニ納付セサルコトキ
 三、擔保物件ノ減損其ノ他ノ事由ニ依リ更ニ増擔保又ハ保證人ノ變換ヲ必要トスル場合ニ之カ増額又ハ變換ニ應セサルコトキ

第九條 受益者ニ移動ヲ生シタルコトキハ新舊受益者連署ヲ以テ遲滞ナク其ノ旨ヲ市長ニ申告スヘシ

第十條 工事着手日決定シタルトキハ之ヲ告示ス

附 則

本細則ハ公布ノ日ノ屬スル年度ヨリ之ヲ施行シ規程公布以後本細則公布前施工ニ係ル工事ハ公布ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

三 丸龜市道路工事費負擔規程

(昭和三年十月十三日 規程第五十八號)

第一條 道路法第三十九條第四十條ニ基キ受益者又ハ特ニ道路ノ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ營ム者ヲシテ本規程ニ依リ道路工事費ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 道路法第三十九條ニ基キ負擔ヲ爲スヘキ者ハ新設又ハ擴張スヘキ道路ノ兩側ニ於テ各與行式拾間ノ地域内ニアル土地ノ所有者トス但シ工事着手ノ日ヨリ起算シ拾年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人又ハ賃借人並ニ土地所有者ヲ費用負擔者トス

第三條 國又ハ公共團體ニ對シテハ負擔金ヲ課セス 神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所構内地、學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ受益者ニ對シテハ負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 道路ノ片側ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ當該工事費ノ四分ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ 市長公適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタルモノニ對シテハ亦同シ

第十條 第六條ノ負擔金ニ付テハ毎年四月一日現在ノ當該規程ニ該當スル者ヨリ其ノ他ノ負擔金ニ付テハ工事着手ノ日ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム

第十一條 新ニ第六條ノ事業ヲ開始シタル者アリタルトキハ其ノ事業開始ノ日ヨリ前條ノ規定ニ準シ負擔金ヲ納付セシム

第十二條 負擔金ハ毎年度工事費豫算額ニ依リ之ヲ納付セシム 前項ノ負擔金カ工事費精算額ニヨリ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 工事着手ノ日及負擔金徵收期ハ市長之ヲ告示ス但シ鋪裝工事ニ依ル負擔金ハ壹ケ年第六條及其ノ他ノ負擔金ニ付テハ五ケ年以内ノ期間ニ於テ分納ヲ許スコトアルヘシ

第十四條 受益者ニ異動アリタルトキハ其權利ノ取得者ヨリ負擔金ヲ徵收ス但シ滞納金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附 則 丸龜市道路工事費負擔規程施行細則

第一條 本細則ニ規程ト稱スルハ道路工事費負擔規程ヲ謂フ 第二條 規程ニ於ケル工事費トハ工事及之ニ伴フ事務費ヲ謂フ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

一 以内ニ於テ市長之ヲ定ム

第五條 各受益者ニ對スル負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム 一、道路新設擴張工事ノ場合ニ在リテハ第二條ノ地域ノ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ路線ニ併行シテ一個又ハ數個ノ地帯ニ分チ各地帯ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ其地帯及率ハ市長之ヲ定ム

二、道路、鋪裝工事ノ場合ニアリテハ前條ノ負擔額ノ半額ハ工事ヲ爲スヘキ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ第二條ノ地域内ノ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

第六條 倉庫業者運送業者其他特ニ道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於テ其事業ニ付必要ナリト認ムル區域内ニ於ケル修繕費ノ三分ノ二以内ヲ負擔セシム

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ 一、同一ノ土地ニシテ第二條ノ規程ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキトキ

二、附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ 第八條 第三條又ハ第七條ノ規程ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトアルモ之カ爲他ノ受益者ニ對スル負擔額ハ之ヲ增加セス

第九條 工事ニ要スル費用又ハ土地ヲ寄附シタルモノニ對シテハ其ノ第三條 道路幅員ハ有効幅員ニ依ル 第四條 規程第五條ノ土地ノ面積ハ公簿面積ニ依ル但シ一部ニ負擔ヲ課スルトキハ實測面積ニ依ル

第五條 道路ノ兩側ノ間當及坪當負擔ハ其ノ各別ニ算出シタル金額ノ内少額ナルモノニ依ル但シ其ノ兩側カ規程第四條ノ負擔額ヲ異ニスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 負擔金ノ減免ハ左ノ區別ニ依ル 一 規程第七條第一號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ輕キ負擔金ヲ免除ス

二 河川、運河等土地ノ利用ヲ區分スト認メラルル地物ニ隔絶セラレタル土地ニ對シテハ其ノ負擔金ヲ免除ス

三 効用同等以上ト認メラルヘキ並行道路カ規程第二條ニ規定セル地域ノ二倍以内ニアリタルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ越ユル土地ニ對シ其ノ負擔金ヲ免除ス

四 後方接續地ト所有者又ハ規程第二條ニ謂フ權利者ヲ異ニスル土地ニ在リテハ道路境界ヨリ與行一間未滿ノ部分ハ間口負擔ノ金額ヲ免除シ與行二間未滿ノ部分ハ其ノ二分ノ一以内ヲ與行三間未滿ノ部分ハ其ノ四分ノ一以内ヲ減額ス

五 路面ニ對シ土地ノ高低ノ差一間以上ニシテ宅地其ノ他ニ利用シ得サル部分ハ間口負擔ノ全額ヲ免除シ面積負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額ス但シ宅地其ノ他ニ利用シ得ル部分ハ間口負擔ノ二分ノ一以内ヲ減額ス

六 前各號ニ該當セサルモ特ニ斟酌スルノ要アリト認メラルモノニ對シテハ其ノ都度減免額ヲ定ム

- 第八條 負擔金ノ分納ヲ許ス場合ニ於テハ其ノ納付期日ハ毎年二月末日及八月末日トス但シ第一回分納金ノ納付期日ハ隨時之ヲ定ム
- 第九條 受益者ニ異動アリタル場合ハ其ノ登記ヲナシタル日ヨリ十日以内ニ當事者連署ノ上申告スヘシ
- 第十條 負擔金ヲ課スヘキ道路工事ノ種類、施行區域、豫算額、負擔地域及地帯ハ之ヲ告示ス
- 第十一條 工事費精算額ハ其ノ都度之ヲ告示ス

附 則

本細則ハ道路工事費負擔規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三七 高知市道路工事受益者負擔規程

(昭和三年五月三日告示)

- 第一條 道路ノ新設又ハ擴張工事ニ因リ利益ヲ受クル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ノ一部ヲ負擔スヘシ
- 第二條 本規程ニ依リ費用ヲ負擔スルハ左記各號ニ該當スルモノヲ謂フ
 - 一 新設又ハ擴張ノ道路ヲ占用又ハ使用スル鐵道又ハ軌道營業者及電氣事業者
 - 二 新設又ハ擴張スヘキ道路ノ兩側ニ於テ各其ノ新設又ハ擴張スヘキ幅員ノ二倍ノ地域内ニアル土地ノ所有者但賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權永小作權又ハ賃貸借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作權者又ハ賃借權者
 - 三 同一ノ土地ニ付前號但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後

敷地又ハ工事費等ヲ寄附シタル者若ハ其權利ヲ承繼シタル者

四 前各號ノ外特ニ市長ニ於テ必要ト認メタルモノ

第八條 國府縣町村其他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ負擔セシメサルコトアルヘシ

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地教會所説教所ノ構内内地學校敷地其他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 第二條第二號ノ規程ハ前條第二項但書ニ該當スル他ノ目的ノ爲ニ使用セシムル場合ニ之ヲ準用ス

前二條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトアルモ他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ増加セス

第十條 負擔金ハ一時ニ之ヲ納付セシム但場合ニ依リ二ケ年以内ニ分納セシムルコトヲ得

第十一條 本規程ノ施行ニ關スル細則ハ市長別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高知市道路工事受益者負擔規程施行細則

(昭和三年五月三日告示)

- 第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ道路工事受益者負擔規程ヲ謂フ
- 第二條 負擔金ヲ負擔セシムヘキ道路工事ハ市長之ヲ告示ス
- 第三條 工事費トハ用地費、物件移轉費補償費築造費及工事ニ伴フ一切ノ費用ヲ合算シタルモノヲ謂フ
- 第四條 存續期間ノ定メナキ地上權永小作權又ハ賃借權ハ法定ノ存續

道路法ニ依ル受益者負擔規程

ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者

第三條 受益者負擔義務ノ開始ハ前條第一號ノ場合ニ在リテハ鐵道又ハ軌道ノ敷設若ハ電柱建設ノ爲道路ノ占用ヲ許可シタル日第二號第三號ノ者ニ在リテハ道路工事着手ノ日トス

第四條 受益者ノ負擔スヘキ金額左ノ如シ

- 一 鐵道又ハ軌道營業者ハ工事費ノ十分ノ二
- 二 電氣事業者ノ建設スル木材ノ電柱及支柱又ハ支線ハ各一本ニ付金五圓、鐵材混凝土等ノ電柱及支柱及支線並ニ鐵塔ハ各一個ニ付金十圓

三 沿道受益者ハ其ノ工事費ノ十分ノ五

第五條 前條第一號及第三號ニ依ル負擔金ノ計算ハ豫算費用ニ依ルモノトス

第六條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ一個又ハ數個ニ區分シテ負擔區トナシ當該區分内ノ工事費ニ付其ノ負擔額ヲ定ム
- 二 沿道受益者負擔ノ内半額ハ路線ニ接スル土地ノ長サニ比例シ半額ハ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

三 同一ノ土地ニ對スル土地所有者ト他ノ權利者トノ負擔歩合ハ當事者ノ協定ニ依ル協定不調ノ場合ハ市長之ヲ定ム

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ在ル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

- 一 沿道土地ニシテ二路線以上ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノ
- 二 沿道土地ニシテ著シク狭小ナルモノ並ニ附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スルノ必要アルモノ

期間ヲ以テ其ノ存續期間ト看做ス

第五條 規程第三條ノ道路工事着手ノ日トハ工事ヲ開始シタル日ヲ謂ヒ市長之ヲ告示ス

第六條 規程第七條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免スルコト左ノ如シ

一 間口一間半未満又ハ奥行平均三尺未満ノ土地、特ニ貧困ニシテ實際負擔力ナシト認ムル者、若クハ所有者或ハ權利者ノ所在不明其他ノ事由ニ依リ負擔義務者ヲ確認シ難キ場合ハ免除ス

二 間口一間半以上三間未満ニシテ面積六坪未満又ハ奥行平均三尺以上一間未満ノ土地ニ對シテハ半減ス

三 同一年度ニ於テ重複シテ負擔スヘキ土地ニ對シテハ面積ニ對スル負擔額ノ内其ノ大ナル額ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額ニ相當スル金額ヲ減額ス

四 路肩ト六尺以上高低アル土地ニ對シテハ路肩ト同高トナスニ要スル費用ニ相當スル金額ヲ減額ス但其ノ費用ハ市長ノ認定ニ依ル

五 敷地費又ハ工事費用等ヲ附シタル者若クハ其權利ヲ承繼シタル者ニ對シテハ寄附額ニ相當スル金額ヲ減額ス但物件ヲ寄附シタル場合ニ於テハ其ノ價額ハ市長ノ認定ニ依ル

六 前各號ノ外特ニ市長ニ於テ必要ト認メタルモノ

第七條 費用負擔義務者ニ對シ其ノ關係道路工事ニヨリ用地費物件移轉費又ハ補償費ヲ交付スヘキ場合ハ負擔金ハ其對當額ヲ相殺ス

第八條 同一ノ道路工事ニ因ル負擔金百圓以上ナルトキハ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ負擔金納額告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ負擔金ノ半額以上ニ相當スル擔保ヲ提供シ分納額ヲ提出スヘシ但市ニ居住シ相當資力アル者ニシテ市

- 長ノ承認スル保證人ヲ以テ擔保ニ代フルコトヲ得
- 第十條 前條擔保ノ種類ハ市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券土地又ハ火災保險ヲ附シアル建物ニ限リ其ノ價額ハ市長ノ認定ニ依ル
- 第十一條 負擔金納入義務者其住所若クハ氏名ヲ變更シタルトキハ其者ヨリ死亡シタルトキハ相續人ヨリ其旨遲滞ナク届出ヘシ
- 第十二條 新ニ發生シタル事實ニ依リ規程第七條ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケムトスルトキハ遲滞ナク其ノ事實ヲ具シ願出ヘシ
- 第十三條 規程第二條第二號ノ土地所有者ハ通知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ請書ヲ提出スヘシ
- 第十四條 規程第二條但書ノ權利ニシテ未登記ナル場合ハ前條請書提出ト同時ニ權利者ト連署ヲ以テ届出ヘシ
- 第十五條 負擔金分納ニ付テハ本細則ニ定ムルモノノ外相續稅法施行規則第十七條乃至第二十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第十六條 負擔金ノ徵收ニ付テハ市制町村制施行同第四十四條及第四十六條乃至第五十三條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本細則ハ規程施行ノ日ヨリ施行ス

二六 甲府市道路工事費受益者負擔ニ關スル規程

(昭和三年九月十八日 市告示第百三十一號)

- 第一條 道路法第三十九條ニ依リ道路及其ノ附屬物ノ新設擴張又ハ舗裝等ニ關スル工事ニ依リ著シク利益ヲ受ケル地域ノ土地所有者並其ノ權利者ハ工事費ノ一部ヲ負擔スヘシ負擔ヲ課スヘキ路線名其ノ區域及工事種類ハ市長之ヲ告示ス
- 第二條 本規程ニ於テ地域ト稱スルハ道路ノ新設擴張又ハ舗裝工事ノ

- 一 負擔金ハ第二條ノ地域ニ對シ其ノ二分ノ一ヲ其ノ兩側ノ道路ニ面接セル間口ノ長サニ比例シ他ノ二分ノ一ハ當該道路ノ境界線ヲ基點トシテ兩側土地ノ面積ニ比例シ之ヲ配分ス
- 二 但シ河川溝渠道路等ニ接スル場合ハ其ノ區域ヲ變更スルコトヲ得
- 三 同一ノ土地ニシテ本規程ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキ場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得
- 四 擴張工事ニシテ其ノ工事ヲ片側ニ於テノミ施行スル場合ハ其ノ工事ヲナス片側ニ於ケル負擔額ヲ減額シ之ヲ他ノ片側ニ増額負擔セシムルコトヲ得
- 五 擴張工事ニ依リ新ニ道路ニ面接スル土地ニ對シテハ通常負擔額ノ二分ノ一迄ヲ増加シ其ノ金額ハ他ノ片側ノ負擔額ヨリ減スルコトヲ得
- 六 道路ニ沿フ既設側溝ヲ改築スル爲道路ノ幅員ヲ増加スルトキハ道路擴張工事ト看做ス但シ片側ノミ改築シタル場合ハ其ノ側溝ニ沿フ片側ノ負擔額ヲ通常負擔額ノ二分ノ一迄増加シ他ノ片側ノ負擔額ヨリ之ヲ減スルコトヲ得
- 七 擴張工事ニシテ既設ノ道路平均有効幅員ノ三倍以上ニ幅員ヲ擴張スルモノハ之ヲ新設工事ト看做シ路面舗裝ニシテ週期的ニ施行スル大修繕若ハ舗裝材料ヲ更新スル工事ハ之ヲ舗裝工事ト看做ス
- 第八條 附近ノ狀勢土地利用ノ狀況其ノ他特別ノ事由ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ市長ニ於テ負擔金ヲ免除シ又ハ減額スルコトヲ得
- 第九條 國又ハ公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル工事費ノ負擔金ヲ徵收セシム但シ有租地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

- 兩側ニ於テ市街形成地ノ場所ハ其ノ計畫道路ノ幅員ノ五幅以内其ノ他ノ場所ハ幅員ノ十倍以内ヲ謂フ但シ側溝工事ニ在リテハ其ノ側溝線トス
- 第三條 本規程ニ於テ權利者ト稱スルハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者並十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權永小作權、及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人ヲ謂フ但シ工事竣功ノ日ヨリ起算シ權利殘存期間三年未滿ノモノハ此限ニ在ラス
- 他人ノ土地ニ建物ヲ所有スルモノハ前項ノ但書ニ拘ラス工事竣功ノ日ヨリ起算シ權利殘存期間三年以上ノ地上權又ハ賃借權ヲ有スル者ト看做ス但シ永久性ヲ帶ヒサル建物若ハ特別ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 同一土地ニ付所有權以外ノ第一項ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ獲得セル權利ノ歸屬者ヲ以テ權利者ト看做ス
- 第四條 本規程ニ於テ工事費ト稱スルハ第一條ノ工事ニ要スル敷地買收費、地上物件移轉費、補償費、土木工費其ノ他之ニ關聯スル一切ノ費用ヲ謂フ
- 第五條 各種工事費ニ對スル受益者ノ負擔スヘキ割合ハ道路新設ノ場合ハ總工費ノ三分ノ二以内舗裝、擴張ノ場合ハ其ノ總工費ノ二分ノ一以内側溝ノ場合ハ三分ノ一以内ニ於テ市長各其ノ負擔額ヲ定ム
- 第六條 第三條第一項ノ場合ニ於テ其ノ權利殘存期間三年以上五年未滿ノモノ及同條第二項ノ場合ニ在リテハ受益者ノ負擔額ヲ土地所有者ニ二分ノ一以上其ノ權利者ニ二分ノ一以内ヲ負擔セシム
- 第七條 第一條ニ依ル各受益者負擔額ハ左ノ各號ニ依リ市長之ヲ定ム
 - 一 土地ノ狀況ニ依リ一箇所又ハ數箇所ニ負擔區ヲ定メ各負擔區ニ負擔金ヲ適當ニ配分ス

- 土地所有者若ハ權利者ニ對シテハ前項ヲ準用ス
- 前項ノ場合ト雖モ有料貸地又ハ他ノ目的ニ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第十條 第七條第三號第八條第九條ノ規定ニ依ル負擔金ノ減免額ハ之ヲ他ノ受益者ニ負擔セシメサルモノトス
- 第十一條 第八條第九條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ減免セラレタル土地ニシテ工事竣功後五年以内ニ減免シタル事由消滅シタル場合ハ其ノ負擔金ヲ追徵スルコトアルヘシ
- 第十二條 負擔金ハ工事費精算額ニ依リ工事竣功ノ日ニ於ケル土地所有者及其ノ權利者ニ負擔セシムルモノトス但シ負擔金納付前ニ於テ其ノ義務者ニ異動アリタルトキハ其ノ權利繼承者ニ之ヲ納付セシム
- 第十三條 工事竣功ノ日ハ其ノ都度之ヲ告示シ負擔金ハ一時ニ之ヲ納付セシム但シ時宜ニ依リ分納ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第十四條 前項但書ノ場合負擔義務者ニ移動アリタルトキハ其ノ權利繼承者ニ殘額ヲ納付セシム
- 第十五條 第一條ノ工事ニ付土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ニ應ジ本規定ニ依ル負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ市長ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテモ亦同シ
- 第十六條 負擔金ノ徵收ニ付テハ本規程ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外大正十五年六月勅令第二百一號市制町村制施行令中市町村稅徵收ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第十七條 本規程施行ニ關シ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 三 長崎市有地
- 四 墓地
- 五 其他市長ニ於テ指定スル土地
- 第十條 左ニ掲タル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 同一ノ土地ニシテ二線以上ノ道路ニ面シ其ノ工事費ヲ負擔スヘキ地域ニ該當スルトキ
 - 二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキ
 - 三 道路工事費ヲ補足スルタメ土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタルトキ
 - 四 道路法第二十四條ノ規定ニヨリ工事ヲ執行シタルトキ
 - 五 都市計畫法ニ基キ定メタル規定ニ依リ其ノ費用ヲ負擔シタルトキ
- 第十一條 前二條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ課セス若ハ減免スルコトアルモ之カ爲他ノ土地権利者ノ負擔金ヲ増減スルコトナシ
- 第十二條 負擔金ヲ課セス又ハ減免シタル土地ニシテ工事着手ノ日より起算シテ五ヶ年以内ニ其ノ事由消滅シタル場合ニ於テハ負擔金ヲ追徴スルコトアルヘシ
- 第十三條 負擔金ハ毎年度工事費豫算額ニ依リ之ヲ二期ニ分チテ徵收ス
- 第十四條 前項ノ負擔金カ精算額ニヨリ算出シタル負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十五條 工事ノ場所種類區域負擔地域並工事費豫算額負擔額及工事着手ノ日ハ豫メ市長之ヲ告示ス

- 五ヶ年ヲ經過セサル場合ニ限ル
- 第二號ニ該當スル場合
 - 一等百分ノ百
 - 二等百分ノ九十五
 - 三等百分ノ九十
 - 四等百分ノ八十五
 - 五等百分ノ八十
 - 六等百分ノ七十五
 - 七等百分ノ七十
 - 八等百分ノ六十五
 - 九等百分ノ六十
 - 十等百分ノ五十五
 - 十一等百分ノ五十
 - 十二等百分ノ四十五
 - 十三等百分ノ四十
 - 十四等百分ノ三十五
 - 十五等百分ノ三十
 - 十六等百分ノ二十五
 - 十七等百分ノ二十
 - 十八等百分ノ十五
 - 十九等百分ノ十
 - 二十等百分ノ五
- 間口負擔總額ヲ間口總間數面積負擔總額ヲ總面積ニ依リ除シタル額ヲ以テ各其ノ標準額トシ左記地位率ヲ定メ受益ノ程度ヲ斟酌シテ一筆毎ニ等級ヲ付シ標準額ニ對スル差額ヲ減額ス
- 第一號ニ該當スル場合
 - 一等百分ノ百
 - 二等百分ノ九十五
 - 三等百分ノ九十
 - 四等百分ノ八十五
 - 五等百分ノ八十
 - 六等百分ノ七十五
 - 七等百分ノ七十
 - 八等百分ノ六十五
 - 九等百分ノ六十
 - 十等百分ノ五十五
 - 十一等百分ノ五十
 - 十二等百分ノ四十五
 - 十三等百分ノ四十
 - 十四等百分ノ三十五
 - 十五等百分ノ三十
 - 十六等百分ノ二十五
 - 十七等百分ノ二十
 - 十八等百分ノ十五
 - 十九等百分ノ十
 - 二十等百分ノ五
- 河川堤塘、溝渠、道路、崖岸、鐵道軌道等ニ隔絶セラレ道路ヲ利用スルコト極メテ尠シト認ムル土地ハ等外トシ負擔金ヲ免除ス
- 第三號ニ該當スル場合
 - 其ノ寄附額
- 第四號ニ該當スル場合
 - 其ノ工事費
- 第五號ニ該當スル場合
 - 其ノ負擔金額
- 第五條 各土地権利者ノ負擔金ヲ決定シタルトキハ豫メ納入義務者ニ通知ス其ノ徵收ハ一般市税ノ例ニ依ル

各土地権利者ノ負擔金額及徵收ノ時期ハ市長之ヲ定ム

第十五條 市長ハ道路工事受益者負擔ニ關スル事項ヲ審査セシムル爲委員會ヲ設ク

第十六條 審査委員會委員ハ土工建築臨時委員ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 審査委員會長ハ市長ノ諮問ニ應スルモノトス

第十八條 長崎市都市計畫事業トシテ執行スル道路工事ニ付テハ本規程ヲ適用セス

第十九條 本規程施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ昭和三年度以降ノ道路工事ニ之ヲ適用ス

長崎市道路工事費受益者負擔規程細則

第一條 本則ニ於テ規程ト稱スルハ長崎市道路工事費受益者負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程ニ依リ工事費ノ一部ヲ受益者ニ負擔セシムル場合左ノ如シ

一 工事費豫算額壹千圓以上ナルトキ但シ繼續工事ノ場合ハ各年度ヲ通シ一廉ト看做ス

二 橋梁ノ工事ニ在リテハ新設又ハ六尺未満ノ二間以上ニ改築シタル場合ニ於テ工事費豫算額壹千圓以上ナルトキ

第三條 規程第八條第一項ノ土地ノ面積ハ土地臺帳面積ニ依ル但シ一筆ノ土地ノ一部ニ負擔金ヲ課スル場合ハ實測面積ニ依ル

同第八條第二項ノ橋梁ノ複工事ニハ其ノ附帶工事ヲモ包含ス

第四條 規程第十條ノ規程ニ依ル負擔金ノ減免ハ左ノ標準ニ依ル

第一號ニ該當スル場合

重複シタル部分ニ對シテハ其ノ輕キ方ノ負擔金ヲ免除ス但シ負擔後

第六條 規程第十三條第二項但シ書ノ適用ハ五拾錢未満ノ場合ニ限ル

第七條 負擔金納入義務者住所ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ死亡シタルトキハ其ノ相續者ヨリ還滞ナク其ノ旨届出ツヘシ

附 則

本細則ハ昭和三年度以降ノ道路工事ニ之ヲ適用ス

三 若松市(福岡縣)道路工事費負擔規程

(昭和四年七月五日)
(告示第四十七號)

第一條 道路法第三十九條第四十條ニ依リ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 道路法第三十九條ニ依リ沿道受益者ニ工事費ヲ負擔セシムル場合ニ於ケル負擔金ハ道路ノ兩側各與行拾五間以内ノ地域内ノ土地所有者ニ之ヲ賦課ス但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者ニ賦課ス

工事着手ノ日より起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作權者又ハ賃借權者ヲ以テ費用負擔者トスルコトヲ得

土地ノ狀況又ハ路線及工事ノ種類ニ依リ必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規程ニ拘ハラズ負擔地域ヲ増減シ又ハ別ニ負擔地域ヲ定ムルコトアルヘシ

前項ニ依リ負擔ヲ増減シ又ハ別ニ負擔地域ヲ定メタルトキハ其ノ都府市長之ヲ告示ス

第三條 沿道受益者ニ工事費ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ受益者ノ負擔スヘキ金額ハ其ノ工事費ノ十分ノ三以内ニ於テ其ノ都府市長之ヲ

告示ス

前項ノ工事費トハ敷地買収費、物件移轉費、補償費、土木工費、監督費其ノ他工事施行ニ要スル一切ノ費用ヲ積算シタルモノトス

第四條 各受益者ノ負擔額ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム
一 負擔金ノ半額ヲ路線ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ配分ス

二 第二條第三項ノ規程ニ依リ著シク負擔地城ヲ増大スル場合ニ於テハ路線ニ並行シテ個數ノ地帯ヲ割リ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一定ノ率ヲ以テ負擔金ヲ配分シ更ニ路線ニ接スル地帯ニ在リテハ前號ヲ適用シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ配分ス前項第二號ノ一定ノ率ハ其ノ都府市長之ヲ告示ス

第五條 倉庫業者運送業者自動車業者製造業者其他道路工事ニ依リ著シク利益ヲ受クルモノアルトキハ前數條ノ規程ニ拘ハラヌ當該工事費ノ十分ノ二以内ヲ負擔セシム

第六條 道路法第四十條ニ依リ倉庫業者運送業者自動車業者製造業者等ニシテ特ニ路面ヲ損傷セシムヘキモノト認ムル者ニ對シテハ道路ノ維持又ハ修繕ノ費用ノ十分ノ三以内ヲ負擔セシム

前項及第五條ニ依ル負擔金及受益者ノ分擔額ハ事業ノ種類ヲ考量シテ市長之ヲ定ム

第七條 市制第二百二十一條ニ依リ市稅ヲ課賦セサルモノニ對シテハ負擔金ヲ課賦セサルコトアルヘシ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

- 一 同一土地ニシテ二以上ノ路線ニ沿フトキ
- 二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スルノ必要アルトキ

前項ノ境界線ニ側薄ノ設ケアルトキハ道路對側端ヨリ街角ヲ剪除シタル場合ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ延長線ヨリ之ヲ測定ス

第四條 同一路線ノ延長長キキ亙リ滑道ノ受益ニ著シキ厚薄ヲ生スル如キ場合ニ於テハ之ヲ數區ニ區別シ各區別毎ニ工事費負擔地城及負擔金額ヲ定ム

第五條 滑道土地所有者ハ規程第一條第二項ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ第一號様式ニ依リ申告書ヲ提出スヘシ

第六條 前條申告書ノ提出ヲ怠リタルトキ又ハ申告事項ニシテ事實ト相違スト認ムルトキハ市長之ヲ査定ス

第七條 規定第七條第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケムトスルモノハ規定第十三條ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ第二號様式ニ依リ其ノ事實ヲ詳具シ願出スヘシ

前項期限後當該工事竣功ノ日迄ノ間ニ於テ新ニ發生シタル事實ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケムトスルトキ又ハ減免事由ニ異動ヲ生シタルトキハ遅滞ナク其ノ事實ヲ詳具シ願出スヘシ

第八條 規程第八條第一項第三號ノ場合ニ於ケル土地物件及勞力ハ市長ノ認ムル價格ニ換算シ減免額ヲ定ム

第九條 規定第十一條ニ依リ負擔金ノ分納ヲ許可スル場合ハ左記ニ依ル

- 一 負擔金五拾圓以上參百圓未満ナルトキ 一年半以内
- 二 負擔金參百圓以上ナルトキハ 三年以内
- 三 當該工事ノ爲買収シタル土地代金ノ交付ヲ受クル者ニ對シテハ其ノ交付金ノ限度ヲ超ニタル部分ニ付第一號又ハ第二號ヲ適用ス

第十條 負擔金分納ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ負擔金ノ半額以上ニ相當スル擔保ヲ提供シ又ハ保證人二名以上連署ヲ以テ第三號様式ニ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

三 道路工事ノ爲土地物件勞力又ハ費用ヲ寄附シタルトキ
第九條 前二條ノ規程ニ依リ負擔金ヲ徵收セス又ハ減免スル事アルモ之カ爲他ノ受益者ノ負擔額ハ增加セス

第十條 第七條ノ規程ニ負擔金ヲ徵收セサル土地ニシテ工事着手後五箇年以内ニ其ノ事由消滅シタル場合ニ於テハ負擔金ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十一條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ一時ニ之ヲ徵收ス但シ第三條ノ負擔金ニ限リ工事着手後三箇年ヲ超ヘサル期間ニ於イテ分納ヲ許可スル事アルヘシ

前項ノ分納許可ハ工事着手後二ヶ月以内トシ許可ヲ受ケタルモノハ許可ノ翌月ヨリ納付ノ月迄一ヶ月ニ付百圓ニ對シ五十錢ノ割合ニ依リ利子ヲ支拂フヘシ分納許可ヲ受ケスシテ延滞シタルモノ又同シ

第十二條 前條ノ負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル金額ニ比シ超過シタルトキハ之ヲ還付シ不足シタルトキハ之ヲ追徵ス

第十三條 工事着手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

第十四條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則
若松市道路工事費負擔規程施行細則

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ若松市道路工事費負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程ノ道路工事トハ新設擴築改築路面鋪裝工事及側溝橋梁等附屬物ノ工事ニシテ當時ノ修繕工事ニアラサルモノヲ謂フ

第三條 負擔地城ノ真行ハ道路ノ境界線ヨリ之ヲ測定ス

依リ分納願ヲ提出スヘシ
擔保ノ公債證書其ノ他有價證券ニシテ其ノ種類及價格ハ市長ノ定ムル所ニ依ル

保證人ハ本市公民ニシテ直接國稅年額拾圓以上ヲ納ムル者タルヲ要ス

第十一條 負擔金納付義務者又ハ保證人住所ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ本人死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ遅滞ナク其ノ旨届出スヘシ

第十二條 規定第十二條ニ依リ追徵還付ハ負擔金納付者毎ニ壹圓以上ノ場合ヲ謂フ

附 則
本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)
道路工事費受益者負擔申告書

一 工事名 (例 町 丁目道路改築工事)

一 土地ノ表示 (例 町 丁目番地宅地)

一 土地所有者住所氏名

一 土地ニ對スル權利ノ種類及權利者住所氏名

一 權利設定ノ日 年 月 日

一 權利存續期間 箇 年

右土地ニ關スル受益者負擔金ハ所有者(權利者)ヨリ納付可致候條若松市道路工事費受益者負擔規程施行細則第五條ニ依リ此段申告候也

道路法ニ依ル受益者負擔規程

住所	何	某印
土地所有者	何	某印
住所	何	某印
權利者	何	某印

若松市長宛
(第二號様式)

道路工事費受益者負擔金減額免除願

- 一 工事名
 - 一 土地ノ表示
 - 一 費用負擔者住所氏名
 - 一 負擔金減額免除ノ理由
- 右土地ニ付前記ノ事由有之候ニ付道路工事費受益者負擔規程第七條(第八條)ノ規程ニ依リ相當減額免除相成度此段相願候也

昭和 年 月 日

住所 費用負擔者 何 某印

若松市長宛

(第三號様式)

道路工事費受益者負擔金分納願

- 一 工事名
- 一 土地ノ表示
- 一 費用負擔者住所氏名
- 一 負擔金額

一分納回数	回	各回金額及納期
第一回金	何圓	昭和 年 月 日限
第二回金	何圓	昭和 年 月 日限
第三回金	何圓	昭和 年 月 日限

右道路工事費受益者負擔規程第十一條ノ規程ニ依リ負擔金分納致度候間御規程ノ擔保相添(保證人連署ヲ以テ)此ノ段願上候也

若松市長宛

昭和 年 月 日

住所 負擔者 何 某印

住所 保證人 何 某印

住所 保證人 何 某印

三 倉敷市道路側溝工事負擔區分規程

(昭和四年九月二日 市規程第五十二號)

- 第一條 道路側溝新設改築及修繕工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル家屋所有者又ハ土地所有者ニハ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム
- 第二條 前條ニ依リ工事ヲ爲スヘキ側溝人側溝ニ於ケル家屋所有者又ハ土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ側溝新設改築及修繕工事ニ依リ利益ヲ受クル限度ニ於テ其工事費ノ四分ノ一以內トス但主トシテ一般汚水排除ノ爲溝渠ノ新設改築及修繕ニ係ル工事費ハ此ノ限ニアラス
- 第三條 利益ヲ受クル家屋所有者又ハ土地所有者ノ負擔額ハ道路ニ面

接セル土地ノ長サ及奥行ト其ノ實況トヲ斟酌シ市長ニ於テ工事費負擔額ノ範圍内ニ於テ適宜算定ス

- 第四條 國府縣市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル工事費ノ負擔ヲ爲サシメサルモノトス
- 第五條 前條ノ規定ニ依リ負擔ヲ爲サシメサルモノアルモ家屋所有者又ハ土地所有者ノ負擔額ハ之ヲ増加セズ
- 第六條 負擔金ハ工事精算額ニ依リ工事竣功ノ日ニ於ケル家屋所有者又ハ土地所有者ヲシテ負擔セシム
- 第七條 道路側溝新設改築及修繕ノ工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額カ負擔額以上ノ場合ニ限り本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ
- 第八條 工事ハ市長ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ施行ス
- 附 則
- 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施ス

三 今治市市道大正通線道路新設工事費 受益者負擔規程

(昭和四年十月 十六日市告示)

- 第一條 市道大正通線ノ内左ノ區間ノ新設工事費ハ道路法第三十九條ノ規定ニ依リ沿道受益者ニ對シ其一部ヲ負擔セシム
- 自今治市大字今治町甲六四〇番地ノ四 別宮三三六番地 至同
- 第二條 前條ノ規定ニ依リ工事費ヲ負擔スル者ハ新設道路ノ兩側ニ面スル有租地ノ所有者トス但賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上
- 道路法ニ依ル受益者負擔規程

權者又ハ賃借人ヲ負擔者トス

第三條 本規程ニ於テ工事費ト稱スルハ敷地買收費支障物件移轉費補償費土工費其他工事ニ關スル一切ノ費用ヲ謂フ

第四條 第二條ニ定ムル負擔者ニ課スヘキ負擔金額ハ工事費ノ二分ノ一トス

第五條 各受益者ノ負擔金ハ新設道路ニ面スル土地ノ區劃毎ニ沿道間口ノ長サト用地買收單價トノ乘積ニ比例シテ之ヲ定ム

前項ノ負擔金ニシテ幅員三間以上ノ既設道路ノ境界線ヨリ奥行二十間以上ノ地帯ニアル土地及新設道路ノ境界線ヨリ奥行五間以內ノ地域ニアル土地ニ付テハ其狀況ニ依リ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第六條 負擔金ハ工事費豫算額ヲ以テ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項負擔金ノ納付期日ハ市長之ヲ定ム

第七條 負擔金カ工事費精算額ニ依リ算出シタル負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スル場合ハ之ヲ追徴ス

但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限リニ在ラス

第八條 受益負擔者ニ於テ工事費ヲ補足スル爲メ施業用土地物件又ハ金錢ヲ寄附シタル場合ハ其寄附額範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第九條 本規程施行ニ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 別府市道路工事費負擔規程

第一條 市道及其ノ附屬物ノ新設改築及鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ道路法第三十九條ニ依リ其ノ工事費ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 前條ノ受益者トハ道路兩側ニ於テ奥行二十間ノ地域内ニ在ル土地權利者ヲ謂フ

前項ノ土地權利者トハ工事着手ノ日ノ現在ニ於テ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

- 一 實權ノ目的タル土地ニ付テハ實權者
- 二 存続期間十年以上ノ地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借者
- 三 前二號以外ノ土地ニ付テハ所有權者
- 四 同一ノ土地ニ付所有權以外ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定シタル權利ノ歸屬者

第三條 受益者ノ總負擔金額ハ道路新設及路面鋪裝ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一、改築ノ場合ハ四分ノ一トス

前項ノ工事費ト稱スルハ敷地買收費地上物件移轉費補償費土工費其ノ他工事ニ關スル一切ノ費用ヲ謂フ

第四條 各受益者ニ對スル負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

- 一 道路及其ノ附屬物ノ新設及改築工事ノ場合ニ在リテハ第二條ノ地域ヲ利益ヲ受タル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯ニ分テ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分シ道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ三分ノ一ヲ道路ニ接スル間口ノ長サニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス但シ其ノ地帶率ハ市長之ヲ定ム

期日負擔金徵收期日ハ市長之ヲ告示ス

第十條 前條ノ負擔金カ工事清算額ニ依リ算出シタル負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニアラス

竣功期日及清算額ハ市長之ヲ告示ス

第十一條 工事著手後受益者ニ異動アリタルトキハ其ノ權利ノ取得者ヨリ負擔金ヲ徵收ス

第十二條 工事著手後三年以内ニ第二條第八條ノ事業ヲ開始シタルモノアルトキハ其ノ事業開始ノ日ヨリ第四條第八條第十條ノ規定ニ準シ負擔金ヲ徵收ス

第十三條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大邱府特別稅土地坪數割條例 (參考)

(大邱府條例第一號)

第一條 府尹ノ施行スル道路ノ新設又ハ擴張若ハ既設道路ノ側溝ノ新設又ハ改築工事ニ因ル府内ノ受益地ヲ所有スル者ニ對シ土地坪數割ヲ賦課ス但シ其ノ土地カ實權質ノ性質ヲ有スル典當權又ハ第三條ノ規定ニ依ル告示ノ日ヨリ起算シ十年以上ノ期間ヲ存スル地上權永小作權若クハ賃借權ノ目的ト爲レル場合ハ實權者典當權者、地上權者永小作權者又ハ賃借權者ニ對シ之ヲ賦課ス

同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ニ對シ土地坪數割ヲ賦課ス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

二 道路鋪裝工事ノ場合ニアリテハ前條ノ負擔額ノ半額ハ道路ニ接スル土地ノ間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ第四條ノ規定ニ拘ハラズ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

- 一 同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工事費ヲ負擔スヘキトキ
- 二 河川、溝渠、鐵道、道路等ニ隔絕セラレ又ハ其ノ他特種ノ事情ニ因リ道路ノ利用渺シト認ムルトキ

第六條 國府縣市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ負擔金ヲ課セス神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内、教會所、説教所構内地學校敷其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ權利者ニ對シテハ負擔金ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料貸地ニ付テハ此ノ限ニアラス

第七條 道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ其ノ損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ種類及程度ヲ考量シ道路法第四十條ニ依リ維持又ハ修繕費ノ一部ヲ負擔セシム

第八條 工事ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地物件努力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對ルテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規則ニ依リ負擔ヲ免除スルコトヲ得

市長ニ於テ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シ亦同シ

第九條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ其ノ工事ニ着手ノ日ニ於ケル受益者又ハ事業者ヨリ一時ニ之ヲ徵收ス但シ時宜ニ依リ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

負擔金ヲ課スヘキ路線名施行區域工事種類豫算額負擔地域工事著手

第一項ニ於テ受益地ヲ所有スル者ト稱スルハ土地臺帳ニ登錄セラレタル者ヲ謂ヒ實權、典當權、地上權、永小作權又ハ賃借權ト稱スルハ之カ登記ヲ經タルモノヲ謂フ

第二條 本條例ニ於テ受益地ト稱スルハ道路ノ新設又ハ擴張ノ場合ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ奥行二十間以内側溝ノ新設又ハ改築ノ場合ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ奥行十間以内ノ土地トス

第三條 土地坪數割ヲ賦課スヘキ道路又ハ側溝工事ノ路線並地域ハ府協議會ノ諮問ヲ經テ府尹之ヲ定メ告示ス

第四條 土地坪數割ハ前條ノ規定ニ依ル告示ノ日ノ現在ニ於ケル受益地權利者ニ對シ之ヲ賦課ス

第五條 土地坪數割ノ賦課總額ハ左ノ各號ニ依リ工事毎ニ府協議會ニ諮問シ府尹其ノ額ヲ定ム

- 一 道路ノ新設工事ノ場合ハ其ノ工事費ノ二分ノ一以内擴張ノ場合ハ其ノ工事費ノ三分ノ一以内
- 二 側溝ノ新設又ハ改築工事ノ場合ハ其ノ工事費ノ二分ノ一以内

第六條 府尹ニ於テ必要アリト認ムルトキハ府協議會ニ諮問シ其ノ路線ノ土地ノ狀況、工事施行年度又ハ工費所要ノ程度等ニ依リ適當ニ橫斷區分シ其ノ區分ニ從ヒ受益地ヲ數箇ノ課稅區ト爲シ路線ノ區分毎ノ工事費ニ應シ前條ノ規定ニ依リ定メタル賦課總額ヲ配分シテ各其ノ課稅區ノ土地坪數割總額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 各納稅義務者ノ土地坪數割稅額ハ第五條ノ規定ニ依リ定メタル賦課總額又ハ前條ノ規定ニ依リ定メタル各課稅區毎ノ賦課總額ニ付其ノ半額ヲ受益地ノ道路ニ面スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ハ受益地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第八條 土地坪數割ヲ賦課シタル土地ニ對シテハ同一路線ノ同種工事ニ依リ重ねテ土地坪數割ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ後ノ工事ニ依リ賦課セラルヘキ額カ前ニ賦課シタル額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ限度ニ於テ賦課スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ土地坪數割ヲ減免スルコトヲ得但シ第一號ノ場合ニ於ケル減免ハ其ノ寄附ヲ爲シタル金額又ハ土地物件若ハ勞力ノ換算金額ヲ超ニルコトヲ得ス

一 工事費ヲ補足スル爲メ土地物件勞力若ハ金錢ヲ寄附シタルトキ

二 其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキ

第十條 受益地内ニ府制施行規則第四條ノ規定ニ依リ府稅ヲ賦課スルコトヲ得サル土地アルトキ又ハ前二條ノ規定ニ依リ土地坪數割ヲ賦課セサル土地若ハ之ヲ減免スヘキ土地アル場合ニ於テモ他ノ受益地ニ對スル土地坪數割ノ賦課額ハ之ヲ増加セス

第十一條 土地坪數割ハ工事竣功ノ日ノ屬スル年度ヨリ二ヶ年度ニ分割シテ之ヲ徵收ス其ノ毎年度ノ納額及納期左ノ如シ

納額、納期

初年度稅額ノ二分ノ一工事竣功ノ日ヨリ一ヶ月以内第二年度稅額ノ二分ノ一十一月一日ヨリ同月三十日限

納稅額二十四圓未滿ノ納稅義務者ニ付テハ初年度ニ於テ全額ヲ徵收ス

第十二條 納稅義務者ニシテ當該工事ニ依リ補償ヲ受クヘキ關係アル者ニ付テハ前條ノ規定ニ拘ラス工事着手後直ニ其ノ納稅額ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

第十三條 土地坪數割ノ納稅義務者稅金完納前其ノ受益地ニ對スル權利ヲ失ヒタルトキハ第十一條ノ規定ニ拘ラス其ノ際未納稅額ヲ一時ニ徵收ス

第五條 土地増價稅ノ課率ハ増價額ノ十分ノ三トス

第六條 土地増價稅ハ年額ヲ二分シ左ノ納期ニ於テ之ヲ徵收ス

第一期 五月一日ヨリ同月三十一日限

第二期 十一月一日ヨリ同月三十日限

附 則

本條例ハ大正十二年度分ヨリ之ヲ適用ス

大正十二年度分ノ納期ハ府尹之ヲ定ム

附 則

本條例ハ大正十四年度分ヨリ之ヲ適用ス

附 則

本條例ハ大正十四年度分ヨリ之ヲ適用ス

三 宮崎縣道路工事費負擔金徵收規則

(大正十年七月一日
縣令第三十一號)

第一條 國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ニシテ知事ノ指定スルモノハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 道路工事費負擔金ヲ分チテ隣接地域負擔金及特別受益地域負擔金ノ二種トス

隣接地域負擔金ハ市街地及之ニ準スヘキ地域ニ限リ道路ノ區域ヨリ二十間以内ニ於ケル土地ノ面積ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

特別受益地域負擔金ハ道路ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル地域ニシテ前項ノ市街地及之ニ準スヘキ地域外ノ土地又ハ竹木ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

第三條 第一項ノ市街地及之ニ準スヘキ地域並前項ノ受益地域ハ知事之ヲ決定ス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

第十四條 前二條ノ規定ニ依リ工事竣功前ニ徵收スル場合ノ稅額ハ工事費豫算額ヲ基本トシテ算出シタル額ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ徵收シタル稅額カ其ノ工事ノ工費豫算額ニ依リ算出シタル稅額ニ比シ過不足アルトキハ之ヲ更訂シ追徵又ハ還付ス

附 則

本條例ハ昭和三年度以降着手ノ工事ニ之ヲ適用ス昭和三年度着手ノ工事ニ付賦課スル土地坪數割ノ賦課期日並ニ納期ハ府尹別ニ之ヲ定ム

三 馬山府特別稅土地増價稅條例 (參考)

第一條 市區改正路線ノ道路境界ヨリ二十間以内ノ土地ニ對シテハ工事施行ノ翌年度ニ至リ土地ノ自然増價額ニツキ土地増價稅ヲ賦課ス前項ノ路線ハ府尹之ヲ告示ス

第二條 土地増價稅ハ市區改正工事着手後ニ於テ土地所有ノ有價移轉アリタル場合ハ前所有者ニ其ノ他ノ場合ハ現所有者ニ之ヲ賦課ス

第三條 土地ノ自然増價額ハ土地ノ現價ヨリ左ノ金額ヲ控除シタルモノトス

一 市區改正工事着手當時ノ價格

二 市區改正工事着手後ニ於テ其ノ土地改良ノ爲ニ投シタル費用

市區改正ニ依ル道路敷地ヲ供與シタルモノニ就テハ其ノ價額ノ限度ニ於テ特ニ之ヲ前項ノ増價額ヨリ控除スルコトヲ得

第四條 土地ノ價格及土地改良費ノ査定ハ府協議會ニ諮問シ府尹之ヲ定ム

第三條 隣接地域負擔金ハ左ノ率ニ依ル

一等	時價百分ノ二十
二等	同 十八
三等	同 十六
四等	同 十四
五等	同 十二
六等	同 十
七等	同 八
八等	同 六
九等	同 四
十等	同 二

第四條 特別受益地域負擔金ハ左ノ率ニ依ル

山林	時價百分ノ二十
田畑宅地	時價百分ノ十
原野其ノ他	時價百分ノ五

一等	時價百分ノ二十	時價百分ノ十	時價百分ノ五
二等	同 十八	同 九	同 四、五
三等	同 十六	同 八	同 四、
四等	同 十四	同 七	同 三、五
五等	同 十二	同 六	同 三、
六等	同 十	同 五	同 二、五
七等	同 八	同 四	同 二、
八等	同 六	同 三	同 一、五
九等	同 四	同 二	同 一、
十等	同 二	同 一	同 〇、五

第五條 道路工事費負擔金ノ總額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

道路ニ關スル工事ノ爲メ府縣制第十二條ニ依リ夫役現品ヲ賦課スルトキハ其ノ金額ト道路工事費負擔金トノ合算額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

前二條ニ依リ算出シタル金額カ前二項ノ制限ヲ超ユルトキハ其ノ制限内ニ達スル迄前二條ノ率ヲ同一ノ割合ヲ以テ低減ス

知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ前三項ニ異ル定メ爲スコトヲ得

第六條 道路工事費負擔金ハ土地又ハ竹木ノ所有者ニ之ヲ課ス但シ未經過存續期間五十年ヲ超ユル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者ニ之ヲ課ス

他人ノ土地ノ上ニ竹木ヲ所有スル者アルトキハ其ノ竹木カ前項但書ノ地上權者ニ屬スル場合ヲ除ク外土地及竹木ノ時價ヲ各別ニ決定シ竹木ニ付テハ山林ノ率土地ニ付テハ原野其他ノ率ニ依リ負擔金ヲ算出ス

第七條 道路工事費負擔金ヲ課スル土地ヲ課セサル土地ト爲シ若ハ之ヲ課セサル土地ヲ課スル土地ト爲シタルトキ又ハ土地ノ用途ヲ變更シタルトキ若ハ前條ノ土地又ハ竹木ノ所有者若ハ地上權者ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ届出アリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ負擔金ヲ免除シ若ハ増減シ又ハ新ニ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ適用セス

第八條 左ニ掲クル土地ニ付テハ道路工事費ノ負擔金ヲ課セス

一 國、府、縣、郡、市、町、村其ノ他公共團體ニ於テ公用又公共ノ用ニ供スル土地

二 社寺敷地

三 墳墓地

三 未經過存續期間五十年ヲ超ユル地上權ニ付テハ其ノ設定ノ時期及存續期間

四 他人ノ土地ノ上ニ所有スル竹木ニ付テハ土地ノ所在郡、町村、大字、字、地番、地目及反別並竹木ノ種類員數及見込價格

五 前條ノ告示前五年以内ニ有償ニテ所有權ヲ取得シタルモノニ付テハ其ノ時期及對價

六 共有ニ屬スルモノニ付テハ共有者ノ住所、氏名但持分ノ均シカラサルモノニ付テハ各共有者ノ持分ヲ附記スヘシ

七 届出人ノ住所、氏名

第四條 町村長ハ前條ノ届出ヲ取纏メ意見ヲ附シ十五日以内ニ知事ニ提出スヘシ

第五條 町村長ハ第三條ノ届出ヲ怠リタル者又ハ届出ナキ土地及竹木ノ有無ヲ調査シ其ノ届出ナキモノニ付テハ速ニ届出ヲ爲サシムヘシ届出ヲ爲スヘキ者ノ所在不明其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ届出ヲ爲サシムルコト能ハサルトキハ町村長ハ自ら第三條ノ事項ヲ調査シ報告スヘシ

第六條 道路工事費負擔金徵收規則第三條及第四條ノ等級及時價ハ道路工事費負擔金調査委員會ノ意見ヲ聽キ知事之ヲ決定ス

第七條 道路工事費負擔金調査委員會ハ委員長一名及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長及委員ハ關係郡長、町村長、郡ノ官吏吏員、町村吏員町村會議員及土地又竹木ノ所有者ノ中ニ就キ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

委員會ニ書記ヲ置キ關係郡ノ官吏吏員及町村吏員ノ中ニ就キ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

委員長ハ委員會ヲ總理シ議事ヲ整理ス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

四 保安林

五 前各號ノ外知事ノ指定スル土地

第九條 知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道路工事費負擔金ヲ免除シ又輕減スルコトヲ得

第十條 道路工事費負擔金ハ知事ノ定ムル納付年限ニ從ヒ毎年四月三十日及三十一日ノ二期ニ分チ納付セシム

前項ノ每期ノ納付額ハ知事ノ定ムル處ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ヲ施行スル爲メ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

第十條ノ納期ハ大正十年度ニ限り別ニ知事ノ指定スル處ニ依ル

宮崎縣道路工事費負擔金徵收細則

(大正十年七月二十二日 縣令第三七號)

第一條 道路工事費負擔金徵收規則第一號ノ指定ヲ爲シタルトキハ路線名工事ノ種類工事施行ノ年度及箇所ヲ告示ス

第二條 道路工事費負擔金徵收規則第二條第四項ニ依リ市街地及之ニ準スヘキ地域又ハ其他ノ受益地域ヲ決定シタルトキハ之ヲ告示ス

第三條 前條ノ告示アリタルトキハ受益地域内ニ土地又ハ竹木ヲ所有スル者及未經過存續期間五十年ヲ超ユル地上權ヲ有スルモノハ告示ノ日ヨリ一月以内ニ左ノ事項ヲ具シ町村長ニ届出ツヘシ

一 土地ニ付テハ所在郡、町村、大字、字、地番、地目反別及見込價格但シ土地ノ上ニ竹木アルトキハ其ノ種類、員數及見込價格他人ノ所有ニ屬スル竹木アルトキハ其ノ事實ヲ附記スヘシ

二 現ニ賃貸借、地上權又ハ永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ一年ノ賃貸地代又ハ小作料

書記ハ委員長ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第八條 道路工事費負擔金調査委員會ハ委員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

委員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル處ニ依ル

知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ隨時官吏吏員ヲ會議ニ列席セシメ議事ニ參與セシムルコトヲ得但シ表決ノ數ニ加フルコトヲ得ス

第九條 道路工事費負擔金ノ負擔額及納付年限ヲ決定シタルトキハ負擔者ニ之ヲ通知ス

第十條 第三條ノ届出ヲ爲シタル後左ニ掲クル事由ヲ生シタルトキハ同條ノ規定ニ準シ遲滞ナク届出ツヘシ

一 負擔金ヲ課スヘキ土地又ハ竹木ノ所有權ヲ取得シタルトキ又ハ其ノ所有權ヲ喪失シタルトキ

二 負擔金ヲ課スヘキ土地ニ存續期間五十年以上ノ地上權ヲ設定シタルトキ

三 負擔金ヲ課スヘキ土地ノ用途ヲ變更シタルトキ

四 道路工事費負擔金徵收規則第八條ニ依リ負擔金ヲ免除スヘキ事由ヲ生シタルトキ又ハ其ノ事由消滅シタルトキ

五 其ノ他第三條ノ届書ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキ

第十一條 道路工事費負擔金ノ調査ニ關スルモノハ其ノ調査ニ關スル事項ヲ他人ニ漏洩スルコトヲ得ス

第十二條 詐欺ノ手段ヲ以テ道路工事費負擔金ノ逋脱ヲ計リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十一條ノ規定ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 京都府道路工事受益者負擔金徵收規則

(大正十二年三月二十日)
府令第十九號

第一條 國道、府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

前項ニ依リ費用ノ一部ヲ負擔セシムヘキ工事及其ノ工事費豫算額ハ知事之ヲ告示ス

道路工事受益者負擔金ノ總額ハ工事費ノ十分ノ三ノ範圍内ニ於テ知事之ヲ定ム

第二條 道路工事受益者負擔金ヲ分テテ甲種負擔金及乙種負擔金ノ二種トス

甲種負擔金ハ市街地及之ニ準スヘキ地域ニ限リ道路區域ノ境界線又ハ道路計畫線ヨリ奥行二十間以内ニ於ケル土地ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

乙種負擔金ハ甲種負擔金ヲ課スヘキ地域外ノ土地又ハ山林、原野ノ立竹木ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

甲種負擔金ヲ課スヘキ地域及乙種負擔金ヲ課スヘキ地域ハ知事之ヲ決定告示ス

第三條 前條ノ受益者ハ土地又ハ山林、原野ノ立竹木ノ所有者トス但シ賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者、第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ヨリ起算シ存続期間二十年以上ノ地上權又ハ永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ永小作人ヲ受益者トス

八等	同	六	同	三	同	一、五
九等	同	四	同	二	同	一、〇
十等	同	二	同	一	同	〇、五

第七條 土地及立竹木ノ時價ハ各別ニ之ヲ決定シ立竹木ニ付テハ山林ノ率ニ依リ負擔金ヲ算定ス但シ山林ニ限リ土地及其ノ上ニ存スル立竹木ノ所有者同一ナル場合ハ兩者ヲ合算シテ其ノ時價ヲ算定スルコトアルヘシ

第八條 第五條乃至第七條ノ時價ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ認定ス

第九條 道路ニ關スル工事ノ爲府縣制第一百十二條ニ依リ夫役現品ヲ賦課スルトキハ其ノ金額ト道路工事費負擔金トノ合算額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條及第六條ニ依リ算定シタル金額カ第一條第三項及前項ノ制限ヲ超ユルトキハ其ノ制限内ニ達スル迄第五條及第六條ノ率ヲ同一ノ割合ヲ以テ低減ス

第十條 左ニ掲クル土地ニ付テハ道路工事受益者負擔金ヲ課セス
一 國、府縣、市町村、其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

- 二 社寺境内地
- 三 墳墓地
- 四 保安林

五 前各號ノ外知事ノ指定スル土地
前項各號ノ土地ニシテ有料ニテ貸地又ハ他ノ目的ニ使用スルモノニ對シテハ道路工事受益者負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十一條 知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道路工事受益者

道路法ニ依ル受益者負擔規程

同一土地ニ付第一項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者ヲ以テ受益者トス

第四條 道路工事受益者負擔金ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ノ現在ニ於ケル受益者ニ對シテ之ヲ賦課ス

第五條 甲種負擔金ハ左ノ率ニ依リ知事之ヲ定ム

受益等級	賦課率
一等	時價百分ノ二十
二等	同 十八
三等	同 十六
四等	同 十四
五等	同 十二
六等	同 十
七等	同 八
八等	同 六
九等	同 四
十等	同 二

第六條 乙種負擔金ハ左ノ率ニ依リ知事之ヲ定ム

受益等級	山林賦課率	田畑宅地賦課率	原野其ノ他賦課率
一等	地價百分ノ二十	時價百分ノ十	時價百分ノ五、〇
二等	同 十八	同 九	同 四、五
三等	同 十六	同 八	同 四、〇
四等	同 十四	同 七	同 三、五
五等	同 十二	同 六	同 三、〇
六等	同 十	同 五	同 二、五
七等	同 八	同 四	同 二、〇

負擔金ヲ免除シ又ハ輕減スルコトヲ得

第十二條 道路工事受益者負擔金ノ納期ハ二期トシ第一期ニ於テハ工事費豫算額ニ依ル負擔額ノ二分ノ一第二期ニ於テハ工事費ノ精算額ニ依リ其ノ殘額ヲ納付セシム

前項ノ期間ハ知事之ヲ指定ス

第十三條 知事ハ道路工事受益者負擔金決定ニ關スル事項ヲ審査セシムル爲審査委員會ヲ設ク

第十四條 審査委員會ハ左ノ事項ニ付キ知事ノ諮問ニ應スヘシ
一、道路工事費ニ對スル負擔金ノ割合
二、甲種負擔金ヲ課スヘキ地域及乙種負擔金ヲ課スヘキ地域
三、土地及立竹木ノ時價
四、第五條、第六條ニ依ル受益等級
五、第十條、第五號ノ土地

第十五條 審査委員會ハ市郡連帶審査委員會及郡部審査委員會ノ二トシ内務部長其ノ會長トナリ議事ヲ整理ス

第十六條 審査委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ
一 府官公吏 三名
二 府會議員 四名
三 臨時委員 若干名

前項ノ委員ハ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

臨時委員ハ知事ノ指定シタル事項ニ限リ議事ニ參與シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得

第十七條 審査委員ニハ府會議員、名譽職府參事會員、名譽職員費用辨償額及旅費支給方法ニ依リ日當及旅費ヲ支給ス
前項ノ規定ハ官吏ニシテ審査委員タルモノニハ之ヲ適用セス

附則

本則ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

京都府道路工事受益者負擔金徵收規則施行細則

(大正十二年三月二十三日府令第二十五號
及大正十五年五月府令第四十二號改正
及大正十五年七月府令第三十九號改正)

第一條 本細則ニ於テ規則ト稱スルハ道路工事受益者負擔金徵收規則ヲ謂フ

第二條 規則第二條第四項ノ負擔金ヲ課スヘキ地域決定ノ告示アリタルトキハ規則第三條ノ受益者及同地域内ニ於テ規則第十條第一項第一號乃至第四號ニ該當スル土地ヲ有料ニテ貸地シ又ハ他ノ目的ニ使用スル者ハ告示ノ日ヨリ一月以内ニ左ノ事項ヲ具シ受益地ヲ管轄スル市町村長經由知事ニ届出ツヘシ

一 土地ニツキテハ其ノ地名、地番、地目、段別、見込時價、受益者ノ種別及住所、氏名

二 立竹木ニツキテハ其ノ種類數量見込時價其ノ所在地名、地番、地目乙種負擔金ヲ課スヘキ受益者ニシテ前項ノ届出ヲナササル者アルトキハ受益地ヲ管轄スル市町村長ハ受益者ニ代リ之ヲ訓書ヲ作り知事ニ報告スヘシ

甲種負擔金ヲ課スヘキ受益者第一項ノ事項ヲ其ノ期間内ニ届出サルトキハ知事ニ於テ之ヲ訓書ヲ作り縦覧ニ供ス

第三條 前條ノ届書及報告書ハ届出期間満了後十五日以内ニ知事ニ進達スヘシ

第四條 規則第十二條ニ依ル第二期ノ納入告知書發行前ニ於テ道路工事受益者負擔金ヲ課スヘキ土地又ハ立竹木ニ脱漏アルヲ發見シタル

ノ片側ニ於テ其ノ境界線ヨリ道路幅員ノ五倍以内鋪裝工事ニ在リテハ其ノ境界線ヨリ奥行二十間以内ニ於ケル有租地ノ所有者ニ之ヲ課ス賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者工事着手ノ日ヨリ起算十年ヨリ長キ期間ノ定メアル地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作權者又ハ賃借人トス

前項但書ノ權利ニシテ登記ヲ經サルモノニ付テハ此ノ限りニ在ラス同一ノ土地ニ付第一項但書ノ權利二個以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者ヲ以テ負擔者トス

土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス別ニ其ノ地域ヲ定ム

第三條 前條ノ地域内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルモノニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第四條 國又ハ公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セサルコトアルヘシ

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ構内學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除ス但シ有料ニテ貸付シタルモノニ對シテハ此ノ限りニ在ラス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一 同一ノ土地ニシテ同時又ハ時ヲ異ニシ重複シテ道路法第三十九條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スルトキ

二 附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

第六條 前二條ノ規定ニ依リ免除シ又ハ徵收セサルコトアルモノ他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ增加セズ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

トキハ其ノ附近ノ土地又ハ立竹木ニ比準シ相當ノ負擔金ヲ課ス
前項ノ場合ニ於ケル負擔金ノ納期ハ規則第十二條ニ依ラサルコトアルヘシ

第五條 道路工事受益者負擔金ハ納入告知書ニ依リ之ヲ納付スヘシ

第六條 規則第十三條ノ審査委員會ハ委員過半数出席スルニアラサルハ會議ヲ開クコトヲ得ス

委員會ノ議事ハ出席委員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

會長ニ於テ必要アリト認ムル時ハ臨時官吏、吏員ヲ會議ニ列席セシメ議事ニ參與セシムルコトヲ得但決決ノ數ニ加フルコトヲ得ス

三六 兵庫縣道路工事費特別負擔規程

第一條 道路法第三十九條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ工事ノ種類、工事費豫算額負擔率並負擔セシムヘキ金額及工事着手ノ日ハ之ヲ告示ス

第二條 前條ノ受益者負擔金ハ道路ノ新設及改築工事ニ在リテハ道路

第七條 受益者ノ工事費負擔歩合ハ左ニ掲ケル道路ノ等級ニ依ル道路ノ改築ノ場合ニ於テ其ノ計畫幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ新設ト看做ス

負擔歩合

道路 新設工事ノ場合 改築工事ノ場合 鋪裝工事ノ場合

等級 幅員

一等 六間以上 百分ノ五十 百分ノ三十三 以内

二等 五間以上 百分ノ四十五 百分ノ二十八 二分ノ一

三等 四間以上 百分ノ四十 百分ノ二十三

四等 四間以下 百分ノ三十五 百分ノ十八

第八條 受益者ノ負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

一 道路ノ新設又ハ改築工事ニ在リテハ第二條ノ地域ヲ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ一個又ハ數個ノ地帯ニ分テ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分シ其ノ路線ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ配分額ノ半額ヲ其ノ路線ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯ニ在リテハ其ノ配分額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

二 道路鋪裝工事ニ在リテハ前條ノ負擔額ノ半額ヲ道路ニ接スル土地ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

第九條 負擔金ハ毎年度工事費豫算額ニ依リ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ徵收ス

工事費精算ノ結果負擔金カ前項ノ徵收額ニ比シ増減ヲ生シタルトキ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

トキハ其ノ附近ノ土地又ハ立竹木ニ比準シ相當ノ負擔金ヲ課ス
前項ノ場合ニ於ケル負擔金ノ納期ハ規則第十二條ニ依ラサルコトアルヘシ

第五條 道路工事受益者負擔金ハ納入告知書ニ依リ之ヲ納付スヘシ

第六條 規則第十三條ノ審査委員會ハ委員過半数出席スルニアラサルハ會議ヲ開クコトヲ得ス

委員會ノ議事ハ出席委員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

會長ニ於テ必要アリト認ムル時ハ臨時官吏、吏員ヲ會議ニ列席セシメ議事ニ參與セシムルコトヲ得但決決ノ數ニ加フルコトヲ得ス

第七條 審査委員會ニ書記ヲ置キ府ノ官吏、吏員ノ中ニツキ會長之ヲ命ス

書記ハ會長ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第八條 詐欺ノ手段ヲ以テ道路工事受益者負擔金ノ遁脱ヲ計リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第九條 正當ノ事由ナクシテ第二條ノ届出ヲ爲ササル者ハ科料ニ處ス

ハ之ヲ追徴シ又ハ還付ス

第十條 第一條ノ負擔金ノ納期ハ二期トシ第一期ニ於テハ工事費豫算額ニ依ル負擔額ノ二分ノ一トシ第二期ニ於テハ其ノ殘額ヲ納付セシム

前項ノ納期ハ知事之ヲ指定ス

第十一條 前條第二期ノ納期以前ニ於テ第二條ノ規定ニ該當スル者ニ異動ヲ生シタルトキハ第二期ノ負擔金ハ新ナル受益者ヨリ之ヲ徴收ス

第十二條 道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル爲メ地元市町村又ハ本規程ニ依ル負擔義務者ニ於テ土地物件勞力又ハ金銭ヲ寄附シタル者アルトキハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

前項土地物件勞力ノ評價ハ知事ノ認定スル所ニ依ル

第十三條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ昭和二年四月一日ヨリ施行ス

三 神奈川縣道路法第三十九條及第四十條

ニ 依ル道路費負擔規程

(昭和四年三月二十六日 神奈川縣令第十四號)

第一條 知事ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ執行スル道路(附屬物ヲ含ム以下同シ)ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ノ一部ヲ負擔セシメ道路ヲ特ニ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者ヲシテ之カ爲ニ要スル道路ノ維持修繕ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム

一 道路ノ新設又ハ改築ノ場合ニ於テハ其ノ工事費ノ三分ノ一以內トス但シ道路幅員三間ヲ起ユルトキハ三間ニ要スル費用ヲ以テ其ノ工事費トス

二 道路ノ鋪裝工事ヲ執行スル場合ニ於テハ其ノ工事費ノ四分ノ一以內トス但シ道路幅員三間ヲ超ユルトキハ前號但書ノ例ニ依ル

三 延長十間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ新設又ハ改築ノ場合ニ於テハ前條第一項第三號ノ例ニ依ル

四 側溝ノ新設若ハ改築又ハ並木ノ植栽ノ場合ニ於テハ建築敷地ニ接スル部分ノ費用ノ二分ノ一以內トス

第六條 受益者第一種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス

一 道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ其ノ道路ノ兩側ニ於テ道路又ハ道路ト爲ルヘキ土地ノ境界線ヨリ道路幅員(九間ヲ起ユルトキハ九間)ノ五倍ノ地域内ニ於ケル土地ノ所有者但シ其ノ地域内ニ道路ニ併行シ平均三間ノ幅員ヲ有スル他ノ道路アルトキハ其ノ道路ニ達スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域内土地ノ利用ヲ區分スヘキ道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ達スル迄ノ地域内ノ土地ノ所有者

二 延長十間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ地元市町村及之ニ因リ特ニ利益ヲ受クル市町村

三 側溝ノ新設若ハ改築ニ關スル工事又ハ並木ノ植栽ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ所有者

第七條 前條ノ土地ニシテ工事着手ノ日ヨリ起算シ存続期間十五年以上ノ地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タルトキハ前條ノ適用ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ土地所有者ト看做ス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

第二條 前條前段ノ規定ニ依ル負擔金ハ之ヲ受益者負擔金ト稱シ同條後段ノ規定ニ依ル負擔金ハ之ヲ事業者負擔金ト稱ス

第三條 受益者負擔金ヲ分テテ第一種負擔金及第二種負擔金トス第一種負擔金ハ市街地及市街地ト爲ルヘキ地ニ於ケル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事毎ニ之ヲ賦課ス

第二種負擔金ハ前項ノ地以外ノ地ニ於ケル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事毎ニ之ヲ賦課ス

第四條 受益者第一種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ知事之ヲ定ム一 道路ノ新設又ハ改築ノ場合ニ於テハ其ノ工事費ノ三分ノ一以內トス但シ道路幅員(有効幅員以下同シ)九間ヲ起ユルトキハ九間ニ要スル費用ヲ以テ其ノ工事トス

二 道路ノ鋪裝工事ヲ執行スル場合ニ於テハ其ノ工事費ノ四分ノ一以內トシ道路幅員九間ヲ起ユルトキハ前號但書ノ例ニ依ル但シ鋪裝工事ニシテ歩道ノミニ限ルトキ道路幅員三間未滿ナルトキハ其ノ工事費ノ二分ノ一以內トス

三 延長十間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ新設ノ場合ニ於テハ其ノ工事費(道路取付費ヲ含ム)ノ六分ノ一以內改築ノ場合ニ於テハ其ノ工事費(道路取付費ヲ含ム)ノ八分ノ一以內トス

四 側溝ノ新設若ハ改築又ハ並木ノ植栽ノ場合ニ於テハ其ノ費用ノ二分ノ一以內トス

第六條 第一號但書ノ規定ニ依リ地域ヲ縮小シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ定メタル負擔金總額ヲ同號前段ノ地域内ノ土地ノ所有者ニ賦課スルモノトシテ算定シタル同號但書ノ地域内ノ土地ノ所有者ニ賦課スヘキ負擔金ノ總額ヲ以テ負擔金總額トス

第五條 受益者第二種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ知事之ヲ定ム

前項ノ存続期間ハ都市計畫區域内ノ土地ニ付テハ十年トス

第八條 受益者第二種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス

一 道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ地元市町村及之ニ因リ特ニ利益ヲ受クル市町村

二 側溝ノ新設若ハ改築ニ關スル工事又ハ並木ノ植栽ニ付テハ道路ニ接スル建築敷地ノ所有者

第九條 受益者第一種負擔金ハ左ノ各號ニ依リ知事之ヲ定ム

一 第六條第一號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ同號ノ地域内ノ土地ニ付別表ノ方法ニ依リ算定シタル率ニ比例シ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス

二 第六條第二號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ受益ノ程度ヲ斟酌シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス

三 第六條第三號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ間口ニ比例シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス

第十條 受益者第二種負擔金ハ知事受益ノ程度ヲ斟酌シ負擔金總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム但シ第八條第二號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ道路ニ接スル建築敷地ノ間口ニ比例スルモノトス

第十一條 左ニ掲クル土地ニ關シテハ受益者負擔金ヲ免ス

一 地租條例第四條ニ規定スル土地

二 市町村稅ヲ課セサル土地

三 無料ニテ公開スル公園運動場廣場其ノ他ノ土地

四 祭祀、宗教、慈善、學術、技藝、衛生保安其他ノ營利ヲ目的トセサル公益事業ニ供スル設備ノ構内内地但シ賃貸又ハ他ノ目的ニ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 左ノ各號ニ該當スル土地ニ關シテハ知事受益者負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一 土地ノ狀況ニ依リ負擔金ヲ減免スルヲ適當ト認メタル土地
二 道路ノ狀況ニ依リ五年以内ニ重複シテ受益者負擔金ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地

第十三條 受益者負擔金ハ工事毎ニ其ノ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課ス但シ耕地整理組合又ハ土地區劃整理組合ノ區域内ノ土地ニシテ未ダ換地處分ヲ完了セサルモノニ付テハ其ノ完了ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十四條 負擔金賦課後第七條ノ權利消滅シタルトキハ次ノ納期以降納付スヘキ負擔金ハ權利消滅ノ日ノ現在ニ依リ土地所有者ニ之ヲ賦課ス

第十五條 受益者負擔金賦課後負擔ノ原因タル土地又ハ權利ヲ讓渡シタルトキハ負擔金納付ノ期限ニ拘ラス一時ニ之ヲ徵收ス

第十六條 事業者負擔金ノ總額ハ道路ノ維持修繕ニ要スル費用(歩道車道ヲ區別スル道路ニ付テハ車道ニ關スル費用)ノ五分ノ一以内トス

第十七條 事業者負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス
一 自動車ヲ使用シ許可ヲ得テ一定ノ路線ニ依リ營業ヲ爲シ又ハ自動車ヲ使用シ常時一定ノ路線ニ依リ貨物運輸ノ業ヲ爲ス者
二 年額五千噸以上ノ石材採掘業並土石砂利採取業年額五萬石以上ヲ搬出スル森林業其他之ニ類スル事業者

第十八條 事業者負擔金ハ知事路線ノ延長使用車輛ノ數、構造、運搬貨物ノ種類積載量等ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ知事事業者負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
一 事業ヲ廢止シタルトキ
二 天災又ハ不可抗力ニ因リ引續キ三十日以上ニ亘リ事業ヲ休止シタルトキ
三 事業者ノ都合ニ因リ引續キ九十日以上ニ亘リ事業ヲ休止シタルトキ
四 引續キ三十日以上ニ亘リ事業ノ停止ヲ命セラレタルトキ
五 事業ノ狀態、使用車輛數等ヲ斟酌シ知事減免スルヲ適當ト認メタルトキ

第二十條 事業者負擔金ハ各路線ノ當該年度豫算ヲ基準トシ毎年四月一日現在ニ依リ之ヲ賦課ス
前項ノ賦課期日後負擔ノ原因タル事業者開始シタル者アルトキハ其ノ開始都度之ヲ賦課ス此ノ場合ニ於テハ其ノ賦課金額ハ第十六條ノ負擔金總額ニ之ヲ算入セス

第二十一條 事業者負擔金ハ毎年四月及九月ノ二期ニ之ヲ分納セシム但シ特別ノ事由アリト認メタルトキハ納期ヲ變更スルコトアルヘシ前項ノ但書ノ場合ニ於テハ知事之ヲ告示ス
前條第二項規定ニ依リ賦課ヲ爲シタルトキハ其ノ賦課ノ都度負擔金ヲ徵收ス第十四條第二項ノ規定ハ事業者負擔金徵收ニ付國稅滯納處分ノ例ニ依ル場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 道路ノ新設若ハ改築又ハ維持修繕ノ爲夫役現品ヲ賦課セラレタル者又ハ之ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力若ハ金錢ヲ寄附シタル者アルトキハ其ノ賦課又ハ寄附額ノ範圍内ニ於テ知事負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ知事ノ適當ト認ル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者アルトキ亦同シ

第二十三條 左ニ掲クル事項ハ知事之ヲ告示ス
一 受益者負擔金ヲ課スヘキ工事ノ種類工事費及工事着手ノ日
二 事業者負擔金ヲ課スヘキ維持修繕ノ費用
三 受益者負擔金及事業者負擔金ノ總額

第二十四條 第六條及第八條ニ定ムルモノノ外道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル事業者ヲ爲ス者ニ對シ受益者負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第二十五條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第二十六條 昭和三十二年度ノ工事ニ付テハ本規程施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス
第二十七條 昭和三十三年度ノ道路ノ維持修繕ニ關シテハ本規程施行ノ日現在ノ事業者ヲ以テ第二十條ニ依リ賦課ヲ受クル事業者ト看做ス
第二十一條第一項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用セス

附 則

表
一 負擔金ハ土地ノ開口(道路ニ平行スル各部分ノ長サ)ニ正比例シ
二 奥行ニ漸減的ニ比例シテ之ヲ配分ス
三 對スル率ヲ百トシ第一表ノ通之ヲ定ム

第一表 對スル率ヲ百トシ第一表ノ通之ヲ定ム
第二表 對スル率ヲ百トシ第一表ノ通之ヲ定ム

第 二 表

奥行が10尺ノ時ハ	矩形割地ノ50.00%	奥行が105尺ノ時ハ	矩形割地ノ65.50%
〃 11 〃	〃 50.55 〃	〃 110 〃	〃 66.00 〃
〃 12 〃	〃 51.10 〃	〃 115 〃	〃 66.50 〃
〃 13 〃	〃 51.65 〃	〃 120 〃	〃 67.00 〃
〃 14 〃	〃 52.20 〃	〃 125 〃	〃 67.50 〃
〃 15 〃	〃 52.75 〃	〃 130 〃	〃 68.00 〃
〃 16 〃	〃 53.30 〃	〃 135 〃	〃 68.50 〃
〃 17 〃	〃 53.85 〃	〃 140 〃	〃 69.00 〃
〃 18 〃	〃 54.40 〃	〃 145 〃	〃 69.50 〃
〃 19 〃	〃 54.95 〃	〃 150 〃	〃 70.00 〃
〃 20 〃	〃 55.50 〃	〃 155 〃	〃 70.35 〃
〃 21 〃	〃 55.75 〃	〃 160 〃	〃 70.70 〃
〃 22 〃	〃 56.10 〃	〃 165 〃	〃 71.05 〃
〃 23 〃	〃 56.25 〃	〃 170 〃	〃 71.40 〃
〃 24 〃	〃 56.50 〃	〃 175 〃	〃 71.75 〃
〃 25 〃	〃 56.75 〃	〃 180 〃	〃 72.10 〃
〃 26 〃	〃 57.00 〃	〃 185 〃	〃 72.45 〃
〃 27 〃	〃 57.25 〃	〃 190 〃	〃 72.80 〃
〃 28 〃	〃 57.50 〃	〃 195 〃	〃 73.15 〃
〃 29 〃	〃 57.75 〃	〃 200 〃	〃 73.50 〃
〃 30 〃	〃 58.00 〃	〃 205 〃	〃 73.90 〃
〃 35 〃	〃 58.50 〃	〃 210 〃	〃 74.30 〃
〃 40 〃	〃 59.00 〃	〃 215 〃	〃 74.70 〃
〃 45 〃	〃 59.50 〃	〃 220 〃	〃 75.10 〃
〃 50 〃	〃 60.00 〃	〃 225 〃	〃 75.50 〃
〃 55 〃	〃 60.50 〃	〃 230 〃	〃 75.90 〃
〃 60 〃	〃 61.00 〃	〃 235 〃	〃 76.30 〃
〃 65 〃	〃 61.50 〃	〃 240 〃	〃 76.70 〃
〃 70 〃	〃 62.00 〃	〃 245 〃	〃 77.10 〃
〃 75 〃	〃 62.50 〃	〃 250 〃	〃 77.50 〃
〃 80 〃	〃 63.00 〃	〃 255 〃	〃 77.65 〃
〃 85 〃	〃 63.50 〃	〃 260 〃	〃 77.80 〃
〃 90 〃	〃 64.00 〃	〃 265 〃	〃 77.95 〃
〃 95 〃	〃 64.50 〃	〃 270 〃	〃 78.10 〃
〃 100 〃	〃 65.00 〃		

道路法ニ依ル受益者負擔規程

第 一 表

奥行 (尺)	百分率	奥行 (尺)	百分率	奥行 (尺)	百分率	奥行 (尺)	百分率	奥行 (尺)	百分率
		50	72.50	100	100.00	150	115.00	200	122.00
1	3.10	1	73.25	1	100.41	1	115.19	1	122.10
2	6.10	2	74.00	2	100.85	2	115.38	2	122.20
3	9.00	3	74.75	3	101.27	3	115.57	3	122.30
4	11.75	4	75.50	4	101.70	4	115.76	4	122.40
5	14.35	5	76.20	5	102.08	5	115.95	5	122.50
6	16.75	6	76.90	6	102.48	6	116.12	210	122.95
7	19.05	7	77.55	7	102.88	7	116.29	15	123.38
8	21.20	8	78.20	8	103.25	8	116.46	20	123.80
9	23.20	9	78.85	9	103.26	9	116.92	30	124.60
10	25.00	60	79.50	110	104.00	160	116.80	240	125.35
1	26.70	1	80.11	1	104.36	1	116.96	50	126.05
2	28.36	2	80.77	2	104.72	2	117.13	60	126.75
3	29.99	3	81.38	3	105.08	3	117.30	70	127.40
4	31.61	4	82.00	4	105.43	4	117.47		
5	33.22	5	82.61	5	105.78	5	117.64		
6	34.92	6	83.21	6	106.13	6	117.79		
7	36.41	7	83.82	7	106.47	7	117.94		
8	37.97	8	84.42	8	106.81	8	118.09		
9	39.50	9	85.01	9	107.15	9	118.24		
20	41.00	70	85.60	120	107.50	170	118.40		
1	42.50	1	86.15	1	107.80	1	118.54		
2	43.96	2	86.70	2	108.11	2	118.70		
3	45.30	3	87.24	3	108.43	3	118.85		
4	46.61	4	87.78	4	108.75	4	119.00		
5	47.90	5	88.30	5	109.05	5	119.14		
6	49.17	6	88.82	6	109.35	6	119.25		
7	50.40	8	89.35	7	109.65	7	119.41		
8	51.61	9	89.87	8	109.93	8	119.54		
9	52.81	0	90.39	9	110.21	9	119.67		
30	54.00	80	90.90	130	110.50	180	119.80		
1	55.05	1	91.39	1	110.76	1	119.92		
2	56.10	2	91.89	2	111.02	2	120.05		
3	57.15	3	92.38	3	111.28	3	120.18		
4	58.20	4	92.86	4	111.53	4	120.31		
5	59.20	5	93.33	5	111.80	5	120.43		
6	60.30	6	93.80	6	112.05	6	120.55		
7	61.25	7	94.27	7	112.28	7	120.66		
8	61.61	8	94.73	8	112.52	8	120.77		
9	63.10	9	95.17	9	112.76	9	120.88		
40	64.00	90	95.60	140	113.00	190	121.00		
1	64.95	1	96.04	1	113.20	1	121.10		
2	65.90	2	96.50	2	113.43	2	121.21		
3	66.75	3	96.95	3	113.64	3	121.32		
4	67.60	4	97.40	4	113.85	4	121.43		
5	68.45	5	97.85	5	114.05	5	121.53		
6	69.30	6	98.30	6	114.25	6	121.62		
7	70.10	7	98.74	7	114.45	7	121.71		
8	70.90	8	99.17	8	114.64	8	121.80		
9	71.70	9	99.58	9	114.82	9	121.90		
50	72.50	100	100.00	150	115.00	200	122.00		

道路法ニ依ル受益者負擔規程

四〇 大阪府道路工事受益者負擔規程

(昭和五年三月三十一日)
大阪府令第十二號

- 第一條 知事ハ其ノ執行スル國道、府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 受益者負擔金ヲ分テテ甲種負擔金及乙種負擔金トス
甲種負擔金ハ市街地及市街地トナルヘキ土地ニ於ケル道路(附屬物ヲ含ム以下同シ)ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス
乙種負擔金ハ前項以外ノ土地ニ於ケル道路ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス
- 第三條 甲種負擔金又ハ乙種負擔金ヲ負擔スヘキ地域ハ知事之ヲ決定ス
- 第三條 甲種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依ル
 - 一 道路ヲ新設スル場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ三分ノ一以內トス但シ道路幅員九間ヲ超ユルトキハ九間ニ要スル費用ノ三分ノ一以內トス
 - 二 道路ヲ改良スル場合ニ於テ路面改良ナルトキハ之ニ要スル費用ノ五分ノ一以內トシ其ノ他ノモノナルトキハ之ニ要スル費用ノ四分ノ一以內トス但シ道路幅員九間ヲ超ユルトキハ前號但書ノ例ニ準ス
 - 三 延長五間以上ノ陸道又ハ橋梁ヲ新設又ハ改築スル場合ハ前二號ノ規定ニ拘ラス之ニ要スル費用ノ十分ノ一以內トス
- 第四條 乙種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依ル
 - 一 道路ヲ新設スル場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ三分ノ一以內トス
 - 二 道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ達スル迄ノ地域ヲ限度トス
 - 三 陸道又ハ橋梁ノ新設又ハ改築ニ付テハ知事ノ定ムル地域内ノ土地ノ所有者
- 第六條 乙種負擔金ハ道路ノ新設又ハ改築ニ因リ利益ヲ受クル市町村ニ之ヲ賦課ス
- 第七條 第五條ノ土地ニシテ工事着手ノ日ヨリ起算シ殘存期間十年以上ノ地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タルトキハ地上權者、永小作人又ハ賃借人ヲ土地所有者ト看做ス
- 第八條 各受益者ニ負擔セシムヘキ甲種負擔金ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム
 - 一 第五條第一號及第二號ノ規定ニ依ル地域ハ新設又ハ改築道路ノ狀態及工事ノ種類ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ負擔區トシ各負擔區ノ負擔額ハ該負擔區ニ於ケル道路ニ要スル費用ニ基キ之ヲ算出ス
 - 二 前號負擔區ノ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ地帯トシ其ノ負擔額ノ負擔額ヲ各地帯ニ配分ス
 - 三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シテ配分ス
 - 四 道路ニ接セサル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ面積ニ比例シテ負擔額ヲ配分ス
 - 五 路面改良ニ在リテハ負擔額ノ三分ノ二ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ三分ノ一ヲ面積ニ比例シテ配分ス
 - 六 第五條第三號ノ規定ニ依ル地域ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ負擔區トシ第三條第三號ノ規定ニ依ル負擔區ヲ各負擔區ニ配分ス

- 第七條 受益者負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ニ之ヲ賦課ス但シ耕地整理組合又ハ土地區劃整理組合ノ地區内ノ土地ニシテ未ダ換地處分完了セサルモノニ付テハ其ノ完了ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課スルコトアルヘシ
- 第十一條 受益者負擔金ヲ賦課セラレタル者ハ相當ノ擔保ヲ提供シ前條ノ賦課ヲ受ケタル日ヨリ三年ヲ超ニサル期間内ノ延納ヲ求ムルコトヲ得
- 第十二條 前項ノ延納金ニ對シテハ利子ヲ納付スヘシ
- 第十二條 受益者負擔金ヲ工費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ工費精算額ニ依リ算出シタル額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ受益者負擔金ヲ免ス
 - 一 國府縣市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
 - 二 社寺境内地
 - 三 墳墓地
 - 四 前各號ノ外特ニ知事ニ於テ指定シタル土地
- 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ受益者負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路工事ニ因ル受益者負擔金ヲ負擔シタル後五年ヲ經過セサル土地

- 第五條 甲種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス
 - 一 道路ノ新設又ハ改築ニ付テハ其ノ道路兩側ニ於テ道路又ハ道路トナルヘキ土地ノ境界線ヨリ道路幅員ノ各五倍ノ地域ニ於ケル土地ノ所有者但シ道路幅員ノ十倍以內ノ距離ニ於テ幅員九間以上ノ他ノ並行道路又ハ新設若ハ改築道路ト同等以上ノ効用アリト認ムル他ノ並行道路アルトキハ其ノ道路ニ達スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域ヲ限度トシ道路幅員ノ五倍以內ノ地域ニ於テ土地ノ利用ヲ區分スル道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ達スル迄ノ地域ヲ限度トス
 - 二 路面改良ニ付テハ道路ノ兩側ニ於テ道路境界線ヨリ二十間以內ノ地域ニ於ケル土地ノ所有者但シ道路境界線ヨリ四十間以內ノ距離ニ於テ路面改良工事ヲ執行シタル道路ト同等以上ノ路面ヲ有スル他ノ並行道路ニシテ幅員九間以上ヲ有スルモノ又ハ路面改良工事ヲ執行シタル道路ト同等以上ノ効用アリト認ムル他ノ並行道路アルトキハ其ノ道路ニ達スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域ヲ限度トシ道路境界線ヨリ二十間以內ノ地域ニ於テ土地ノ利用ヲ區分スル

二 土地ノ狀況ニ依リ知事ニ於テ受益者負擔金ヲ減免スルヲ適當ト認メタル土地

第十五條 道路ノ新設又ハ改築ノ費用ニ充ツル爲メ土地物件勞力又ハ金銭ヲ寄附シタル者アルトキハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ受益者負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

道路法第二十四條ノ規定ニ依リ道路工事ヲ施行シタル者ニ付亦同シ道路ノ新設又ハ改築工事ニ要スル土地ヲ耕地整理又ハ土地區劃整理ノ施行ニ依リ土地又ハ無償ニテ國有地ニ編入シタルトキハ其ノ組合ノ組合員ニ對シテハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

第十六條 第十三條及第十四條ノ規定ニ依リ受益者負擔金ヲ減免シタル場合ト雖モ之カ爲他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ增加セサルモノトス第五條第一號及第二號ノ但書ノ規定ニ依リ地域ノ縮少ヲ來シタル場合亦同シ

第十七條 左ニ掲クル事項ハ知事之ヲ告示ス

- 一 受益者負擔金ヲ賦課スヘキ工事名及工事施行個所
- 二 工事着手ノ年月日
- 三 甲種負擔金又ハ乙種負擔金ヲ賦課スヘキ地域
- 四 負擔區及地帶

第十八條 第五條及第六條ニ規定スルモノヲ除クノ外道路ノ新設又ハ改築ニ因リ特ニ利益ヲ受クル事業ヲ營ム者ニ對シ受益者負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十九條 本規程施行ノ爲メ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附 則

第二十條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條 昭和四年度失業救済事業トシテ執行スル道路工事ニシテ

地ニ付テハ實測面積ニ依ル

第八條 規程第五條ノ道路以外ノ地物トハ鐵道専用軌道又ハ平均幅員

五間以上ノ河川、溝渠、池沼及高サ一間以上ノ堤防岸地等ヲ謂フ

第九條 負擔金額ヲ決定シタルトキハ第一號様式ニ依リ受益者ニ之ヲ通知ス

第十條 負擔金ノ延納又ハ分納ヲ求メトスル者ハ前條ノ通知ヲ受ケ

タル日ヨリ十五日以内ニ第二號様式ニ依リ出願スヘシ

第十一條 負擔金ノ延納又ハ分納ヲ許可スル場合ニ於ケル利率ハ六年

分トス

第十二條 負擔金ハ隨時之ヲ徵收ス但シ分納ヲ許可シタル場合ニ於テ

ハ左ノ納期ニ依ル

第一期 四月一日ヨリ同月三十日限

第二期 十月一日ヨリ同月三十一日限

前項但書ノ場合ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ別ニ納期ヲ指定スルコトアルヘシ

第十三條 負擔金ノ延納又ハ分納ヲ許可スル場合ニ於ケル擔保ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、其ノ他知事ニ於テ適當ト認ムル有價證券トス

前項有價證券ノ見積價格ハ時價ノ九割トス

擔保物件ノ價格著シク低下シタルトキハ更ニ擔保ヲ増徴ス

第十四條 負擔金ノ延納又ハ分納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ

- 一 該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スルコトアルヘシ
- 二 指定ノ期間内ニ納付セザルトキ
- 三 擔保物件ノ増徴ニ應ジザルトキ
- 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ法人ニシテ解散シタルトキ

道路法ニ依ル受益者負擔規程

本規程施行前工事ニ着手シタルモノニ付テハ本規程施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

大阪府道路工事受益者負擔規程施行細則

(昭和五年三月三十一日) (大阪府令第十四號)

第一條 本則中規程ト稱スルハ道路工事受益者負擔規程ヲ謂フ

第二條 規程第五條ニ於ケル道路境界線トハ路肩ノ線ヲ謂フ但シ側溝

アル場合ニ於テハ其ノ外側ノ線ヲ以テ道路境界線ト看做ス

第三條 規程第八條ニ於ケル道路ニ接スル土地トハ法敷アル場合ハ法

敷ニ接スル土地、法敷外國有又ハ府有ニ歸セサル場合ハ前條ニ依ル

境界線ニ接スル土地トス

前項前段ニ於ケル土地ノ道路ニ接スル部分ノ長サハ其ノ法敷ニ相當

スル前條ニ依ル境界線ノ長サヲ謂フ

第四條 道路ノ新設又ハ改築ノ場合ニ於ケル規程第八條第一號ノ負擔

區ハ之ヲ左ノ地帶ニ區分ス

第一地帶 道路ノ境界線幅員ノ一倍ニ相當スル地域

第二地帶 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域

第三地帶 前號ノ地域界ヨリ道路幅員ノ二倍ニ相當スル地域

第五條 前條地帶ノ負擔率ハ左ノ區分ニ依ル

第一地帶 百分ノ六十

第二地帶 百分ノ二十五

第三地帶 百分ノ十五

第六條 負擔義務者ハ既登記ノ土地ニ付テハ土地登記簿ニ依リ未登記

ノ土地ニ付テハ知事之ヲ定ム

第七條 土地ノ面積ハ土地臺帳登錄面積ニ依リ土地臺帳ニ登錄ナキ土

前項ニ依リ許可ヲ取消サレタル者負擔金ヲ完納セザルトキハ其ノ擔保物件ハ知事之ヲ處分シ負擔金ニ充當シ不足アルトキハ之ヲ追徴シ剩餘アルトキハ之ヲ還付ス

附 則

本則ハ道路工事受益者負擔規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

第 號

昭和 年 月 日

大阪府 知事

受益者負擔金額決定通知

國道何々(又ハ何々)線工事費ニ關シ昭和五年三月大阪府令第十三號道路工事受益者負擔規程ニ依ル貴股負擔金ハ左記ノ通決定候ニ付御了知相成度此段及通知候也

左記

一金	負擔金總額	單位高	第一地帶	間口	間ニ付金
	負擔金	面積	第二地帶	坪	坪ニ付金
			第三地帶	同上	坪ニ付金

内 譯

土地	第一地帶			第二地帶			第三地帶			計
	間口	面積	坪數	間口	面積	坪數	間口	面積	坪數	
町										
地番										
間數										
負擔金										
坪數										
負擔金										
坪數										
負擔金										
坪數										
負擔金										
坪數										
負擔金										
坪數										
負擔金										
坪數										

第二號様式

受益者負擔金延分納額

一金 内 課 負擔金 利子

但シ何々線第何負擔區道路工事受益者負擔金

前記金額ハ左記ノ通延分納許可相成度別紙擔保物件納付書添付此段相願候也

昭和 年 月 日

住所

負擔義務者

大阪府知事 殿

一 延納期限

内 課 負擔金額

納付金額

擔保物件納付書

年 月 日

一 擔保物件

額	面積	種類	枚数	額	面積	總額
計						

右何々線第何負擔區受益者負擔金延分納擔保トシテ納付候也

昭和 年 月 日

住所

負擔義務者

大阪府知事 殿

四一 福井縣道路工事受益者負擔金徵收規程

(昭和五年四月十三日 福井縣令第十五號)

第一條 道路法第三十九條ニ依リ國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ要スル工事ノ費用ハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 負擔金ヲ分チテ第一種負擔金及第二種負擔金トス

第一種負擔金ハ市街地及市街地ト爲ルヘキ地ニ於ケル道路(附屬物ヲ合ム以下同シ)ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テ之ヲ賦課ス

第二種負擔金ハ前項ニ規定スル以外ノ地ニ於ケル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テ之ヲ賦課ス

第一種負擔金又ハ第二種負擔金ヲ賦課スヘキ地ノ區域ハ知事之ヲ定ム

第三條 第一種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 步道ノ鋪裝費ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

二 車道ノ鋪裝費ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス但シ道路幅員有効幅員(以下同シ)九間ヲ超ニルトキハ九間ヨリ步道ノ幅員ヲ減シタルモノニ要スル費用ノ四分ノ一以内トス

三 側溝及並木ニ關スル費用ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

四 延長五間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ費用ニ付テハ其ノ六分ノ一以内トス

五 前各號ニ掲ケル以外ノ費用ニ付テハ其ノ三分ノ一以内トス但シ道路幅員九間ヲ超ニルトキハ九間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

第四條 第二種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 道路ノ鋪裝費ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス但シ道路幅員三間ヲ超ニルトキハ三間ニ要スル費用ノ四分ノ一以内トス

二 側溝ノ費用ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

三 延長五間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ費用ニ付テハ其ノ六分ノ一以内トス

四 前各號ニ掲ケル以外ノ費用ニ付テハ其ノ三分ノ一以内トス但シ道路幅員三間ヲ超ニルトキハ三間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項第一號但書及第四號但書ニ規定スル道路幅員ハ之ヲ六間迄増加シ負擔金ヲ定ムルコトヲ得

第五條 第一種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス

一 道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ其ノ道路ノ兩側ニ於テ道路又ハ道路ト爲ルヘキ土地ノ境界線ヨリ道路幅員ノ各五倍ノ地域内ニ於ケル土地ノ所有者但シ道路幅員ノ十倍以内ノ距離ニ於テ幅員九間以上ノ他ノ並行道路又ハ新設若クハ改築道路ト同等以上ノ効用アリト認ムル他ノ並行道路アルトキハ其ノ道路ニ達スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域ヲ限度トシ道路ノ幅員ノ五倍以内ノ地域ニ於テ土地ノ利用ヲ區分スヘキ道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ達スル迄ノ地域ヲ限度トス

二 橋梁若ハ陸道ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ特ニ利益ヲ受クル市町村及知事ノ定ムル地域内ノ土地所有者

道路法ニ依ル受益者負擔規程

負擔義務者

大阪府知事 殿

四二 福井縣道路工事受益者負擔金徵收規程

(昭和五年四月十三日 福井縣令第十五號)

第一條 道路法第三十九條ニ依リ國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ要スル工事ノ費用ハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 負擔金ヲ分チテ第一種負擔金及第二種負擔金トス

第一種負擔金ハ市街地及市街地ト爲ルヘキ地ニ於ケル道路(附屬物ヲ合ム以下同シ)ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テ之ヲ賦課ス

第二種負擔金ハ前項ニ規定スル以外ノ地ニ於ケル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テ之ヲ賦課ス

第一種負擔金又ハ第二種負擔金ヲ賦課スヘキ地ノ區域ハ知事之ヲ定ム

第三條 第一種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 步道ノ鋪裝費ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

二 車道ノ鋪裝費ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス但シ道路幅員有効幅員(以下同シ)九間ヲ超ニルトキハ九間ヨリ步道ノ幅員ヲ減シタルモノニ要スル費用ノ四分ノ一以内トス

三 側溝及並木ニ關スル費用ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

四 延長五間以上ノ橋梁又ハ陸道ノ費用ニ付テハ其ノ六分ノ一以内トス

三 側溝ノ新設若ハ改築ニ關スル工事又ハ並木ノ植栽ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ所有者

第六條 前條ノ土地ニシテ工事着手ノ日ヨリ起算シ存続期間十五年以上ノ地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タルトキハ前條ノ適用ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ土地所有者ト見做ス

前項ノ存続期間ハ都市計畫區域内ノ土地ニ付テハ十年トス

第七條 第二種負擔金ハ道路ノ新設又ハ改築ニ因リ利益ヲ受クル市町村ニ之ヲ賦課ス

第八條 各受益者ニ負擔セシムヘキ第一種負擔金ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 第五條第一號ノ規定ニ依リル地域ハ新設又ハ改築道路ノ狀態及工事ノ種類ニ依リ一又ハ二以上ノ負擔區トシ各負擔區ノ負擔額ハ該負擔區ニ接スル道路ニ要スル費用ニ基キ之ヲ算出ス

二 前號負擔區ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ地帯トシ其ノ負擔額ノ負擔額ヲ各地帯ニ配分ス

三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シテ配分ス

四 道路ニ接セサル地帯内ノ土地ニ關シテハ其ノ面積ニ比例シテ負擔額ヲ配分ス

五 第五條第二號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ受益ノ程度ヲ斟酌シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス

六 第五條第三號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ長サニ比例シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス

第九條 第二種負擔金ハ受益ノ程度ヲ斟酌シ負擔金總額ヲ各負擔者ニ

配分ス

第十條 左ニ掲クル土地ニ關シテハ負擔金ヲ免ス

一 地租條例第四條ニ規定スル土地

二 市町村稅ヲ課セサル土地

三 慈善、學術、技藝、衛生、保安其ノ他營利ヲ目的トセサル公益事業ニ供スル設備ノ構内地但シ賃貸又ハ他ノ目的ニ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除セラレタル土地ニシテ其ノ後五年以内ニ用途ヲ變更シ前項ニ該當セサルニ至リタルトキハ變更ノ日ノ現在ノ所有者ニ對シ其ノ賦課スヘカリシ額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

一 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路工事ニ因ル受益者負擔金ヲ負擔シタル後五年ヲ經過セサル土地

二 土地ノ狀況ニ依リ負擔金ヲ減免スルヲ適當ト認メタル土地

第十二條 道路工事ノ爲夫設現品ヲ賦課シタル場合又ハ道路工事費ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シタル場合ニ於テハ其ノ賦課若ハ寄附シタル金額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ工事ヲ執行シテ之ヲ寄附シタル場合亦同シ

第十三條 前三條ノ規定ニ依リ受益者負擔金ヲ減免シタル場合ト雖之レカ爲他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ增加セス第五條第一號但書ノ規定ニ依リ地域ノ縮少ヲ來シタル場合亦同シ

第十四條 負擔金ハ工事毎ニ其ノ着手ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課ス但シ耕地整理組合又ハ土地區畫整理組合ノ地域内ノ土地ニシテ未タ換

一部ヲ受益者ヲシテ負擔セシムル場合ニ於テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 受益者負擔金ヲ分チテ甲種負擔金及乙種負擔金トス

甲種負擔金ハ市街地及市街地トナルヘキ土地ニ於ケル道路(附屬物ヲ含ム以下同シ)ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス

乙種負擔金ハ前項以外ノ土地ニ於ケル道路ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス

甲種負擔金又ハ乙種負擔金ヲ賦課スヘキ地域ハ知事之ヲ決定ス

第三條 甲種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依ル

一、道路ノ新設又ハ改築スル場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス但シ道路幅員九間ヲ超ユルトキハ九間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

二 延長五間以上ノ隧道又ハ橋梁ヲ新設又ハ改築スル場合ハ前號ノ規定ニ拘ラス之ニ要スル費用ノ五分ノ一以内トス

三 側溝ノ新設又ハ並木ノ植栽ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ二分ノ一以内トス

第四條 乙種負擔金ノ總額ハ左ノ各種ニ依ル

一 道路ヲ新設又ハ改築スル場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス但シ道路幅員三間ヲ超ユルトキハ三間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

二 延長五間以上ノ隧道又ハ橋梁ヲ新設又ハ改築スル場合ハ前號ノ規定ニ拘ラス之ニ要スル費用ノ五分ノ一以内トス

三 側溝ヲ新設スル場合ニ於テハ之ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

第五條 甲種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス

道路法ニ依ル受益者負擔規程

地處分ヲ完了セサルモノニ付テハ其ノ完了ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十五條 負擔金ハ工事着手ノ都度之ヲ徵收ス但シ五年以内ノ分納ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十六條 負擔金ノ賦課ヲ受ケタル者賦課後ニ於テ賦課物件タル土地若ハ權利ヲ讓渡シ又ハ其ノ權利消滅シタルトキハ負擔金納付ノ期間ニ拘ハラス一時ニ之ヲ徵收ス

第十七條 左ニ掲クル事項ハ知事之ヲ告示ス

一 負擔金ヲ賦課スヘキ工事名及工事施行箇所

二 工事着手ノ年月日

三 第一種負擔金又ハ第二種負擔金ヲ賦課スヘキ地域ノ區域

第十八條 第五條及第七條ニ定ムルモノノ外道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル事業ヲ爲ス者ニ對シ負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十九條 本令施行ノ爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和五年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年四月一日以後ニ於テ着手シタル工事ニシテ未タ其ノ工事ヲ了ヘサルモノハ負擔金ノ賦課ニ關シ本令施行ノ日ヲ以テ工事着手ノ日ト看做ス

三 愛媛縣道路新設改築受益者負擔規則

(昭和五年五月九日)

第一條 國道又ハ府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ノ

一 道路ノ新設又ハ改築ニ付テハ道路ノ兩側ニ於テ其ノ境界線ヨリ各奥行十五間以内ノ地域ニアル土地ノ所有者但シ三十間以内ノ距離ニ於テ幅員十間以上ノ他ノ並行道路又ハ新設若ハ改築道路ト同等以上ノ效用アリト認ムル他ノ並行道路アルトキハ其ノ道路ニ違スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域ヲ限度トシ道路ノ境界線ヨリ十五間以内ノ地域ニ於テ土地ノ利用ヲ區分スル道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ違スル迄ノ地域ヲ限度トス

二 隧道橋梁ノ新設、改築又ハ側溝ノ新設若ハ並木ノ植栽ニ付テハ知事ノ定ムル地域内ノ土地ノ所有者

第六條 乙種負擔金ハ道路ノ新設又ハ改築ニ因リ利益ヲ受クル市町村ニ之ヲ賦課ス

第七條 第五條ノ土地ニシテ工事着手ノ日ヨリ起算シ殘存期間十年以上ノ地上權永小作權又ハ賃借權ノ目的タルトキハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ土地所有者ト看做ス

第八條 各受益者ニ負擔セシムヘキ甲種負擔金ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 第五條第一號ノ規定ニ依ル地域ハ新設又ハ改築道路ノ狀態及工事ノ種類ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ負擔區トシ各負擔區ノ負擔額ハ該負擔區ニ於ケル道路ニ要スル費用ニ基キ之ヲ算出ス

二 前號負擔區ハ利益ヲ受クル程度ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ地帯ニ區分シ其ノ負擔區ノ負擔額ヲ各地帯ニ配分ス

三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ付テハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ他ノ半額ヲ其ノ面積ニ比例シテ配分ス

四 道路ニ接セサル地帯内ノ土地ニ付テハ其ノ面積ニ比例シテ負擔

ヲ配分ス

- 五 第五條第二號ノ規定ニ依ル地域ハ利益ヲ受クル程度ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ負擔區トシ第三條第二號又ハ第三號ノ規定ニ依ル負擔額ヲ各負擔區ニ配分ス
- 六 前號ノ各負擔區ニ於ケル負擔額ノ配分ハ第四號ノ例ニ依ル
- 第九條 乙種負擔金ハ受益ノ程度ヲ斟酌シ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス
- 第十條 受益者負擔金ハ工事着手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ニ之ヲ賦課ス
- 第十一條 受益者負擔金ヲ賦課セラレタル者ハ相當ノ擔保ヲ提供シ前條ノ賦課ヲ受ケタル日ヨリ二年ヲ超エサル期間内ノ延期ヲ求ムルコトヲ得
- 前項ノ延納金ニ對シテハ利子ヲ納付スヘシ
- 第十二條 受益者負擔金ヲ工事費豫算額ニ依リ賦課シタル場合ニ於テ其ノ賦課額ハ工事費精算額ニ依リ算出シタル賦課額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ受益者負擔金ヲ免ス
 - 一 國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
 - 二 社寺境内地及墓地
- 三 前各號ノ外特ニ知事ニ於テ指定シタル土地
- 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ受益者負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路工事ニ因ル受益者負擔

金ヲ負擔シタル後五年ヲ經過セサル土地

- 二 土地ノ狀況ニ依リ知事ニ於テ受益者負擔金ヲ減免スルヲ適當ト認メタル土地
- 第十五條 道路ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地物件勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ道路法第二十四條ノ規定ニ依リ道路工事ヲ施行シタル者ニ付亦同シ
- 第十六條 第十二條及第十三條ノ規定ニ依リ受益者負擔金ヲ減免シタル場合ト雖モ他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ増加セサルモノトス第五條第一號但書ノ規定ニ依リ地域ノ縮少ヲ來シタル場合亦同シ
- 第十七條 左ニ掲クル事項ハ知事之ヲ告示ス
 - 一 受益者負擔金ヲ賦課スヘキ工事名及工事施行箇所
 - 二 工事着手ノ年月日
 - 三 甲種負擔金又ハ乙種負擔金ヲ賦課スヘキ地域
 - 四 負擔區及地帶
- 第十八條 本規則施行ノ爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム
- 第十九條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 山梨縣道路工事受益者負擔金徵收規程

(昭和五年八月十一日 山梨縣令第三十五號)

- 第一條 知事ハ國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムル

場合本規程ノ定ムル處ニ因ル

第二條 負擔金ヲ分チテ第一種負擔金及第二種負擔金トス

第一種負擔金ハ市街地及市街地ニ準スヘキ地ニ於ケル道路(附屬物ヲ合ム以下同シ)ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス

第二種負擔金ハ前項ニ規定スル以外ノ地ニ於ケル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付之ヲ賦課ス

第一種負擔金又ハ第二種負擔金ヲ賦課スヘキ地ノ區域ハ知事之ヲ定ム

第三條 第一種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 歩道ノ舗裝費ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス
- 二 車道ノ舗裝費ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス

但道路幅員(有効幅員以下同シ)九間ヲ超ニルトキハ九間ヨリ歩道ノ幅員ヲ減シタルモノニ要スル費用ノ四分ノ一以内トス

三 側溝及並木ニ關スル費用ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス

四 延長五間以上ノ橋梁又ハ隧道ノ費用ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス

五 前各號ニ掲クル以外ノ費用ニ付テハ其ノ三分ノ一以内トス但道路幅員九間ヲ超ニルトキハ九間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

第四條 第二種負擔金ノ總額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 道路ノ舗裝費ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス

- 二 側溝ノ費用ニ付テハ其ノ二分ノ一以内トス
- 三 延長五間以上ノ橋梁又ハ隧道ノ費用ニ付テハ其ノ四分ノ一以内トス

四 前各號ニ掲クル以外ノ費用ニ付テハ其ノ三分ノ一以内トス但道路幅員三間ヲ超ニルトキハ三間ニ要スル費用ノ三分ノ一以内トス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項第一號但書及第四號但書ニ規定スル道路幅員ハ之ヲ六間迄増加シ負擔金ヲ定ムルコトヲ得

第五條 第一種負擔金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ賦課ス

- 一 道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ其ノ道路ノ兩側ニ於テ道路又ハ道路トナルヘキ土地ノ境界線ヨリ道路幅員ノ各五倍ノ地域内ニ於ケル土地ノ所有者但シ道路幅員ノ十倍以内ノ距離ニ於テ幅員九間以上ノ他ノ併行道路又ハ新設若ハ改築道路ト同等以上ノ効用アリト認ムル他ノ並行道路アルトキハ其ノ道路ニ達スル迄ノ距離ノ二分ノ一ノ地域ヲ限度トシ道路幅員ノ五倍以内ノ地域ニ於テ土地ノ利用ヲ區分スヘキ道路以外ノ地物アルトキハ其ノ地物ニ達スル迄ノ地域ヲ限度トス
- 二 橋梁若ハ隧道ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ付テハ特ニ利益ヲ受クル市町村及知事ノ定ムル地域内ノ土地所有者
- 三 側溝ノ新設若ハ改築ニ關スル工事又ハ並木ノ植栽ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ所有者

第六條 前條ノ土地ニシテ工事着手ノ日ヨリ起算シ存續期間十五年以上ノ地上權、永小作權又ハ賃借權ノ目的タルトキハ前條ノ適用ニ付テハ地上權、永小作人又ハ賃借人ヲ土地所有者ト看做ス

前項ノ存續期間ハ都市計畫區域内ノ土地ニ付テハ十年トス

第七條 第二種負擔金ハ道路ノ新設又ハ改築ニ困リ利益ヲ受クル市町村ニ之ヲ賦課ス

第八條 各受益者ニ負擔セシムヘキ第一種負擔金ノ負擔額ハ左ノ各號

- ニ依リ之ヲ定ム
- 一 第五條第一條ノ規定ニ依ル地域ハ新設又ハ改築道路ノ狀態及工事ノ種額ニ依リ一又ハ二以上ノ負擔區トシ各負擔區ノ負擔額ハ該負擔區ニ接スル道路ニ要スル費用ニ基キ之ヲ算出ス
- 二 前號負擔區ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ之ヲ一又ハ二以上ノ地帯トシ其ノ負擔區ノ負擔額ヲ各地帯ニ配分ス
- 三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シテ配分ス
- 四 道路ニ接セサル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ面積ニ比例シテ負擔額ヲ配分ス
- 五 第五條第二號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ受益ノ程度ヲ斟酌シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス
- 六 第五條第三號ノ規定ニ依ル負擔金ニ付テハ道路ニ接スル土地ノ長サニ比例シテ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス
- 第九條 第二種負擔金ハ受益ノ程度ヲ斟酌シ負擔金總額ヲ各負擔者ニ配分ス
- 第十條 左ニ掲クル土地ニ付テハ負擔金ヲ免ス
 - 一 國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
 - 二 社寺境内地
 - 三 墳墓地
 - 四 前各號ノ外知事ノ指定スル土地
- 前項ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除セラレタル土地ニシテ其ノ後五年以内ニ用途ヲ變更シ前項ニ該當セサルニ至リタル時ハ變更ノ日ノ現在

- ノ所有者ニ對シ其ノ賦課スヘカリシ額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ
- 第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ
 - 一 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路工事ニ依ル受益者負擔金ヲ負擔シタル後五年ヲ經過セサル土地
 - 二 土地ノ狀況ニ依リ負擔金ヲ減免スルヲ適當ト認メタル土地
- 第十二條 道路工事ノ爲夫役現品ヲ賦課シタル場合若ハ道路工事費ヲ補足スル爲土地、物件、勞力、又ハ金錢ヲ寄附シタル場合ニ在リテハ其ノ賦課ヲ受ケ又ハ寄附シタル額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得道路法第二十四條ノ規定ニ依リ道路工事ヲ施行シタルモノニ付亦同シ
- 第十三條 前三條ニ依リ負擔金ヲ免除シ又ハ輕減シタル場合ト雖之レカ爲他ノ受益者ニ對スル負擔金ハ之ヲ増額セサルモノトス第五條第一號但書ノ規定ニ依リ地域ノ縮少ヲ來シタル場合亦同シ
- 第十四條 負擔金ハ工事毎ニ其ノ着手ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課ス但シ耕地整理組合又ハ土地區劃整理組合ノ地域内ノ土地ニシテ未ダ換地處分ヲ完了セサルモノニ付テハ完了ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ賦課スルコトアルヘシ
- 第十五條 負擔金ハ工事着手ノ都度之ヲ徵收ス但シ三年以内ノ分納ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第十六條 負擔金ノ賦課ヲ受ケタル者賦課後ニ於テ賦課物件タル土地若クハ權利ヲ讓渡シ又ハ其權利消滅シタルトキハ負擔金納付ノ期限ニ拘ラス一時ニ之ヲ徵收ス
- 第十七條 左ニ掲クル事項ハ知事之ヲ告示ス

- 一 負擔金ヲ賦課スヘキ工事名及工事施行箇所
- 二 工事着手ノ年月日
- 三 第一種負擔金又ハ第二種負擔金ヲ賦課スヘキ地ノ區域
- 第十八條 第五條及第七條ニ定ムルモノノ外道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル事業ヲ爲ス者ニ對シ負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ
- 第十九條 本規程施行ノ爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附 則

本規程ハ昭和五年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第三篇 都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程比較

番號	事業執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(一)	都市計畫法六・五	都市計畫事業	都市計畫事業ニ依リ著シク利益ヲ受クル者	一	受クル利益ノ全部又ハ一部	受クル利益ノ限度ニ於テ	一	一
(二)	都市計畫法六・六 大正八・一・二六 都市計畫法及 十條九條施行令	都市計畫事業	(1) 行政官廳ノ施行事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者 (2) 公共團體ノ公共事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者 (3) 公共團體ノ公共事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者 (4) 公共團體ノ公共事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者 ノニシテ別ニ指定スル者	一	受クル利益ノ全部又ハ一部	受クル利益ノ限度ニ於テ	一	一

都市計畫法ニ依ル受益者負擔規程比較

番號	事業執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(三) 1	大正九・九六 内務省令二八 號(昭和五・一 改訂)内務省令三 號(昭和五・一 改訂)	都市計畫事業 トシテノ 新設擴張 (1)道路廣場 (2)路面改良 (3)河川運河 新設改修 (4)軌道ノ建 設	(1)有租地所有者 (2)賃借者 (3)十年以上ノ 地上權、永小 作權、永小作 權、及賃借權 ノ目的タル上 ノ土地ニツイテ ハ賃借者ノ事 業ヲ起算シテ 手ノ口ヨリ起 算シテ又ハ無 租地ニシテ公 用ニ供セラル ル土地ハ就テ ハ賃借人ノ永 小作人地上 又ハ賃借人 ノ現在ニ於ケ ル工事負擔 者	道路、廣場、軌道、河川、 又ハ運河ノ附近ニ於テ別 内務大臣ノ定ムル區劃	新設ノ工事費 (1)道路ノ平均 幅員ノ三倍以 上ノ擴張ハ 新設ト看做ス (2)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム (3)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム (4)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム	(1)負擔區域ヲ負擔區ニ細 分シ各負擔區ノ工費ニ就 キ負擔額ヲ定ム (2)各負擔區ノ利益ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (3)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (4)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス	重複負擔及ヒ 於テ減額ス ル日ヨリ五年 以テ分納ヲ認 ム	分納ヲ認ム
(四) 大正一・一八七 號 内務省令一七	大阪市市長 道路ノ新設擴 築	道路ノ兩側ニ於テ道路境界 ヨリ道路幅員ノ五倍カ別 ニ定ム (例外規定ハ内務大臣カ別 ニ定ム)	新設ノ工事費 (1)道路ノ平均 幅員ノ三倍以 上ノ擴張ハ 新設ト看做ス (2)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム (3)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム (4)各負擔區ノ 面積ノ厚薄 ニ依リテ各受 益者ノ負擔セ シム	道路片側ニ於テ負擔金ノ1/2ハ間口ニ比例シ テ工事費ノ1/2ハ土地面積ニ比例シ テ各受益者ニ負擔セシム	(1)負擔區域ヲ負擔區ニ細 分シ各負擔區ノ工費ニ就 キ負擔額ヲ定ム (2)各負擔區ノ利益ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (3)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (4)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス	重複負擔ノ場 合ハ一部免除 ヨリ七年以 内ノ分納ヲ認 ム	分納ヲ認ム	
(五) 大正一・一八七 號 内務省令一七	大阪市市長 路面改良	(四)ノ規定ニ同シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上

番號	事業執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(六) 大正一・〇六三 號 内務省令一八 號	東京市長 内閣認可四谷 内務省令四號 (新橋)七地區 整理事業ニ 伴フ道路新設 七同六號昭和 三・七同三五號 ニ依リ改正)	(1)道路幅員三間以下ノ場 合ハ道路兩側ニ於テ道路 境界線ヨリ與行十間 (2)道路幅員三間以上ノ場 合ハ同様ニシテ與行十五 間	(1)負擔區域ヲ負擔區ニ細 分シ各負擔區ノ工費ニ就 キ負擔額ヲ定ム (2)各負擔區ノ利益ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (3)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス (4)各負擔區ノ面積ノ厚薄 ニ依リテ各負擔區ノ負擔 額ヲ一定率ニヨ リテ配分ス	同上	同上	同上	同上	同上
(七) 大正一・二七三 號 内務省令二四	大阪市市長 下水道事業	(三)及(四)ノ規程ニ同 シ	同上	同上	同上	同上	同上	同上
(八) 大正三・一〇・三 號 内務省令四〇 號(七)ノ特 別規定ナリ)	大阪市市長	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

番號	事業執行者 根據規定	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(九)	神戸市長 大正三・三・四 務省令五號	路面改良	(四)ノ規定ニ同シ	(五)ノ規定ニ同シ	(五)ノ規定ニ同シ	(五)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	工事着手後一年以内ノ分納ヲ認ム
(一〇)	神戸市長 大正三・七・一 内務省令一七 號(九)ノ特 別規定ナリ	—	—	(1)負擔區域内ニ河川、運河、溝渠、下水道等土地利用ヲ區分スヘキ地域アル時ハ之ヲ以テ負擔區域ノ眼界トス (2)效用同等以上ト認メラルヘキ並行道路カ道路境界線ヨリ奥行四十間以内ニアル時ハ兩道路間ノ中央ヲ負擔區劃ノ限界トス (3)街路剪除ノ部分ニアツテハンノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタ線ヲ道路境界線ト看做ス	(5)ノ規定ニ同シ	(1)(4)ノ(1)ニ同シ (2)(4)ノ(2)ニ同シ (3)(a)道路隣接地帯ノ地帯負擔額ノ1/3ヲ開口ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム (b)其他ノ地帯ニ地帯負擔額ヲ面積ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム	宅地トシテ利用シ難キ部分ヲ負擔スルヲ免除スルヲ得	一年以内ノ分納ヲ認ム
(一一)	神戸市長 大正三・三・四 務省令六號	道路、廣場ノ新設擴築	(四)ノ規定ニ同シ 本規定施行前既ニ着手セル工事は本規定施行日ヲ以テ着手日ト看做ス	(1)道路兩側ニ於テ道路境界線ヨリ道路幅員ノ十倍 (2)廣場兩側ニ於テ廣場境界線ヨリ奥行六十間 (10)ノ規定ニ同シ 並行道路ノ間隔八十倍以内トス	工事費ノ1/4	(1)(4)ノ(1)ニ同シ (2)(4)ノ(2)ニ同シ (3)(a)道路隣接地帯ノ地帯負擔額ノ1/3ヲ開口ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム (b)其他ノ地帯ニ地帯負擔額ヲ面積ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム	(四)ノ規定ニ同シ	工事着手日後一年以内ノ分納ヲ認ム
(一二)	神戸市長 大正三・七・一 内務省令一八	—	—	(10)ノ規定ニ同シ 並行道路ノ間隔八十倍以内トス	—	(1)(4)ノ(1)ニ同シ (2)(4)ノ(2)ニ同シ (3)(a)道路隣接地帯ノ地帯負擔額ノ1/3ヲ開口ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム (b)其他ノ地帯ニ地帯負擔額ヲ面積ニ比シテ各受益者ニ負擔セシム	(四)ノ規定ニ同シ	—

番號	事業執行者 根據規定	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(一三)	京都市長 大正三・三・一 内務省令七號	道路ノ新設擴築	(一)ノ規定ニ同シ	(1)大正七年三月以前ノ京都市域内ニ於テハ(大正八年十二月二十七日)内閣認可ノ京都市區改正設計四號線鳴川以東ノ分及第八、第一三號線ヲ除ク外ハ、道路側ニ於テ道路幅員ノ五倍 (2)(10)ノ規定ニ同シ (並行道路間隔ハ舊市内ハ七倍以内其他ハ二十倍以内トス)	新設：工事費ノ1/3 擴築：工事費ノ1/4	(1)(4)ノ(1)ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(一)ノ規定ニ同シ
(一四)	京都市長 大正三・三・一 内務省令九號 (一三)ノ特別規定ナリ	—	—	(1)道路兩側ニ於テ道路幅員ノ七倍 (2)廣場兩側ニ於テテノ境界線ヨリ之ニ接續スル道路幅員ノ七倍 (例外規定ハ別ニ内務大臣ム)	—	(1)(4)ノ(1)ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	工事着手後三年以内ノ分納ヲ認ム
(一五)	名古屋市長 大正三・一・八 内務省令二五號 (大正一・五・一内務省令一號ニ依リ改正)	道路廣場ノ新設擴築	(四)ノ規定ニ同シ	(1)道路兩側ニ於テ道路幅員ノ七倍 (2)廣場兩側ニ於テテノ境界線ヨリ之ニ接續スル道路幅員ノ七倍 (例外規定ハ別ニ内務大臣ム)	新設：工事費ノ1/4 擴築：工事費ノ1/3	(1)(4)ノ(1)ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	工事着手後三年以内ノ分納ヲ認ム
(一六)	名古屋市長 大正四・四・六 務省令六號 (一五)ノ特別規定	—	—	(10)ノ規定ニ同シ 並行道路ノ間隔八十倍以内トス	—	(1)(4)ノ(1)ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	—

番號	事業執行者 根據規定	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準額	増減免規定	賦課方法
(三三)	堺市 昭和三十三 務省令三三 昭和三十四 九内務省令十 二號ニ依リ改 正)	道路ノ新設擴 築	(四)ノ規定ニ同シ	(一)道路又ハ廣場ノ周圍ニ於テ其ノ境界線ヨリ (a)道路ノ路幅ノ五倍 (b)廣場ノ路幅ニ接スル最大幅員道路ノ幅員ノ五倍 (三)例外規定(1)(2)(3)ノ規定ニ同シ (四)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ
(三四)	大阪府知事 昭和三十二 内務省令五 四號	道路ノ新設擴 築	(四)ノ規定ニ同シ	(一)道路ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ境界線ヨリ其兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ五倍ノ地域 (二)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	(四)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ
(三五)	清水市長 昭和三十一 二八内務省 令四二號	道路ノ新設擴 築	(四)ノ規定ニ同シ	(一)並行道路間隔ハ二倍以 内トス (二)事情ニヨリ區域ヲ擴張スル場合必要ヲ認メタル時ハ路幅ノ十倍以內ニ於テ内務大臣之ヲ決ス	(四)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ
(三六)	岡市長 昭和三十一 二八内務省 令四三號	道路ノ新設擴 築	(四)ノ規定ニ同シ	(一)並行道路間隔ハ二倍以 内トス (二)事情ニヨリ區域ヲ擴張スル場合必要ヲ認メタル時ハ路幅ノ十倍以內ニ於テ内務大臣之ヲ決ス	(四)ノ規定ニ同シ	(四)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ	(二)ノ規定ニ同シ

(三七)	王子町長 昭和三十一 五内務省令 二〇號	下水道改良事 業	(三)ノ規定ニ同シ但シ排水區域内 ノ受益者 ノ受益者	(一)原則トシテ河川ノ境界線ヨリ其兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ五倍ノ地域 (二)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	事業費 ¹⁾ 新設事業費 ²⁾ 擴築事業費 ³⁾ 擴築平均幅員二倍以上ノ場合ハ新設ト看做ス	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七倍マテニ擴張シタル時ハ間口負擔割ヲ得 低下スル事ヲ得	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七ノ規定ニ同シ	負擔金ヲ十四 等分シテ毎年 ム
(三八)	東京府知事 昭和三十一 五内務省令二 一號	目黒川改修工 事	(二)ノ規定ニ同シ	(一)原則トシテ河川ノ境界線ヨリ其兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ五倍ノ地域 (二)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	事業費 ¹⁾ 新設事業費 ²⁾ 擴築事業費 ³⁾ 擴築平均幅員二倍以上ノ場合ハ新設ト看做ス	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七倍マテニ擴張シタル時ハ間口負擔割ヲ得 低下スル事ヲ得	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七ノ規定ニ同シ	負擔金ヲ十四 等分シテ毎年 ム
(三九)	仙臺市長 昭和三十一 七内務省令二 七號	道路新設擴築	(四)ノ規定ニ同シ	(一)道路ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ五倍 (二)市區域外ノ土地ニ於テハ必要ニ應ジテ路幅ノ七倍 迄擴張スルヲ得 (三)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	事業費 ¹⁾ 新設事業費 ²⁾ 擴築事業費 ³⁾ 擴築平均幅員二倍以上ノ場合ハ新設ト看做ス	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七倍マテニ擴張シタル時ハ間口負擔割ヲ得 低下スル事ヲ得	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七ノ規定ニ同シ	負擔金ヲ十四 等分シテ毎年 ム
(四〇)	東京市長 昭和三十一 四内務省令三 四號	道路新設改修 工事	(二)ノ規定ニ同シ	(一)道路ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ五倍 (二)市區域外ノ土地ニ於テハ必要ニ應ジテ路幅ノ七倍 迄擴張スルヲ得 (三)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	事業費 ¹⁾ 新設事業費 ²⁾ 擴築事業費 ³⁾ 擴築平均幅員二倍以上ノ場合ハ新設ト看做ス	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七倍マテニ擴張シタル時ハ間口負擔割ヲ得 低下スル事ヲ得	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七ノ規定ニ同シ	負擔金ヲ十四 等分シテ毎年 ム
(四一)	東京市長 昭和三十一 四内務省令三 五號	古川改修 工事	(二)ノ規定ニ同シ	(一)河川ノ境界線ヨリ其兩側ニ於テ三十間ノ地域トス (二)例外規定ハ内務大臣別ニ定ム	事業費 ¹⁾ 新設事業費 ²⁾ 擴築事業費 ³⁾ 擴築平均幅員二倍以上ノ場合ハ新設ト看做ス	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七倍マテニ擴張シタル時ハ間口負擔割ヲ得 低下スル事ヲ得	(一)七ノ規定ニ同シ (二)七ノ規定ニ同シ	負擔金ヲ十四 等分シテ毎年 ム

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(一) 根拠規定	大正二・二・七 告示六四號 日市港線ニ達 スル道路工 事	(ロ) 鋪裝工事 但シ小修繕 ハ此ノ限ニハ 在ラス	同上ノ外債権ノ目 的タル土地ニ付テ ハ此ノ限ニハ債権者	真行三十間 一、道路ノ境界ヨ リ十間以内(一 等地) 二、一ヨリ十 間(二等地) 三、二ヨリ十 間(三等地)	工事費ノ二分 ノ一以内 ノ一以上 ノ六間以上 ノ六間以上 ノ間 額ニ正ム	二人以上アルトキハ損 傷ノ原因ナルトキハ損 業ノ種類ヲ考慮シラ分 擔セシム	(イ) 同一ノ土地ニシテ 重復シテ鋪裝工事費 ヲ負擔スル地域ニ該 當スルモノニ付テハ該 面負擔ノ一部ヲ免 除スルコトアルヘシ (ロ) 前(ハ)同斷但 シ住宅兼用ト認ムル モノニ付テハ他ノ目 的ニ使用スルモノト 看做ス (ハ) 前(一)ト同斷	決算額ニ依リ十年間ニ 依リ四月三十日ノ十月 毎三十一日ノ二期ニ分テ 徴收ス
(二) 四日市市長	大正二・二・七 告示六四號 日市港線ニ達 スル道路工 事	(ハ) 道路修繕	倉庫業者、運送業 者、自動車業者其 ノ他特ニ鋪裝路面 ヲ損傷セシムヘキ 事業者	真行三十間 一、道路ノ境界ヨ リ十間以内(一 等地) 二、一ヨリ十 間(二等地) 三、二ヨリ十 間(三等地)	工事費ノ千分 ノ三百	一等地千分ノ百九十七 二等地千分ノ七十四 三等地千分ノ二十九	(イ) 國、府縣、市町村 其ノ他公共團體ノ公 用又ハ公共用地 (ロ) 本市所有地 (ハ) 社寺、祠宇、佛堂 等ノ敷地ニハ負擔金 ヲ課セス	依リ十年間ニ 依リ四月三十日ノ十月 毎三十一日ノ二期ニ分テ 徴收ス
(三) 前橋市長	大正一・一・七 告示一七號 二六規程二〇 八號	道路及附屬物 ノ新設、又ハ 改築	質権者工事竣功ノ 日ヨリ起算シ存積 期間十年以上ノ賃 借權者又ハ賃借權 者其ノ他ノ土地ニ	真行二十間	工事費ノ十分 ノ三以内 ノ三以内 ノ五分 ト増徴スルコ トアリ	半額ハ間口ノ長ニ比例 シ他ノ半額ハ面積ニ比 例シテ配分ス	(イ) 國、府縣、市町村 其ノ他公共團體ノ公 用又ハ公共用地 (ロ) 本市所有地 (ハ) 社寺、祠宇、佛堂 等ノ敷地ニハ負擔金 ヲ課セス	依リ十年間ニ 依リ四月三十日ノ十月 毎三十一日ノ二期ニ分テ 徴收ス

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(四) 東京市長	大正一・一・一 告示一七號 一七五號 二一告示一八 六號 大正一・三・二 告示一三三號 一三告示四八 號 四九號	(イ) 道路鋪裝	付テハ所有者 公共ノ用ニ供スル 土地ヲ有料ニテ使 用セシムル者	真行二十間ノ地域	平均一坪當ニ 一乘シタル間 口一乘キ土地 ノ間口面積及 地位ヲ乘シタ ル額トス	(イ) 間口一間當負擔額 ノ二分ノ一ヲ土地ノ積 比例シテ地位率ヲ乘 シテ定ム (ロ) 幅員係數ハ〇・五 ヨリ三・〇迄六種ニ 區別ス (ハ) 地位ハ一等ヨリ十 五等ニ區別ス	(ハ) 國又ハ公共團體ニ 對シテハ課セズ、 神社、寺院、祠宇、 佛堂ノ境内地、墓地 、教會所、説教所、構 内地、學校敷地、其 他公共ノ用ニ供スル 土地ノ權利者ニハ免 除スルコトアルヘシ	工事竣功ノ日現在ニ 依リ賦課ス但シ五年以 内又ハ特別ノ事由アル トキハ十年以内ノ利子 付シテ分納セシム
(五) 高崎市市長	大正一・二・四 告示一七號 二號	(ロ) 側溝ノ新 設、改築 質権者 質権者	付テハ所有者 公共ノ用ニ供スル 土地ヲ有料ニテ使 用セシムル者	道路對側線ニ接ス ル土地 五倍ノ地域	工事費ノ十分 ノ三以内 ノ三以内 ノ五分 ト増徴スルコ トアリ	一、負擔區ノ利益ヲ受 ケタル程度ニヨリ路 線ノ平均ノ間口ノ積 比例シテ地位率ヲ乘 シテ定ム 二、負擔額ノ定ムル地 帯ハ負擔額ノ半分ヲ路 線ノ平均ノ間口ノ積 比例シテ地位率ヲ乘 シテ定ム	(イ) 國、府縣、市町村 其ノ他公共團體ノ公 用又ハ公共用地 (ロ) 本市所有地 (ハ) 社寺、祠宇、佛堂 等ノ敷地ニハ負擔金 ヲ課セス	依リ十年間ニ 依リ四月三十日ノ十月 毎三十一日ノ二期ニ分テ 徴收ス

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(一) 豊橋市長 大正一三・五・ 二三告示三一 號	道路及附屬物 新設、改築、 修繕工事	倉庫業者、送業者 其ノ他道路ヲ損傷 スル原因ヲ爲ス事 業者	奥行二十間	維持修繕費ノ 三分ノ二以内	三分ノ二ヲ道路ニ面接 スル開口ノ長ニ比例シ 他ノ三分ノ一ヲ面積ニ 比例シテ配分ス	(イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同 (ニ) 同 (イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同	工事著手ノ日ニ於ケル 受益者ヨリ納付セシム 但シ場合ヨリ納付セシム ルヘシ	工事著手ノ日ニ於ケル 受益者ヨリ納付セシム 但シ場合ヨリ納付セシム ルヘシ
(二) 岡崎市長 大正一三・一〇 ・七告示二四二 號	道路工 維持修繕工事	倉庫業者其ノ他道 路ヲ損傷スル原因 ヲ爲ス事業者	奥行二十間	維持修繕費三 分ノ二以内	負擔金ハ奥行二十間ノ 面積ニ比例シテ配分ス 但シ道路ノ長ニ比 例シテ配分ス	(イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同 (ニ) 同 (イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同	負擔金ハ工事著手ノ日 ニ於ケル土地所有者ヨ リ納付セシムルヘシ	負擔金ハ工事著手ノ日 ニ於ケル土地所有者ヨ リ納付セシムルヘシ

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(一三) 一宮市長 大正一三・一 〇・七告示六 號	道路及附屬物 ノ新設、改築	(九) 下同シ	道路幅員ノ三倍	新設ハ工事費 ノ三分ノ一以 内、改築ハ一 分ノ二以内	(イ) 各路線ノ土地ノ敷 況ニヨリ一箇又ハ數 箇ノ負擔額ヲ定ム (ロ) 負擔區域ハ一定 ノ面積ニテ適當ニ賦 課ス (ハ) 負擔額ハ一區又 ハ數區ニテ適當ニ賦 課ス (ニ) 負擔額ハ一區又 ハ數區ニテ適當ニ賦 課ス	(イ) 二線以上交叉スル 場合ハ主タル路線 (ロ) 負擔ノ重キモノ (ハ) 負擔ノ重キモノ (ニ) 負擔ノ重キモノ (ホ) 負擔ノ重キモノ (ヘ) 負擔ノ重キモノ (ニ) 負擔ノ重キモノ (イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同	負擔金ハ工事著手ノ日 ニ於ケル土地所有者ヨ リ納付セシムルヘシ	負擔金ハ工事著手ノ日 ニ於ケル土地所有者ヨ リ納付セシムルヘシ
(一四) 大垣市長 大正一四・一 七告示二號	道路ニ關スル 工事	(一) 下同シ	奥行二十間	工事費ノ二分 ノ一以内	三分ノ二ハ開口ノ長ニ 比例シテ配分ス 他ノ三分ノ一ハ面積 ニ比例シテ配分ス	(イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同 (ニ) 同 (イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同	工事著手ノ日ニ於ケル 土地所有者ヨリ納付 セシムルヘシ	工事著手ノ日ニ於ケル 土地所有者ヨリ納付 セシムルヘシ
(一五) 宇治山田市長 大正一四・二 五告示五號	道路新設、擴 充工事、路面 改良工事	(一) 下同シ	奥行二十間	工事費ノ三分 ノ一以内	三分ノ二ハ開口ノ長ニ 比例シテ配分ス 他ノ三分ノ一ハ面積 ニ比例シテ配分ス	(イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同 (ニ) 同 (イ) 同 (ロ) 同 (ハ) 同 (ニ) 同 (ホ) 同 (ヘ) 同	工事著手ノ日ニ於ケル 土地所有者ヨリ納付 セシムルヘシ	工事著手ノ日ニ於ケル 土地所有者ヨリ納付 セシムルヘシ
	側溝工事		側溝ノ道路對側 ノ土地	側溝工事費ノ 二分ノ一以内				

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(一六) 八王子市長 大正一四・六・三〇告示	道路ノ新設、擴張、鋪裝、側溝工事	(イ)土地所有者但シ賃借者、竣工ノ日ヨリ十年ヨリ永キ期間ノ定アル土地及賃借人 永小作人及賃借人 (ロ)免租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラルルモノハ所有者、地上権者、永小作人及賃借人 自動車業者倉庫業者運送業者其ノ他道路ヲ損傷スル業者	奥行二十間	工事費ノ二分以内	開口ニ半額、面積ニ半額 (イ)開口ニ比シ奥行著ク狭ナルモノハ開口負擔額ヲ減少スルコトアル (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同	(イ)竣工ノ日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ徵收ス		
(一七) 札幌市長 大正一四・七・二四告示九〇	鋪裝工事 側溝ノ新設、改築	(一)下同シ	奥行二十間	(イ)鋪裝工事ノ費ノ二分ノ一乃至四分ノ一 (ロ)側溝新設ノ費ノ二分ノ一以内 (ハ)改築ノ費ノ二分ノ一以内	(イ)三分ノ二ハ奥行ニ比シテ定ム (ロ)道路ニ面接スル開口ノ長ニ比例シテ定ム	(イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同 (イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同 (イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同	工事著手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ徵收ス (ロ)損傷者負擔金ハ四月ヨリ一日現在ノ事業者ヨリ徵收ス	

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(一八) 尼崎市長 大正一四・九・一六告示五號	道路及附屬物ノ新築改築ニ關スル工事	(一)下同シ	人家連擔ノ場所ハ幅員ノ五倍以内然ラサル場所ハ十倍以内 側溝ハ道路對側線ノ土地	新設工事費ノ五分ノ一 改築工事費ノ二分ノ一	(五)下同シ	(イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同 (イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同	工事著手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ徵收ス 現在ノ事業者ニ賦課ス	
(一九) 名古屋市長 大正一四・一・二五告示一 大正一四・二・二五告示二 大正一四・四・二六告示五二號	新設、擴張又ハ鋪裝工事	(一〇)ニ同シ	新設、擴張ハ道路幅員ノ七倍以内 鋪裝ハ二十間以内	道路新設ノ費ノ四分ノ一 擴張ノ費ノ三分ノ一 鋪裝ノ費ノ五分ノ一	(イ)同一ノ土地カ重複ノ負擔スルコトキテ公用又ハ公共團體ニ於テ供スル土地ハ負擔金ヲ課セズ (ロ)境内地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ對シテハ免除スルコトアリ (ハ)神祇、祠宇、佛堂等 (ニ)境内地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ對シテハ免除スルコトアリ (ホ)土地物件金銀等ヲ寄附シタルトキ	(イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同 (イ)同 (ロ)同 (ハ)同 (ニ)同 (ホ)同	工事著手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ徵收ス 現在ノ事業者ニ賦課ス	
(二〇) 小樽市長 大正一五・四・一七告示五一	道路ノ新設、擴張、鋪裝、側溝工事	賃借者、工事著手ノ日ヨリ十年以上ノ賃借者永小作人ノ目的タル土地ハ所有者	奥行二十間ノ地域	道路ノ新設ノ費ノ四分ノ一 擴張ノ費ノ三分ノ一 鋪裝ノ費ノ五分ノ一	道路ノ新設ノ費ノ四分ノ一 擴張ノ費ノ三分ノ一 鋪裝ノ費ノ五分ノ一	(イ)營業上著シク利益ヲ受クル者ニシテハ増課スルコトアリ (ロ)二線以上ノ工事費ヲ負擔スル關係ニアルトキ (ハ)土地物件勞力其ノ他工事ヲ寄附シタルトキ (ニ)國、公共團體、神社其ノ他公共ノ用ニ供スル土地	工事著手ノ日ニ於ケル土地権利者ヨリ徵收ス 現在ノ事業者ニ賦課ス	

番號	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(二九)	倉敷市長 昭和四・九・一 市規程五二號	倉庫業者、運送業者、自動車業者等 ニシテ道路ヲ損傷スル原因ヲ爲ス事業者	家屋所有者又ハ土地所有者	維持修繕費ノ十分ノ三以内	新設道路ニ面スル土地ノ面積ニ依リテ之ヲ定ム	國府縣市町村其ノ他公共團體ニ課スル者ニ依リテ免額ニシタル場合ハ依リテ減額スルコトアルヘシ	工事竣功ノ日現在ノ者ニ課ス
(三〇)	今治市長 昭和四・三・六 告示	有租地ノ所有者但シ賃借者ノ定アル長キ期間ノ賃借人地上權者トス	道路ニ接スル土地ノ間口及奥行ヲ斟酌シテ定ム	工事費ノ二分	新設道路ニ面スル土地ノ面積ニ依リテ之ヲ定ム	同上	負擔金ハ工事費豫算額ノ現在ニヨリ受益者ヨリ納メシム
(三一)	別府市長 道路ノ新設、 改築、鋪裝	(一)下同シ	奥行二十間	新設、鋪裝ノ工事費ノ三分ノ一	同上	同上	工事著手ノ日ニ於ケル受益者又ハ事業者ヨリ受シテ納メシム

番號	事業種類	受益者	負擔區域	負擔額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
(三二)	宮崎縣知事 大正一〇・七・一 縣令三一號	道路及ニ其附屬物ノ新設、改築	道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業者	修繕費ノ十分ノ三以内	新設、改築ハ一倍ノ率ニ依リテ之ヲ定ム	同上	工事精算額ニ依リテ賦課スル額ニシテ不足スルトキハ追徴ス
(三三)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

道路法ニ依ル受益者負擔規程比較

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額總額	負擔金額賦課標準	增減免規定	賦課方法
(三三)	京都府知事 大正二二・三三 府令一九號	道路及附屬物 新設、改良	土地又ハ立竹木ノ 所有權者、存續 期間二十年以上ノ 地上權者又ハ永小 作人	(イ)市街地及之ニ 準スヘキ地域内 (ロ)山域外 ノ土地又ハ山林 原野ノ立竹木	工事費ノ十分ノ三ノ以 内	(イ)ノ負擔金ハ受益土 地ノ面積ニ依リ一 區分シ時價乃至十 定ノ率ヲ定ム (ロ)ノ負擔率亦同シ	キ免除又ハ輕減スル コトヲ得	(イ)工事及豫 算額ヲ告示 算額ノ日 者現存ノ受 收シテ課税 半額ニ依リ 半額算ハ精 算ルハ委員 會ヲ設キ工 事費ノ對シ 事合費ヲ對 割課スル地 立地ノ時 價除キ地 除等ノ地 土免等ノ 士免等ノ 士免等ノ

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額總額	負擔金額賦課標準	增減免規定	賦課方法
(三四)	兵庫縣知事 昭和二・一〇・二 指令	道路ノ新設及 改良、鋪設工 事其他告示ニ 依ル工事	(イ)有租地又ハ公 用又ハ公共ノ用 ニ供セサル無租 地ノ所有權者 (ロ)賃借ノ目的 ヲ以テテハ 賃借者 (ハ)手ノ日ヨリ起 算シテ十年メキ 期間ノ定メタル 地ノ所有權者 (ニ)地上權者 (ホ)永小作權者 又ハ永小作權者 ノ借入者 但シ登記ヲ經テ 其ノ限ニ付テハ 又前項ノ權利ニ 其ノ存スルニ 簡キ其ノ最後ニ 以テ利ヲ負擔者 トス	(イ)道路ノ新設及 改良工事ノ在 テハ道路ノ片側 ニ於テ道路ノ 線ノ五倍以內 ノ距離ニ在リ テハ其ノ内 線ノ距離ニ在 リテハ其ノ外 線ノ距離ニ在 リテハ其ノ外 ノ土地ノ面積 ノ依リテ別ニ ノル地ノ面積 トシテ定ム	左ノ各級ノ工事費 ハ左ノ如ク (イ)一等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ三倍ニ 對シテ (ロ)二等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ二倍ニ 對シテ (ハ)三等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ一倍ニ 對シテ (ニ)四等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ホ)五等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ロ)六等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ハ)七等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ニ)八等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ホ)九等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ロ)十等ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ	負擔金ハ左ノ方法 ニ依リテ算定ス (イ)道路ノ新設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ロ)道路ノ鋪設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ハ)道路ノ新設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ニ)道路ノ鋪設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ホ)道路ノ新設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ (ロ)道路ノ鋪設 及改良ノ工事 ハ其ノ面積ノ ハノ半倍ニ 對シテ	キ免除又ハ輕減スル コトヲ得	(イ)工事及豫 算額ヲ告示 算額ノ日 者現存ノ受 收シテ課税 半額ニ依リ 半額算ハ精 算ルハ委員 會ヲ設キ工 事費ノ對シ 事合費ヲ對 割課スル地 立地ノ時 價除キ地 除等ノ地 土免等ノ 士免等ノ 士免等ノ

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法	
			有スル地上權者 永小作人又ハ賃 借トナシヘキ土 地トナシヘキ土 地以外ノ土地ハ 於テ賦課スル場 合ニテハ新設又ハ 改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ ハ改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ ハ改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ	但シテ道路ノ幅員 ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤

番號	工事執行者	事業種類	受益者	負擔區域	負擔金額	負擔金賦課標準	増減免規定	賦課方法
			有スル地上權者 永小作人又ハ賃 借トナシヘキ土 地トナシヘキ土 地以外ノ土地ハ 於テ賦課スル場 合ニテハ新設又ハ 改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ ハ改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ ハ改良ノ利益ヲ受 クル特ニ又ハ	但シテ道路ノ幅員 ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤	間ノ距離ノ長短 ノ高低ノ差 ノ遠近ノ別 ノ地質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤 ノ土質ノ堅軟 ノ土質ノ肥瘠 ノ水質ノ清濁 ノ日照ノ多寡 ノ風向ノ強弱 ノ地形ノ起伏 ノ地味ノ燥潤

昭和六年二月十六日印刷
昭和六年二月十八日發行

受益者負擔制總覽
定價金壹圓

不許複製



東京市麴町區內山下町三丁目一番地

編輯兼發行者 財團法人東京市政調查會

東京市京橋區築地三丁目十五番地

印刷者 北村恒次

中屋印刷所印刷

發行所

東京市麴町區內山下町三丁目
一丁目一六〇九番

財團法人

東京市政調查會

東京市政調査會調査書目 (3)

書名	定價	送料
都市教育の研究	円 5.50	円 .24
米國の都市教育組織	市政調査資料第八號 .80	.06
公民教育に關する調査	上 卷 2.80	.18
東京市の實業補習教育	2.00	.12
衛 生		
都市の保健行政組織	.30	.02
イギリスの保健行政組織	.40	.04
都市の結核問題	市政調査資料第十一號 .30	.02
都市に於ける妊産婦保護事業	2.20	.12
財 政 及 經 濟		
都市金融の概況	都市庶民金融に關する調査 第一冊 1.00	.06
市設貯蓄銀行	都市庶民金融に關する調査 第二冊 2.20	.12
市街地信用組合	都市庶民金融に關する調査 第三冊 2.20	.12
公設質舗	都市庶民金融に關する調査 第四冊 2.50	.12
土地増加税と土地未改良價格税の研究	1.20	.12
都市財政に於ける特別賦課問題	市政調査資料 第一號 .40	.04
小額信用制度の研究	市政調査資料 第二號 .30	.02
ウイーン市財政事情	.50	.04
東京市財政統計諸表	1.50	.12
東京市豫算案管見	昭和二年度 .50	.04
東京市の區財政に關する調査	3.50	.18

「都市問題」合本

第一卷 (自大正十四年五月號至十二月號)	4.00	.24
第二卷 (自大正十五年一月號至六月號)	3.00	.24

東京市政調査會調査書目 (4)

書名	定價	送料
第三卷 (自大正十五年七月號至十二月號)	円 3.00	円 .24
第四卷 (自昭和二年一月號至六月號)	3.00	.24
第五卷 (自昭和二年七月號至十二月號)	3.00	.24
第六卷 (自昭和三年一月號至六月號)	3.00	.24
第七卷 (自昭和三年七月號至十二月號)	3.00	.24
第八卷 (自昭和四年一月號至六月號)	3.00	.24
第九卷 (自昭和四年七月號至十二月號)	3.00	.24
第十卷 (自昭和五年一月號至七月號)	3.00	.24
邦文雜誌記事索引	2.00	.12

都市問題パンフレット

都市財政の根本的改善	第 一 號	.10	.02
昭和三年度東京市豫算案を評す	第 二 號	.20	.02
大阪市の學區廢止と其れに伴ふ施設計畫に就て	第 三 號	.20	.02
名古屋市の町名番地	第 四 號	.10	.02
市營事業の本質	第 五 號	.10	.02
都市の塵芥處分問題	第 六 號	.20	.02
下水道事業の經濟	第 七 號	.20	.02
市會に關する制度改善諸案	第 八 號	.20	.02
都市の尿尿處分問題	第 九 號	.20	.02
都市行政の大恩人としての故後藤伯を憶ふ	第 十 號	.10	.02
瓦斯事業市營買收論	第 十 一 號	.10	.02
大都市制度論	第 十 二 號	.20	.02

市政カード (既刊 1—10 號)

東京市政調査會調査書目 (1)

書名	定價	送料
市 政 一 般		
ピード博士・東京復興に関する意見	市 政 調 査 資 料 第 五 號 円 .30	円 .02
ピード博士・東京市政論	2.50	.12
ピード博士講演集	1.00	.12
帝都の復興と教育者の希望	第 一 回 市 民 賞 論 文 集 非 賣	
我等の東京	第 二 回 市 民 賞 論 文 集 1.00	.12
市民賞論文集 大正十五年	第 三 回 市 民 賞 論 文 集 1.50	.12
婦人の見た東京市政	第 四 回 市 民 賞 論 文 集 1.20	.12
東京市社会事業批判	第 五 回 市 民 賞 論 文 集 1.50	.12
小市民は東京市に何を希望してゐるか	第 二 回 論 文 の 調 査 1.50	.12
帝都の制度に関する調査資料	市 政 調 査 資 料 特 別 號 5.00	.18
東京都制に関する諸案	市 政 調 査 資 料 第 十 五 號 .60	.04
東京市町内會に関する調査	2.20	.12
英國自治制度の特質	市 政 調 査 資 料 第 十 四 號 .40	.04
英國自治制度の歴史的考察	市 政 調 査 資 料 第 十 九 號 1.50	.08
英國現行の市制と市政	市 政 調 査 資 料 第 十 二 號 1.30	.06
市政に於ける委員會制及支配人制	市 政 調 査 資 料 第 十 六 號 1.00	.06
米國に於ける市政調査	市 政 調 査 資 料 第 十 三 號 .30	.02
普選に依る最初の市會議員選舉	.80	.04
都 市 計 畫		
現代都市計畫	市 政 調 査 資 料 第 三 號 .30	.02
イギリスの都市計畫法	市 政 調 査 資 料 第 六 號 .30	.04
復興局編・帝都復興事業概観	2.50	.12
帝都都市計畫事業と其財政	4.50	.18

東京市政調査會調査書目 (2)

書名	定價	送料
帝都復興秘録	円 2.00	円 .12
岸博士・東京市の工學的地質研究	非 賣	
土地區劃整理に就て	第 一 輯 ・ 第 二 輯 "	
ドイツ都市に於ける土地區劃整理	.60	.06
ドイツに於ける土地區劃整理の實例	.40	.02
地 域 制	市 政 調 査 資 料 第 七 號 .60	.04
地 帶 收 用	市 政 調 査 資 料 第 九 號 .60	.04
米國クリーヴランド市土地評價法	市 政 調 査 資 料 第 四 號 .30	.04
イギリスの田園都市	市 政 調 査 資 料 第 十 號 .60	.06
街 路 照 明	2.50	.12
同 上 ・ 増 訂 版	3.00	.12
街 路 樹	都 市 講 話 第 一 冊 .40	.04
英國の住宅政策	市 政 調 査 資 料 第 十 二 號 .60	.06
大建築物暖房資料	5.00	.18
公 益 事 業		
東京市中央卸賣市場位置選定に関する意見	非 賣	
大東京瓦斯供給に関する意見	"	
電力大都市集中 と超電力聯系並周波數統一に就て	"	
我國水力電氣の利用限度に就て	"	
電氣事業報償契約	市 政 調 査 資 料 第 十 七 號 .60	.04
瓦斯事業報償契約	市 政 調 査 資 料 第 十 八 號 .50	.04
農村協同組合と大都市中央卸賣市場	4.00	.18
教 育		
自治及修身教育批判	1.30	.12

日本都市年鑑

昭和六年創刊第一回版

呈郵本見容内・頁〇一七全・組横ボ九及號六判菊
錢七二料送留書・圓五金價定・入函製上最革背

月刊都市問題

評論研究資料解説講座事行情文獻等

手切錢二要呈郵本見・頁〇六一・組號六及ボ九判菊
半圓五共稅郵年一・半錢一料送・錢十五部一價定

財團法人 東京市政調查會 編纂

東京市麹町區比谷公園内・振替東京七〇六一九

東京市政調查會定期刊行物

第二回 全國都市問題會議 關係 文獻

1 研究報告

第1篇 都市の郊外地統制、第2篇 街路交通の統制、第3篇 受益者負擔金の各議題に對する一般提出論文と主報告者七氏の研究報告を收む、540頁、定價 3.00圓

2 參考資料 甲編

第1篇 都市郊外地統制、第2篇 街路交通統制、第3篇 受益者負擔金、第4篇 都市膨脹趨勢に互り參考となるべき統計的資料を網羅す、310頁、定價 2.50圓

3 參考資料 乙編

第1篇 關係法令には各議題の基本的法令と受益者負擔規程を収録し、配するに獨逸の郊外統制關係法律及參考文獻目錄の2篇を以てす、230頁、定價 1.50圓

4 議事要録

會議開催の趣旨、會議の經過、報告及討議の速記録等、第二回全國都市問題會議に關する諸般の事項を記述す、定價 3.00圓

餘部若干冊希望者に分讓いたします

財團法人・東京市政調查會發行

東京市日比谷公園内
振替東京 71609番

